

AI Chatbot

Hello! I am chatbot

大学向け
クラウドソリューションカタログ2023

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2023」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 渡邊 英伸（広島大学）

本年度も本カタログを発行できる運びとなりました。これも日頃から大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている会員様のご支援あつてのことと厚く御礼申し上げます。

学術機関における情報環境は技術の進化により急速に変化しています。今後、より柔軟な学習方法、最適な研究データの管理と共有、イノベーションと分野横断的なコラボレーションなどが求められるでしょう。これらを支える情報環境においては、クラウド・AI のサービスは欠かせないと考えます。クラウドサービスを通じて、情報のアクセスが容易になり、学びの機会が拡大しました。AI は、データの分析や新しい発見の加速に貢献しています。効率的な事務作業、迅速なセキュリティ対応、スムーズな情報共有においてもこれらのサービスは欠かせません。

本カタログでは、クラウド・AI をキーワードにサービスやソリューションを紹介するとともに、検討事項を同一の尺度で掲載し比較検討の材料としていただくことを目的としております。国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービス（<https://cloud.gakunin.jp>）で公開されている「スタートアップガイド」や「チェックリスト」と合わせてご活用いただくことにより、導入・活用時の課題解決に役立つものとなっています。また、ご利用中のクラウドサービスやソリューションが組織の情報環境として適切であることを定期的に確認するための資料としてもご利用いただけます。本カタログが学術機関の情報環境の変革に一助けになれば幸いです。

クラウド部会では、AXIES 年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムとの連携などにより、クラウド普及活動を推進しております。クラウドの導入や更なる活用を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

以上

大学向けクラウドソリューションカタログ 2023 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2023」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 渡邊 英伸 01

特集：クラウド AI サービス 06

1. 教育支援系ソリューション

- (1) ATR CALL BRIX／株式会社内田洋行 17
- (2) 画面モニタリングシステム RealCAST (リアルキャスト)／株式会社内田洋行 19

2. 研究支援系ソリューション

- (1) さくらのセキュアモバイルコネクト／さくらインターネット株式会社 23
- (2) さくらのレンタルサーバ、リセール向けサービス／さくらインターネット株式会社 25
- (3) codemari クラウドサービス／株式会社内田洋行 27

3. 事務支援系ソリューション

- (1) Cisco Webex Calling／シスコシステムズ合同会社 31
- (2) Cisco Secure Access／シスコシステムズ合同会社 33
- (3) TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所 35
- (4) Gluegent Flow (グルージェントフロー)／サイオステクノロジー株式会社 37
- (5) RoomSense クラウドサービス／株式会社内田洋行 39

4. 情報基盤系ソリューション

- (1) Cloud Volumes ONTAP／ネットアップ合同会社 43
- (2) Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Security による多層防御
／ネットアップ合同会社 45
- (3) BlueXP Classification で実現するデータガバナンス／ネットアップ合同会社 47
- (4) FlexPod XCS／ネットアップ合同会社 49
- (5) NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)／ ネットアップ合同会社 51
- (6) SINET 接続サービス／さくらインターネット株式会社 53
- (7) さくらの VPS／さくらインターネット株式会社 55
- (8) さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社 57
- (9) さくらの専用サーバ PHY (ファイ)／さくらインターネット株式会社 59
- (10) Cisco Duo／シスコシステムズ合同会社 61
- (11) Cisco Umbrella／シスコシステムズ合同会社 63
- (12) クラウド構築・移行支援サービス／株式会社大和総研 65

(13) サイバーセキュリティ対策／株式会社大和総研	67
(14) データ利活用・データ分析基盤構築サービス／株式会社大和総研	69
(15) レガシーマイグレーションサービス／株式会社大和総研	71
(16) ExtremeCloud™ IQ／Extreme Networks 株式会社	73
(17) Nutanix GPT-in-a-Box／Nutanix Japan 合同会社	75
(18) EverFlex from Hitachi 仮想化基盤／株式会社日立製作所	77
(19) Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS／株式会社日立製作所	79
(20) エンタープライズクラウドサービス G2／株式会社日立製作所	81
(21) クライアントサービス 日立のデータセンター／株式会社日立製作所	83
(22) フェデレーテッドクラウド管理監視・タスク実行・ファイル転送) サービス／株式会社日立製作所	85
(23) リモートアクセスシステム DoMobile／株式会社日立ソリューションズクリエイト	87
(24) 出前クラウドサービス／株式会社日立製作所	89
(25) 日立 データセンターサービス／株式会社日立製作所	91

5. その他ソリューション

(1) ASSETBASE／株式会社内田洋行	95
(2) ソフトウェア配布提供システム Download Station／株式会社内田洋行	97
(3) ウチダの Office 学割 U365／株式会社内田洋行	99
(4) ウチダのパソコン学割 U365／株式会社内田洋行	101
(5) ウチダの証明書学外発行サービス／株式会社内田洋行	103

6. 大学向けクラウドソリューション比較表

7. 大学におけるクラウド導入事例

(1) 東京理科大学／株式会社大和総研	118
(2) ロンドン大学／Extreme Networks 株式会社	120
(3) 北見産業大学／Nutanix Japan 合同会社	121
(4) 京都産業大学／Nutanix Japan 合同会社	123
(5) 九州工業大学／Nutanix Japan 合同会社	125
(6) 九州産業大学／Nutanix Japan 合同会社	127
(7) 桜美林大学／さくらインターネット株式会社	129
(8) 流通経済大学／さくらインターネット株式会社	131
(9) 九州大学／さくらインターネット株式会社	133

8. クラウドプロバイダ紹介

(1) 株式会社大和総研	137
(2) Extreme Networks 株式会社	139
(3) さくらインターネット株式会社	141
(4) 株式会社内田洋行	143

企業別索引	146
大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	148
大学 ICT 推進協議会クラウド部会 ご入会のご案内	151

特集

クラウド AI サービス

大規模言語モデル（LLM）が盛り上がりを見せ、中核となるアクセラレータでは NVIDIA のみならず AMD、Intel も製品を出荷し、Groq や SamvaNova といったスタートアップも注目を集めています。当然ながらオンプレミスだけではなく、クラウドにおいても IaaS をはじめ様々なサービスが広まっています。本特集ではクラウド AI サービスに関連し、さくらインターネット社より IaaS、ネットアップ社より「AI 領域においてストレージに求められていることとは？」とする調査レポート、エクストリーム ネットワークス社より AIOps を紹介しております。

さくらインターネット株式会社

NVIDIA H100 GPU を搭載した 2EF の大規模クラウドインフラを石狩データセンターに整備

クラウドコンピューティングサービスを提供するさくらインターネットは、経済安全保障推進法に基づく特定重要物資である「クラウドプログラム」の供給確保計画に関する経済産業省の認定を受けました。AI 時代を支える GPU クラウドサービスの提供に向けて、3 年間で 130 億円規模の投資をし、「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」を搭載した、合計 2EFLOPS（エクサフロップス）※1 の大規模クラウドインフラを整備することを決定いたしました。

本取り組みは民間で初めて経済産業省から認定された、経済安全保障推進法に基づく特定重要物資である「クラウドプログラム」の供給確保計画に基づくものです。

さくらインターネットでは、AI に関わるコンピューティングリソースを安定供給確保することは、日本のデジタル社会を発展させるために必要不可欠と考え、申請を決定いたしました。

さくらインターネットは今後も、『『やりたいこと』を『できる』に変える』という企業理念のもと、DX プラットフォーマーとしてデジタル社会の継続的な発展へ寄与してまいります。

これから構築を進めていく GPU クラウドサービスは、大規模言語モデルなどの生成 AI を中心とした利用を想定しています。GPU には、NVIDIA 社の「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」を 2,000 基以上採用するなど、高い演算性能および拡張性に優れたサービス内容としていく予定です。

また本サービスは、さくらインターネットが運営する石狩データセンターでの提供を予定しています。石狩データセンターは、北海道の冷涼な外気を活用した外気冷房および水力発電を中心とした再生可能エネルギー電源 100%の CO2 排出量ゼロを実現するデータセンターです。

本サービスの提供は 2024 年 1 月以降を予定しております。



クラウドコンピューティングに最適化した「石狩データセンター」

<https://www.sakura.ad.jp/>

お問い合わせ先：プラナスソリューションズ株式会社(さくらグループ) 須藤 sudo@prunus-sol.co.jp

ネットアップ合同会社

AI 領域においてストレージに求められていることは？

～NetApp が 2023 年 10 月に公開した「データ複雑性レポート 2023」の調査結果を踏まえて～

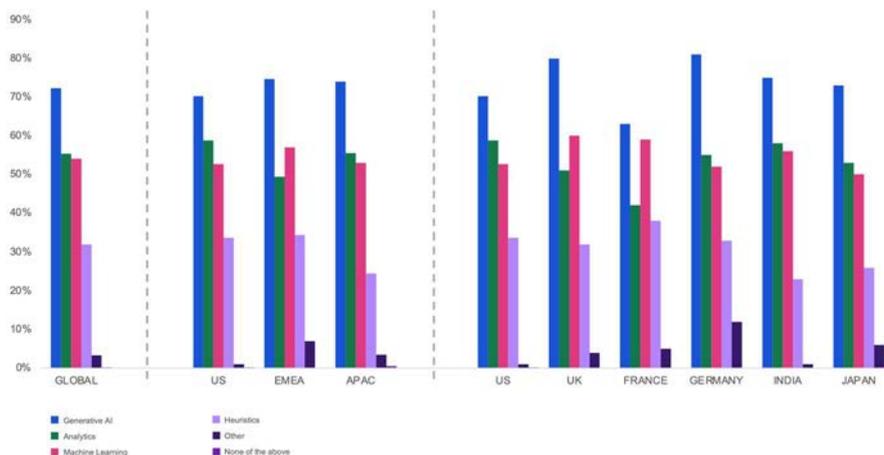
今まで特別な存在であった AI が民主化され、あらゆる人が利用できる時代に

ChatGPT が登場してから、生成 AI や大規模言語モデル（LLM）に関する話題は尽きるところを知らないまでに盛り上がりを見せています。これまでの AI では、システムを作る側にも使う側にも特別な知識が必要とされ、まだまだ一般に浸透しているとはいいがたい状況でした。現在では状況は一変し、特別な知識を必要とせずに、あらゆる人が AI を利用できるようになってきました。また、パブリッククラウド上のサービスや、SaaS などの普及により、AI を活用したシステムの構築も数年前と比べると進めやすくなってきました。

このように AI が民主化された 2023 年ですが、ネットアップが 10 月に発表した、「データ複雑性レポート 2023」の中でも、AI の話題が登場しています。ChatGPT のような AI に関する新たな潮流が、その元となるデータを蓄積するストレージのニーズに対して、どのようなインパクトを与えているのか、本記事で紐解いていきます。

日本においても生成 AI の活用が進む

AI への投資が拡大している中、我々の調査でも約 4 分の 3（72%）の企業が、生成 AI を使用していることがわかっています。グローバル平均 72% に比べて、より高い値となっていたのは、英国（80%）やドイツ（81%）ですが、興味深いのは、日本の活用率が、グローバルと同等の値となっていた点です。これは、日本政府が積極的に AI の活用を後押ししている点や、各社のプレスリリースなどで ChatGPT のような生成 AI サービスの活用を表明していた企業がいたことから、日本も率先して新たな AI 技術の活用を模索していることと合致します。

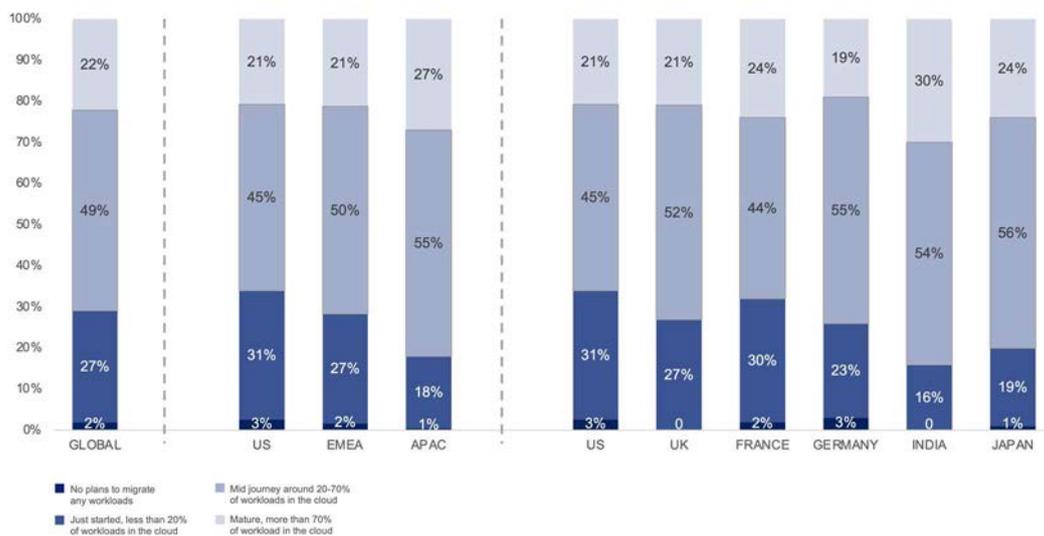


Q: あなたの組織では AI をどのように活用していますか？

一方で、活用率がグローバルと比較して少ない値となっていたフランスは、規制に関していち早く提起をしたイタリアと接触するなど、政府としてデータ保護の懸念についての検証を進めており、ドイツのように活用が進んでいる EU の各国も、今後の動向によっては活用が伸び悩むという懸念をはらんでいるといえるでしょう。

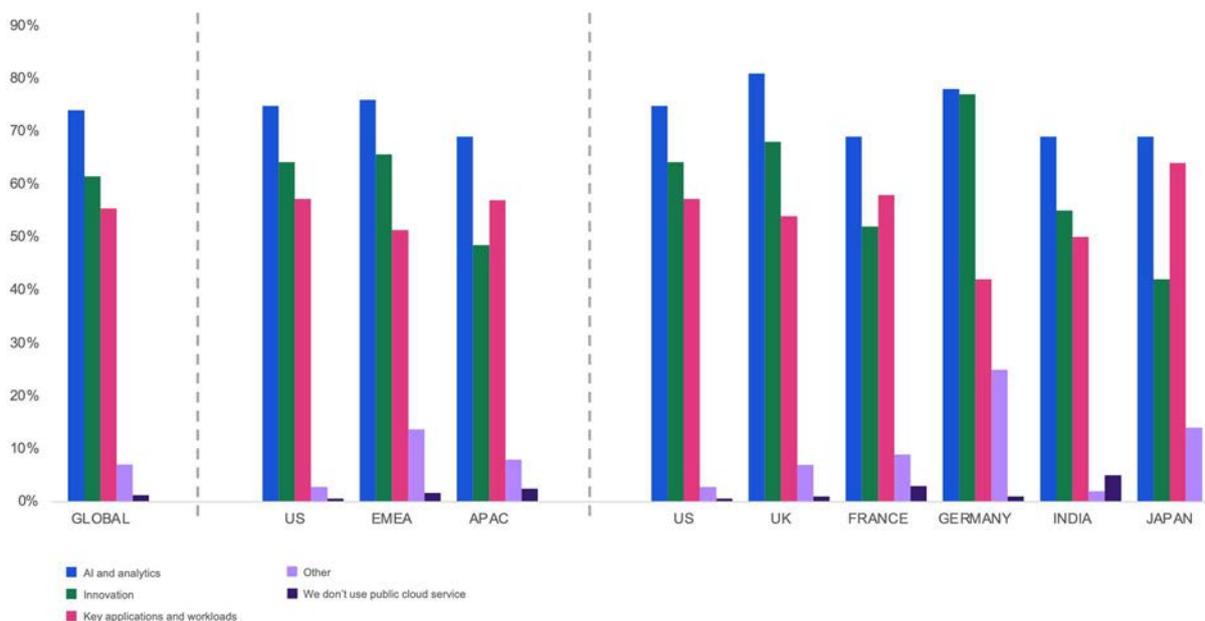
AI のインフラとしてさらに注目を集めるクラウド

生成 AI や LLM の盛り上がりを見せる前から、企業内ではクラウドの利用が進んでいます。しかしながら、企業内のワークロードのほとんどをクラウド上で動かしているような企業はまだ主流とはいえません。我々の調査によると、70%以上のワークロードをクラウド上で動かしているような、クラウドに成熟した企業は全体の22%程度しかいないことがわかっています。



Q: クラウドの旅の途中ですか？

では、AI のインフラとして見たときに、クラウドはどのような役割を果たしているのでしょうか。パブリッククラウドをどのような用途で利用しているのかという調査結果では、ほとんどの企業が AI や分析用途としてパブリッククラウドを利用していると答えています。一方で、ビジネスにおける重要なアプリケーションやワークロードに関しては、従来からオンプレミスで動かしていたレガシーなシステムが存在しているためか、AI や分析用途と比べると低い値となっています。

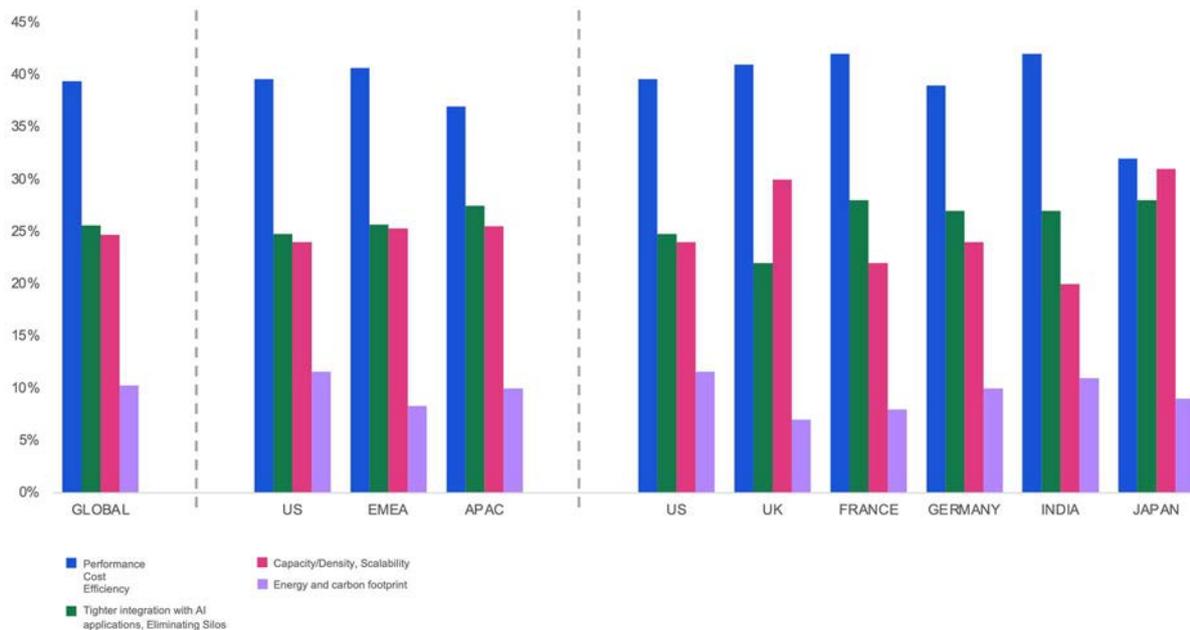


Q: パブリッククラウドを利用しているのは次のうちの用途ですか？

AI におけるストレージへのニーズ

このような状況において、AI を生み出すデータを蓄積するストレージに対してはどのようなニーズがあるのでしょうか。我々の調査によると、スーパーコンピューターに代表されるような HPC 領域と同様、パフォーマンスに対するコスト効率へのニーズがグローバル全体では最も高いということが見て取れます。

特に日本における調査結果に注目すると、AI アプリケーションと密に統合しデータサイロを削減できること、また、キャパシティ密度やスケーラビリティという点が他国と比べてより重視されていることがわかります。我々ネットアップの AI ソリューションを選択されるお客様においても、AI アプリケーションとの統合性や使いやすさ、TCO の削減という点をご評価いただいている点とも合致しています。



Q: AI においてストレージのイノベーションが最も必要なのは何か？

まとめ

ここまで、弊社が調査した「データ複雑性レポート 2023」のデータを元に、AI におけるストレージやインフラにどのような役割が求められているかを確認してきました。また、生成 AI や LLM が注目を集めてからしばらく経ち、活用する方法としては、大きく 3 つのパターンがあることも分かってきました。(①独自のモデルをスクラッチで開発する、②既存モデルを Fine-Tuning して AI システムを開発する、③検索拡張生成など具体的なユースケースを採用する)

それぞれのパターンに応じて、インフラとしてオンプレミスやクラウドのどちら（または両方）を採用するか、パフォーマンスがどの程度必要となるかは異なります。AI においては、パフォーマンスに対するコスト効率に注目が集まりますが、AI の活用によって素早く成果を出すためには、AI アプリケーションと密に統合でき、データサイロを削減できること、また、キャパシティ密度やスケーラビリティという観点も重要です。弊社のストレージには、使いやすいデータ管理機能などを始め、AI 活用にも価値をもたらすソリューションを多数取りそろえております。ご興味ございましたら、弊社のブースにてネットアップの AI ソリューションがもたらす価値についてご確認をいただければと思います。

※「データ複雑性レポート 2023」(英語)調査レポート本文はこちらをご覧ください。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/98131-2023-data-complexity-report.pdf>

<https://www.netapp.com/ja/>

お問い合わせ先：ネットアップ合同会社 脇 masahiro.waki@netapp.com

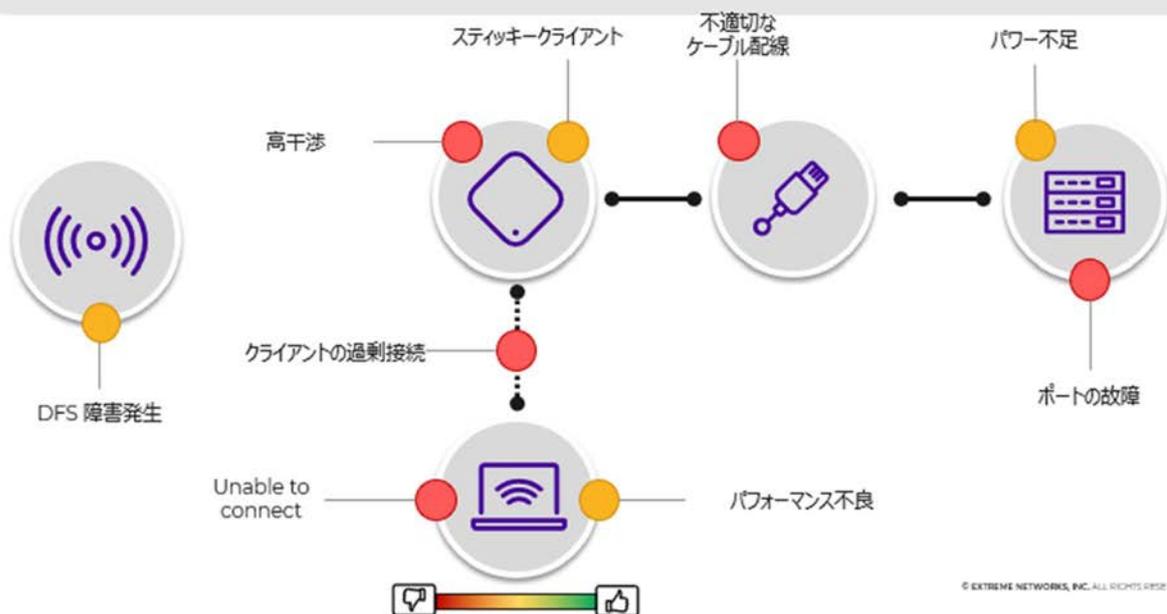
エクストリーム ネットワークス株式会社

ExtremeCloud CoPilot

<IT の効率化を妨げる一般的な問題>

IT チームの問題をさらに複雑にしているのは、ネットワークの問題はどこにでも転がっている可能性があるため、特定が難しく、IT 効率を妨げる一般的な問題が数多く存在することです。これらの問題は IT チームからリソースを奪う可能性があります。IT チームはトラブルシューティング、根本原因分析の実施、オンサイト訪問を行う必要があり、ダウンタイムやパフォーマンス低下の影響に対処する可能性があるからです。これらの課題はすべて、ネットワーク・チームを、本来取り組むべき戦略的イニシアチブから引き離します。

ITの効率化を妨げる一般的な問題



<AIOps の必要性>

ネットワークの複雑性の課題と IT リソースの枯渇は大きな課題です。加えて、IT チームはアジャイル手法を採用し、多くの役割を担うようになり、進化しています。深いドメインの専門家はますます少なくなっています。クラウド技術は著しく成長しており、調査では、将来的にほぼすべてのネットワークがクラウド管理されるようになると指摘されています。これらのトレンドは、AIOps の必要性と同時に可能性をもたらしています。クラウドに大量のデータを取り込み、そのデータに機械学習テクノロジーを適用することで、IT チームは AIOps を利用してはるかに効率化し、戦略的な運用を取り戻すことができます。

<ExtremeCloud IQ CoPilot>

ExtremeCloud CoPilot は、問題が発生する前に解決することで、IT 運用チームが時間を節約し、リスクを低減できるようにする AIOps ソリューションです。また、問題が発生した場合でも、CoPilot は問題の特定、理解、修正を迅速に行うことで、MTTR (平均解決時間) を短縮することができます。ExtremeCloud CoPilot は、ML/AI を導入して、問題を予測し、より迅速に解決し、ネットワークを修正するための推奨事項を説明します。

<AIOpsによる平均解決時間（MTTR）の短縮>

Extreme AIOps のビジョンは、プロアクティブな対応によってトラブル・チケットを削減し、問題が発生した場合の MTTR を短縮することで、組織の効率化を支援することです。以前は AIOps がなければ、問題を特定し、その解決方法を知るまでに数時間、数日、あるいは数週間を要していたでしょう。この作業の多くの部分は手作業で行われ、現場への訪問が必要であり、何が起きているのかを理解するためにログやトラブルチケットを膨大に解析する必要があるからです。

Extreme CoPilot を使用すると、問題の特定、把握、修正、検証に必要な時間が大幅に短縮されます。



クラウドベースの SaaS ソリューションである ExtremeCloud CoPilot は、既存のライセンスに機能を追加することができ、リスクをさらに低減し、IT チームの時間を節約するのに役立ちます。

すべての AIOps ソリューションが同じように構築されているわけではありません。AIOps ソリューションを導入する前に、さまざまなコンポーネントを検討する価値があります。例えば、堅牢なクラウド上に構築されているか？データガバナンス要件をサポートしているか？最も有用な ML/AI レコメンデーションを提供する包括的なデータセットを可能にするクラウドベースのプラットフォーム上に構築されているか？すっきりとしたユーザーインターフェースと、既存の業務にうまく統合できるワークストリームを持っているか？

Extreme AIOps は強固な基盤の上に構築されています。多くの場合、他社のソリューションでは、ソリューション全体にわたって ISO 標準を持たないため、データが漏洩する危険性があると考えられます。

クラウド・インフラストラクチャ： ダウンタイムを防ぎ、セキュリティを維持するために、AIOps ソリューションは強固で安全なクラウド上に構築されなければならない。

データガバナンス： 複数のパブリック・クラウド・プロバイダーを利用したり、自社のデータセンターを利用したりすることで、組織の柔軟性/俊敏性、回復力を高め、多くのデータ・ガバナンスのユースケースに適合させることができる。

AI/ML インサイト&モニタリング： デバイスやクライアント全体のプロアクティブな運用と可視化により、トラブルチケットや人的介入、スタッフの訪問の必要性を低減。



ExtremeCloud IQ が提供する Extreme AI Ops により、IT 管理者は統合、自動化、セキュアなエクスペリエンスでリスクを低減し、運用を簡素化できます。統合：Site Engine、WiNG、またはオンプレミス用の ExtremeCloud IQ Controller を使用してハイブリッドネットワークをシームレスに構築し、ExtremeCloud IQ にリンクしてクラウドを管理できます。サードパーティや IoT デバイスの管理有線 + 無線 + SD-WAN の管理自動化 Explainable-ML を活用した洞察と推奨事項の提供により、IT 運用の効率化を実現ユニバーサル・プラットフォームによるシームレスなクラウド移行 Extreme Fabric でネットワークを自動的にプロビジョニング & セグメント化セキュア：他のクラウドベンダーがクラウド設備のみを認証しているのに対し、Extreme AI Ops はソリューション全体が ISO 認証を取得しています。さらに SOC2 コンプライアンス、CSA 認証、GDPR コンプライアンスも取得しているため、企業はセキュアなクラウド上に安心してネットワークを構築できます。

Copilot ケーススタディ:
リモートオフィスにおけるパフォーマンスの解決

課題
オフィス内のアプリケーションは動作はしたが、かなりのフラストレーションがたまる。ネットワークは遅いが機能しているように見えたため、だれもITに苦情は言わなかった。

COPILOT DETECTが問題を検知
CoPilot は、Wi-Fi 効率の問題を IT 部門に積極的に警告し、AP ハードウェアやクライアント・ドライバの問題を除外して、ネットワークパフォーマンスの低下を引き起こしている最も可能性の高い異常は、信号対雑音比 (SNR) の低さであることを特定しました。

説明可能なインサイト
Co-Pilot は、問題が発生しているオフィスの特定のエリアを特定しました。RF 干渉と低 SNR の違いを理解することで、Co-Pilot は問題を説明し、ネットワークの変更を推奨することができました。

お客様へもたらした価値
問題を積極的に認識することで、IT 部門はパフォーマンスを最適化するために AP の位置を変更することができました。ネットワークの制限に縛られることがなくなったため、従業員の生産性は向上し、IT 部門はユーザーが不満を抱く前に問題を解決することで、調査時間を何時間も節約することができました。

<https://jp.extremenetworks.com/>

お問い合わせ先：エクストリーム ネットワークス株式会社 山本 myamamoto@extremenetworks.com

1. 教育支援系ソリューション

製品・サービス名称	英語学習システム「ATR CALL BRIX」
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/education/solution/atrcall-brix/high-education/

■製品サービスの特長

音声を使ったトレーニングで、
インプットからアウトプットへ
ATR CALL BRIXは、
日本人の苦手意識に徹底的に寄り添う
eラーニング教材です。

私たちの思考は音声を支えられています。「話す」ときだけでなく、「考える」ときや「読む」とき、「書く」ときも頭の中では音声が発生しているのです。ですから、正しい発音を身に付け、単語の聞き分けができるようになると、読んだり書いたりするときも、頭の中で正しい音が再生されるようになります。

「ATR CALL BRIX」は、このような脳の仕組みに基づき、高校までで培ってきたインプット中心の英語力をアウトプットにつなげるために、音声を学習の中心に据えています。音声を活用した訓練を適切な順番で繰り返し行うことで、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能をバランスよく向上できるように設計されています。



主なコースコンテンツ

✓	TOEIC®L&R テスト対策コース
✓	TOEFL®対策 実践問題演習コース (Section2 対策用文法問題付き)
✓	TOEFL®対策 必須単語 5000 語マスターコース
✓	英検対策コース (準1級~5級)
✓	理工系学生のための英語力強化コース COCET3300 対応
✓	科学技術英単語コース
✓	リメディアルコース

製品・サービス名称	ATR CALL BRIX		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	非公開		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 選定ご担当者様向けにトライアル ID のご提供が可能です。(標準 2 週間) 【ID】1 人 1 年 10,000 円 (税抜) ~ 【初期設定費用】		
利用条件	サイトライセンス適用の場合、ID 発行が可能なのは在学中の学生および教職員のみ。 入学前教育やオープンキャンパスなど、在学生以外が利用する場合は要相談。		
支払方法	年次請求、前払、振込		
販売代理店	指定の代理店はありません		
■契約			
申込み方法	発注後に所定の申込フォームをお渡しします	利用開始までの期間	最短 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法 海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有 無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	上限なし
計画停止の頻度	年 1 回程度、長期休暇期間	サービス停止の通知	緊急時以外は 1 か月前
ログの開示	有・無・※条件 ()	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行	お問い合わせフォームからご連絡ください	

製品・サービス名称	画面モニタリングシステム RealCAST (リアルキャスト)
-----------	---------------------------------

提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/education/solution/realcast/

■製品サービスの特長

マルチ OS 対応クラウド型画面モニタリングシステム



学習者の端末の画面を一覧でモニタリングできるクラウド型システムで、クラス全員の学習の様子を把握しながら授業を進行できます。



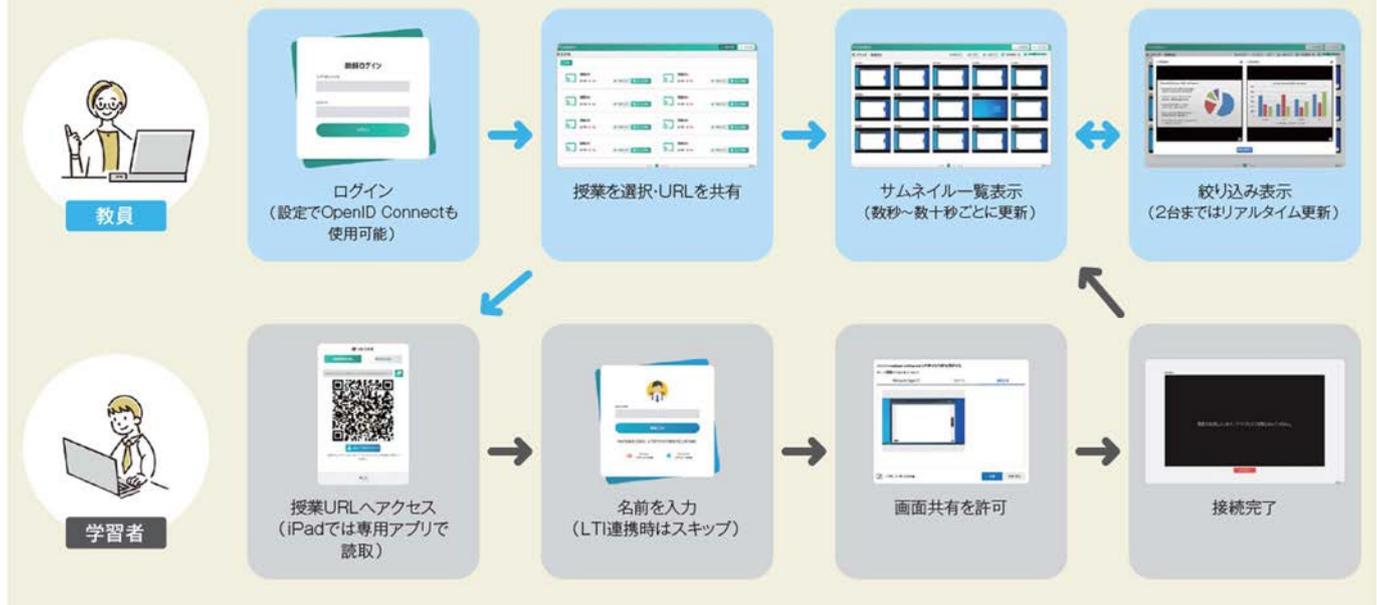
point ▶ 1 1人1台端末を使用した対面授業に
学習者の学習状況を把握でき、1人1台1アカウント運用やBYOD端末での授業をサポートします。



point ▶ 2 オンライン/ハイブリッド型の授業に
Zoom、Teams等のWeb会議システムや、学習eポータル「L-Gate」、Moodle等のLMSと組み合わせて補完的に活用できます。



システム操作フロー



LTI 1.3 Core / OneRoster 1.2対応 ※対応予定

LTI 1.3 Core 対応のLMSや学習eポータルと連携すると、学習者への参加用URLの配布が簡単になり、学習者による氏名入力も省略できます。教員ユーザーの登録は、OneRoster 1.2 規格準拠のCSVデータでインポートすることができます。

OpenID Connect対応

学習者がMicrosoftアカウントまたはGoogleアカウントをお使いの場合は、それらのアカウントの氏名を自動取得し、入力を省略できます。



本システムを使用した授業で第三者の著作物を表示・送受信する場合、当該著作物の権利者に公衆送信の許諾を得るか、または授業目的公衆送信補償金制度に基づく一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）への登録・申請と補償金の支払を行ってください。

製品・サービス名称	RealCAST		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	年額利用料金制：校種、ユーザ数等に応じお見積をご提示いたします。 トライアル（評価利用）についてはお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：50名、最低利用期間：1年		
支払方法	年次請求、前払、振込、円建		
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行の販売代理店に準ずる ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	応相談（1～2か月程度）
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	適宜通知
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：大橋 一貴	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： realcast-gr@groups.uchida.co.jp	

2. 研究支援系ソリューション

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://iot.sakura.ad.jp/sim

■製品サービスの特長

さくらのセキュアモバイルコネクト(セキモバ)は、高セキュアな閉域網ネットワークを提供するIoT向けのモバイルネットワークサービスです。



ムダのないシンプルな料金体系で運用コストを削減

1回線のSIM 基本利用料は月額13円、通信が無い月は0円。様々なビジネスモデルの通信コスト最適化が可能です。



閉域網ネットワークでセキュリティ面も安心

SIMからさくらのネットワークまでインターネットを経由しない「閉域網」で接続。外部からの攻撃を高いレベルで防ぎます。

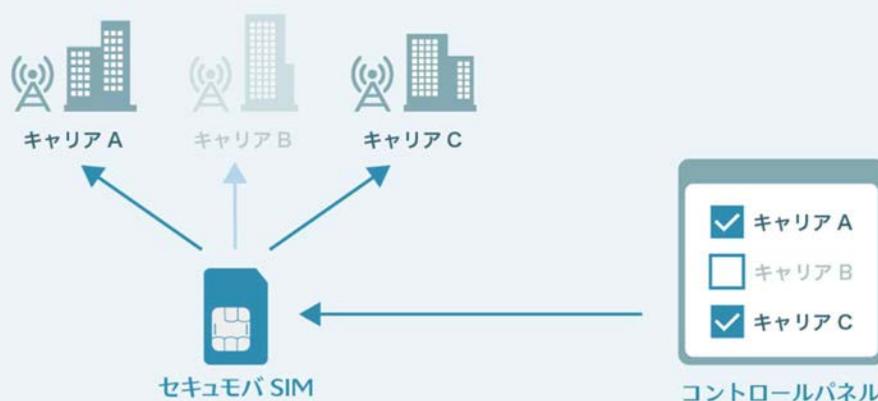


マルチキャリア対応で、広い範囲で安定した通信をご提供

1枚のSIM&1つのAPN設定で国内3キャリアに接続可能。より広いエリアでの通信を1つの仕組みで実現できます。

1枚のSIMで、3つのキャリアにつながる

セキュアモバイルコネクトは、1枚のSIM1つのAPNで国内3キャリアに接続することができます。特定のキャリアでしか利用できない場所や、その間を行き来するような移動体でも利用しやすくなっています。



※ 各キャリアへの接続の際は、SIMを搭載しているデバイス側での設定が必要です。詳細はマニュアルをご覧ください。

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	初期費用 2,000 円、ランニング費用：13 円+MB 単価従量課金		
利用条件	最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ、リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://rs.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ

豊富な Web サーバ機能	CMS の標準機能 (WordPress、XOOPS 等) マルチドメイン対応 アクセスログの保有・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP を利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供 (オプション) OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼働	99.99%以上の稼働実績 DISK の二重化 日次バックアップの取得

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス

数多くの研究室に存在するサーバを本サービスで集約することにより、情報システム部門の管理者様の運用負荷を軽減することができます。

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便に管理できる機能をご提供。 <ul style="list-style-type: none"> ■アカウント管理機能：アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能：サーバリソース (CPU / メモリ) のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ：メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ：ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能：コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	事業者様ブランドとしてご提供をいただくにあたり、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ (ビジネス) の機能をベースにご提供いたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理のため、事業者様にはスムーズなサポート体制をご提供。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ご利用件数 40 万件突破） 大学数（非公開）校：利用大学名（)		
費用	サーバ単位でのご契約となります。 280 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 14 万円となります。		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は当月分を前月 10 日請求、前月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	申し込みから数分
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他（99.99%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他（SSL)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/codemari/

■製品サービスの特長

複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ&ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。



▼codemari の特長

環境をワンタッチで構築。リモコンいらずで調整も自由自在! 必要な機器の起動・セットアップをボタン1つで行えます。映像、音声、照明の調整を全てタブレット端末で操作でき、声による操作も可能です。	ネットワーク経由で遠隔操作 ネットワークを通じて、室内からはもちろん、離れた準備室からでも事前準備や操作ができます。	全部屋の稼働状況の確認、利用実態の把握が可能! 管理者は、部屋の一覧で稼働状況の確認と遠隔サポートが容易に行えます。また、操作ログを閲覧でき、部屋の利用実態の把握ができます。	コデマリからビルの照明・空調設備の制御が可能 講義・プレゼン中でも部屋の状態を正確に把握でき、部屋の中を快適な(生産性の高い)状態に維持できます。
---	--	---	---

▼主な操作

①ダッシュボード 全ての機器の状態を確認と機器毎の個別の操作もできます。	②照明設定 照明のON/OFF、照度の調節を行います。あらかじめ設定した状態を指定して一括で変更することもできます。	③サウンド設定 スピーカーの音源切替、音量のUP/DOWNやミュートを行います。	④映像設定 プロジェクターで投影したりディスプレイに表示する映像を指定して切り替えます。
--	--	--	--

柔軟な画面構成が可能

お客様の導入機器や使い方に合わせて、画面内のアイコンや文言などの設定変更が行えます。
※機器の変更・追加については、事前にお問い合わせください。

かんたん設定一覧
お客様の使い方にあわせた専用の操作画面をご用意します。

部屋名

⑤スクリーン制御 スクリーンのプリセット操作、昇降を行います。	⑥カメラ操作 カメラのプリセット操作やパン・チルト・ズームの微調整を行います。	⑦空調設定 空調の設定を行います。部屋の温湿度、CO ₂ 濃度の状況も把握できます。	⑧収録システム制御 収録システムのレイアウトの切替、収録の開始・停止を行います。
---	---	---	--

▼運用・管理を支援する機能

授業時間に合わせて自動で機器のON/OFFができます。 授業時間に合わせて自動で機器を立ち上げることができ、余分な時間が削減されます。教室毎の終了時刻に合わせて、機器の電源OFFが行え、つけっぱなしによる動作不良を防げます。	全体状況の把握を簡単に 部屋の一覧で稼働状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ遷移し、遠隔サポートも容易に行えます。	運用実績に基づいた改善検討 操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。
--	---	--

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： otahiroshi@uchida.co.jp	

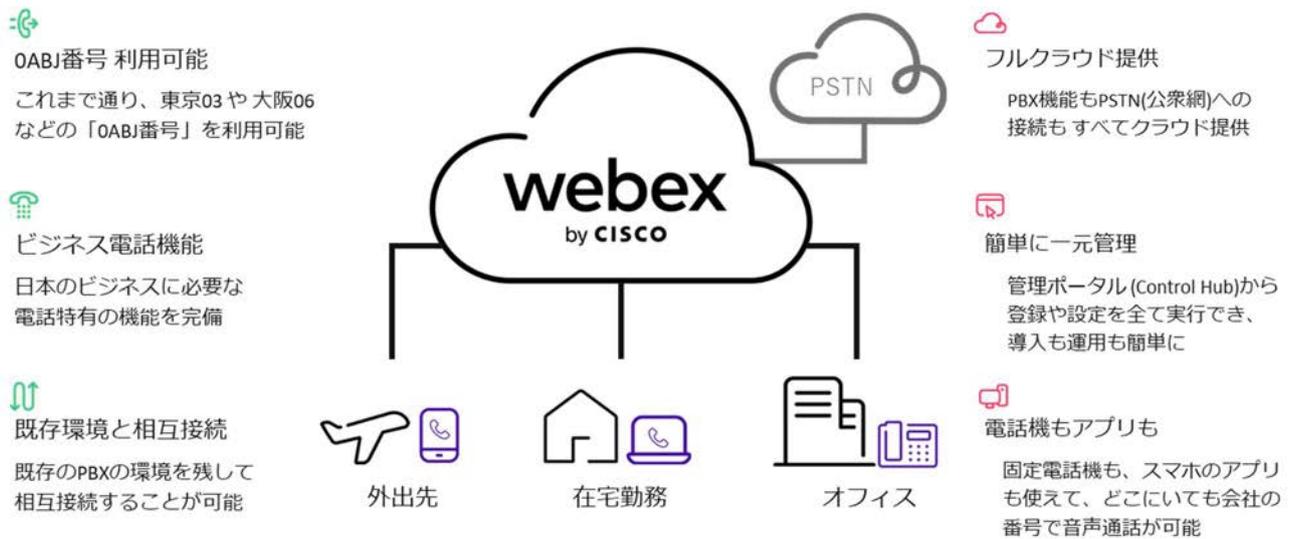
3. 事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	Cisco Webex Calling
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/webex/webex-calling.html

■製品サービスの特長

➤ DXの最後の障壁。電話業務を変革するクラウド PBX「Cisco Webex Calling」

- ✓ 従来からある電話固有の多様な機能をクラウドサービスとして実現
- ✓ オンプレ PBX とのハイブリッド運用による段階的な(キャンパス毎などの)移行も可能



➤ クラウド管理で「いつでも・どこでも繋がる(繋がってしまう)」も適切にコントロール！

- ① 必要に迫られてもプライベートな電話番号を明かす必要なし
- ② その一方で、電話業務を柔軟にコントロールして働き方改革を後押し



図. クラウドによる電話の集中管理イメージ(例)

製品・サービス名称	Webex Calling		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（未公表）社：利用企業名（ 東芝、あおぞら銀行等 ） 大学数（未公表）校：利用大学名（ 非公開 ）		
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザ数に応じた価格設定（1年、3年、5年契約。）		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：10ユーザ、最低利用期間：1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有（代理店名： https://www.cisco.com/c/ja_jp/partners/connect-with-a-partner.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	SOC2、ISMAP 等
問合せ先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 公共事業推進本部 担当者・楠 仁志	電話番号：03-6434-6037 Mail： cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco Secure Access (次世代の事務環境を実現する SSE ソリューション)
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/site/jp/ja/products/security/secure-access/index.html

■製品サービスの特長

➤ 次世代の事務環境を実現する SSE ソリューション

- ✓ 多様なセキュリティ機能を SaaS で一括提供。単一ポータルでの統合管理を実現
- ✓ ZTNA と VPNaaS の両方に対応できることで、様々な事務環境へ柔軟に適合



➤ 事務系オンプレのセキュリティをクラウド集約することで「誰でもシンプル管理！」

As-Is

- ✓ 複雑化による抜け漏れの発生と管理負担の増大
- ✓ 複雑化による初期コストや機器更新コストの増大
- ✓ 複雑化によるユーザ利便性の低下
- ✓ 複雑化により阻害される柔軟な最新技術の取り込み

To-Be

- ✓ キャンパスを問わない一貫した事務環境の安全性確保
- ✓ 1ソリューション1ポータルでの効率的な統合管理
- ✓ SaaS化による定期的な機器更新からの解放
- ✓ SaaS化により自然と最新技術が取り込めるカタチの確立



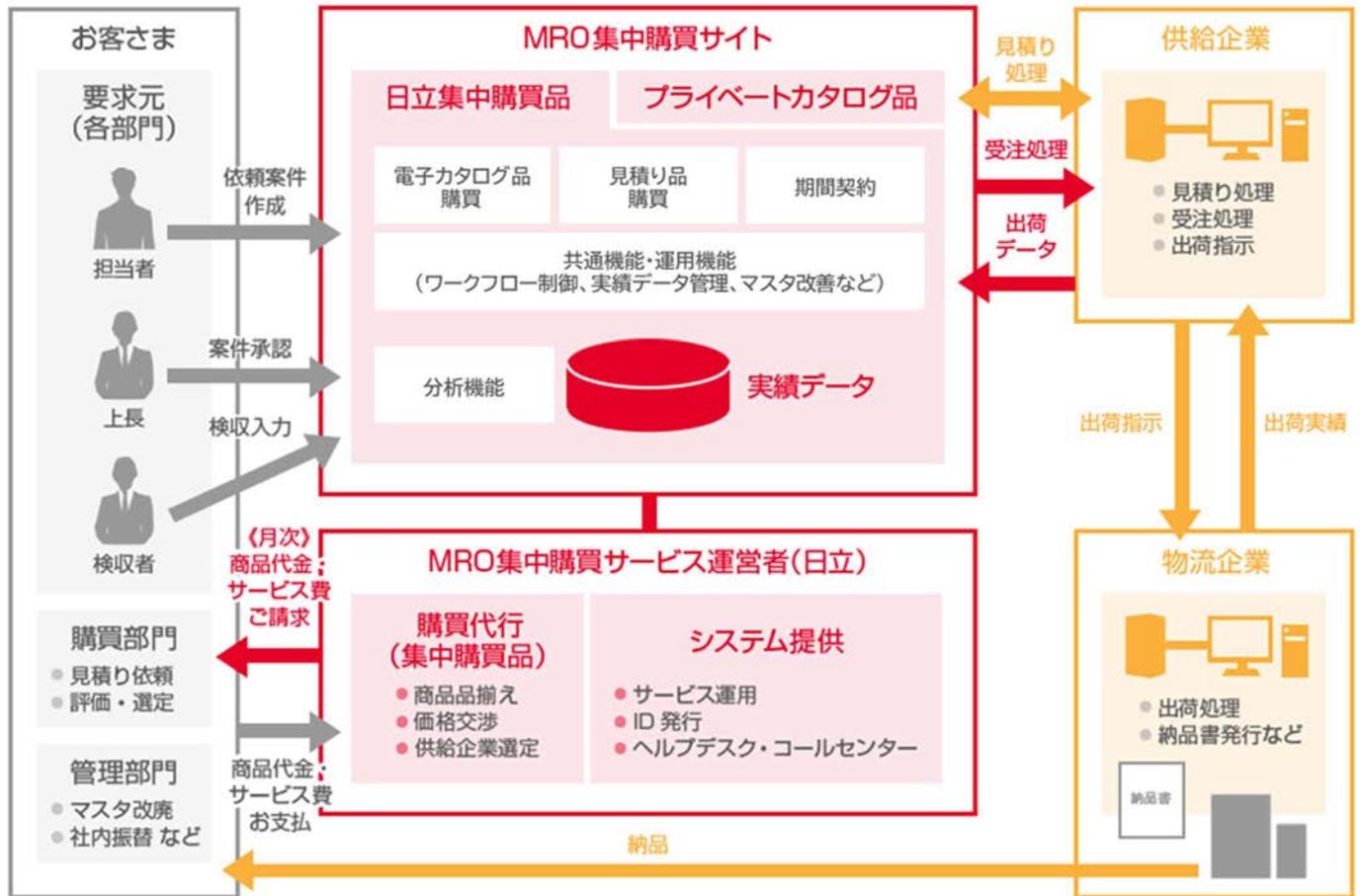
➤ 魅力ある大学運営の実現にも貢献（働き方改革や子育て/介護支援など）

- ✓ 場所を問わずにセキュアな事務環境を提供することで柔軟な働き方を後押し
- ✓ 利用者の利便性を大きく向上する、新しいセキュリティ強化のカタチを実現

製品・サービス名称	Cisco Secure Access (次世代の事務環境を実現する SSE ソリューション)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (未公表) 社 : 利用企業名 () 大学数 (未公表) 校 : 利用大学名 ()		
費用	トライアル可能。 ユーザ数に応じた価格設定 (1年、3年、5年契約。)		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数 : 500 ユーザ、最低利用期間 : 1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有 (代理店名 : https://www.cisco.com/c/ja_jp/partners/connect-with-a-partner.html)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (販売パートナーへ発注)	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無 (販売パートナーの契約に依存)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国 または ドイツ)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (100%)	目標稼働率	有・無・その他 (99.999%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	SOC2
問合せ先	企業名 : シスコシステムズ合同会社 部署名 : 公共事業 公共事業推進本部 担当者 : 楠 仁志	電話番号 : 03-6434-6037 Mail : cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1：集中購買参加タイプ（購買代行型）

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (760) 社 : 利用企業名 (バンドー化学株式会社様、株式会社 IHI 様) 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 (北海道大学様)		
費用	初期費用 : 作業内容に応じて設定。ランニング費用 : データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。		
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	2ヶ月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他 (非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他 (RAID5)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (GUI 対応など)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1 回/月 (第 2 日曜日) 定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外 (平日 19:00～翌日 9:00、休日) に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有 (コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名 : 株式会社 日立製作所 部署名 : 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第 3 グループ 担当者 : 江盛、荒木	電話番号 : 03-5471-4507 FAX 番号 : 03-5471-4519 Mail : ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	ワークフローシステム「Gluegent Flow（グルージェントフロー）」
提供企業名	サイオテクノロジー株式会社
紹介サイト URL	https://www.gluegent.com/

■製品サービスの特長

校務 DX の要 クラウド型ワークフローシステム「Gluegent Flow（グルージェントフロー）」



クラウド型ワークフローシステム「Gluegent Flow」は、多くの課/部署や校員が関わる、さまざまな申請や手続きの電子化を実現。いつでも、どこでも、どの端末からでも申請・確認・承認作業ができ、自分が出した申請がどこまで進んでいるか、優先的に確認すべき手続きはどれなのかなど、「進捗が見える化」できるため、滞留時間を削減し、業務効率向上を期待できます。

以下にて、おもな利用シーンをご紹介します。

【利用シーン① 各種証明書発行】

在学証明書、卒業証明書など、学生の申請に応じクイック発行したいのに校内手続きに時間がかかる・・・といった課題はありませんか？ Gluegent Flow は、証明書に関わる校内の申請・確認・承認業務の電子化を実現。WEB 上で進捗を確認でき、いつでもどこでも、確認・承認業務を行えます。



- ✓ 進捗が見え、迅速化
- ✓ いつでもどこでも確認・承認可能

【利用シーン② 施設管理】

防災・衛生面どちらにおいても施設管理は大事な校務。修繕対応に伴う、修繕実施と費用計上の事前伺いと業者への発注書など、Gluegent Flow なら同じ内容の書類を何枚も書く必要はありません。承認を受け自動転記や自動で書類を作成でき、二度手間を削減できます。



- ✓ 二度手間を省く、自動転記・自動管理簿（帳票）作成を実現
- ✓ ペーパーレス化に貢献

【利用シーン③ イベント企画・実施】

学校説明会、オープンキャンパスの企画・実施において、教務課、学生課など多くの部署が関わります。Gluegent Flow では他課と連携が必要な業務においても、推進力と円滑力を発揮します。メールやビジネスチャットなど各種ツールによる通知や催促ができ、確認や合議などの業務を滞らせません。



- ✓ 多くの人や課が関わる業務を円滑化
- ✓ メールやチャットによる通知・催促で、業務を推進



煩わしい校務を Gluegent Flow を用い、業務整理しスマート化させましょう。サービス導入のご検討から、サービス利用開始時の初期設定ご支援、利活用や運用サポート支援まで、専門スタッフがお客様に伴走し寄り添ってサポートいたします。「この校務、Gluegent Flow 使ったら上手いく？」など、まずはお気軽にご相談ください。

Gluegent サービスサイト <https://www.gluegent.com/>



製品・サービス名称	ワークフローシステム「Gluegent Flow (グルージェントフロー)」		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (300) 社以上：利用企業名 ((株) サンゲツ、クリナップ (株)、象印マホービン (株) など多数) 大学数 (数) 校：利用大学名 (学校法人 大阪成蹊学園 他)		
費用	初期費 0 円、月額費 300 円/ID (税別)		
利用条件	最低ユーザ数：25ID (以降は 1ID ずつ追加可能) / 最低利用期間：1 年 (年間契約)		
支払方法	月次/年次請求、前払/後払、支払方法 (振込/クレジットカード/その他)、支払通貨：円		
販売代理店	有 (正規代理店名： https://www.gluegent.com/partner/ のセールスパートナーをご確認ください。)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	5 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 (高度な冗長化により担保)
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月) その他：IDaaS に依存	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 その他：IDaaS に依存
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日の 9:00 – 17:30	QA 対応時間帯	営業日の 9:00 – 17:30
コンタクト方法	電話・メール・その他 (メール不通時の電話)	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	1 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無	第三者認証取得状況	・ISO/IEC 27001 ・JIS Q 15001 ・ISO/IEC 27017
問合せ先	企業名：サイオステクノロジー株式会社 部署名：Gluegent (グルージェント) サービスライン 担当者：安藤、尾留川 (びるかわ)	電話番号：03-6401-5111 FAX 番号：03-6401-5212 Mail： gl_sales@sios.com	

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/

■製品サービスの特長

RoomSense

グループワークや個人学習を行う席の空き状況やトイレの空き状況、食堂や休憩スペースの混雑状況等を可視化して利便性を向上するシステムです。

- その場で、直ぐに空いている場所や席を見つけられます。
- 離れた場所でも空いている場所を見つけられ、無駄な時間を削減できます。
- 利用履歴を活用し、効率的な施設運用ができます。



01 利用状況をセンサーが検知しLEDライトの表示で空きスペースが一目でわかる。

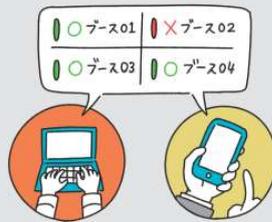
各ブースに設置したセンサーが、人の動きを検知することで、LEDライトの色を切り替えます。



◀LEDライトの色で、ブースの利用状況を瞬時に判断できます。

02 離れた場所からWebブラウザを使って、空いている席を簡単に探せる。

PCやスマホのWebブラウザで利用状況を閲覧できるので、離れた場所から利用可能な場所を探せます。



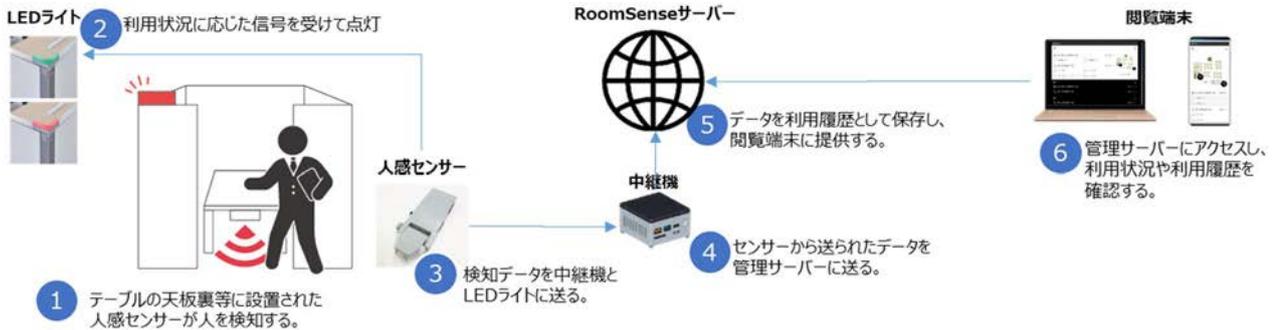
03 利用履歴の蓄積から、オープンスペースの稼働率が確認できる。

利用履歴をもとに、稼働率をグラフで確認したり、データをダウンロードして、活用することができます。



◀検索条件で設定した場所や期間で、単位時間毎の稼働率を確認できます。

■仕組み



ラーニング・commons



大学のラーニング・commonsなどに設置すれば、違う校舎やフロアにいてもスマホで空きスペースを確認することができます。

図書館自主学習室



図書館の自主学習室などの空きスペースを見つけることが難しい場所でも、スマホや表示端末で簡単に確認できます。

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	※月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： ootahiroshi@uchida.co.jp	

4. 情報インフラ系ソリューション

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/cloud-services/cloud-volumes-ontap/

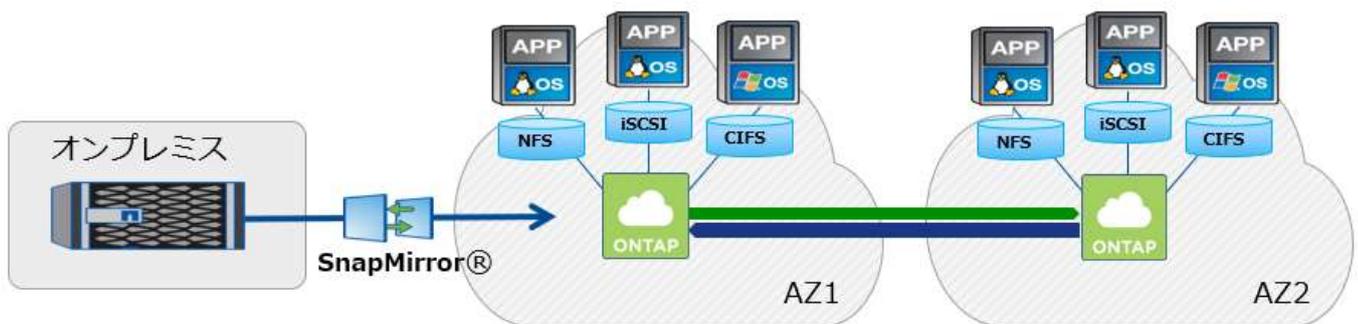
■製品サービスの特長

◆Cloud Volumes ONTAP を選ぶ理由

Cloud Volumes ONTAP は、ファイルとブロックのワークロードに対応した高度なデータ管理を実現する Software-Defined Storage サービスです。Cloud Volumes ONTAP を利用すると、クラウド ストレージ コストの最適化およびアプリケーションのパフォーマンスの向上と同時に、データ保護、セキュリティ、コンプライアンスを強化できます。

◆Cloud Volumes ONTAP の特長

お客様のクラウド ストレージで高度なデータ管理機能を利用できます。ONTAPは、SMB、NFS、iSCSIをサポートしているため、アプリケーション環境に NAS と SAN の両方のストレージをプロビジョニングすることが可能です。またパフォーマンスへの影響ゼロの NetApp Snapshot コピーを作成し、バックアップとリカバリ用のデータのポイントインタイム コピーをほぼ瞬時に作成できます。ストレージ リソースを余分に消費することも、アプリケーションのパフォーマンスに影響が生じることもありません。環境に応じて、AWS、Google CloudPlatform、Microsoft Azure から好きなクラウドをご利用いただけます。



クラウド ストレージにエンタープライズクラスの高可用性機能を提供



クラウドとの間でデータを容易にレプリケーション



ネットアップの暗号化機能でクラウド データを保護



ファイルサービスやブロック ストレージ アプリケーションの開発と実行が可能



◆Cloud Volumes ONTAP の導入

- ・各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・Keystone によるサブスクリプションベースのサービス選択も可能。
- ・Cloud Volumes ONTAP の導入は数分で完了。
- ・30 日間無償トライアル、各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP		
■ 分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■ 一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（広島県など） 大学数（非公開）校：利用大学名（日本の教育機関では複数の国立大学様が利用中）		
費用	トライアル有り。 従量課金、期間ライセンスをご選択可能。ストレージの必要容量、可用性のオプションの選択により料金が変動致します。 Keystone によるサブスクリプションベースのサービス選択も可能。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は 1 時間です。【期間ライセンス】代理店を通じた 1 ヶ月単位での販売となります。 【Keystone】最低利用期間は 12 か月です。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。【期間ライセンス/Keystone】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■ 契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■ 信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■ 機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■ 保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：070-1395-0576 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com	

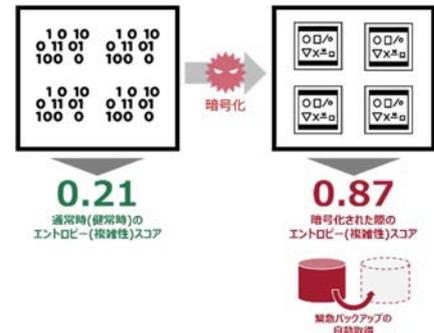
製品・サービス名称	NetApp ONTAP: Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Security による多層防御
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	Prevent ransomware spread with ONTAP automatic ransomware protection (netapp.com) Cloud Insights NetApp

■ 製品サービスの特長

Autonomous Ransomware Protection によるエントロピー解析

ストレージ OS「ONTAP」の A.I 異常検出エンジンでデータの書き込みを解析し、検知と対応を行うランサムウェア対策ソリューションです。

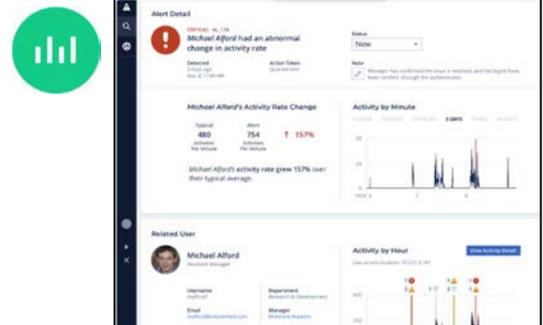
- ・ランサムウェアの検知
 - データ ファイルのエントロピー(複雑性)の傾向を把握
- ・ランサムウェアへの感染検出後の迅速な対応
 - 感染を検出後、被害を最小限に抑えるために自動的に緊急バックアップを取得
- ・インターネットに接続できない環境でも利用可能
 - ストレージ OS 自身に機能が組み込まれているためインターネット接続不要



Cloud Insights Storage Workload Security(SWS)による振る舞い検知

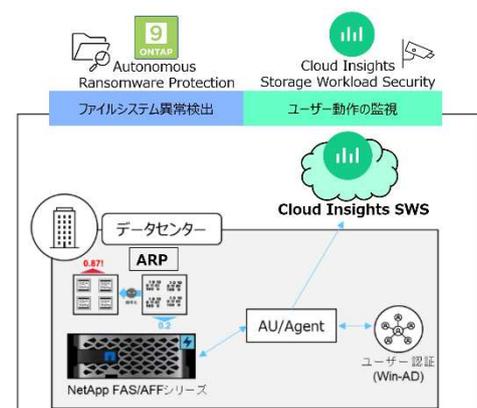
データアクセスを振る舞い検知ベースのアーキテクチャで監視する、SaaS 型のランサムウェア対策ソリューションです。

- ・ランサムウェアの検知
 - Deep Learning により悪意のあるデータアクセスを検出
- ・異常検出時はポリシーに従いアクションを自動実行
 - ストレージ OS「ONTAP」と連動してしたスナップショットの自動取得
 - 異常が検出されたユーザーのアクセスを強制的に遮断
- ・ランサムウェア感染以外の不正アクセスも検知
 - データの持ち出し等、ランサムウェア以外の不正アクセスも検知可能



Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights SWS による多層防御構成例

Autonomous Ransomware Protection と Cloud Insights Storage Workload Security でストレージ内の同一領域を監視することにより、ファイルのエントロピー解析/振る舞い検知の多層防御で外部からの攻撃を検知し、復旧用のスナップショットを自動で取得します。各機能を単体で利用するよりも検知の精度を向上させ、より堅牢にデータを保護可能です。



製品・サービス名称	NetApp ONTAP: Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Security による多層防御		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名（芝浦工業大学）		
費用	ストレージの機種/必要容量/オプションの選択により料金が変わります。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	ライセンス形態（買取、利用契約）、保守（初年度から・2年目から）		
支払方法	代理店との個別契約(リース会社を利用すれば月額支払いも可能)		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	3か月(目安)
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規（機器設置先に依存）	管轄裁判所	国内・海外（器設置先に依存）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	代理店との契約に依存	QA 対応時間帯	代理店との契約に依存
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	販売終了から半年前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISO 14001 等
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：070-1395-0576 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com	

製品・サービス名称	BlueXP Classification で実現するデータガバナンス
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://bluexp.netapp.com/ja/netapp-cloud-data-sense

■ 製品サービスの特長

◆ データガバナンスサービス : 「BlueXP Classification」

BlueXP Classification はデータを自動的にスキャン、分析、カテゴライズし、オンプレミス・クラウド・ハイブリッドクラウドなど環境を問わず、重要なお客様データに対するガバナンスの向上を実現します。機械学習を用いた自然言語処理(NLP)を活用しデータをコンテキスト(中身)に基づいて分析・カテゴライズするので、データから実用的なインサイトを抽出、コンプライアンス要件への対応、セキュリティ上の脆弱性の検出、コストの最適化、データ移行の加速などに活かすことが出来ます。



◆ 重要なデータを収集、分析、分類、そしてインサイトの提供

- ファイルの中身を分析してクレジットカード番号、マイナンバーといった PII(個人情報)を特定
- 長期間更新の無いデータ、重複データなどを特定し、ストレージコストの最適化に活用
- PII を機密レベル(標準、個人、機密など)とカテゴリ(人事、法務、営業など)に分類
- カスタム識別子を登録することで、お手持ちのデータに合わせた分析・分類が可能



◆ データ資産全体にわたって分類

オンプレミス・ハイブリッドクラウド上のファイルストレージ、オブジェクトストレージ、データベースなど様々な形のデータ資産を監視することが可能です。NetApp 製ストレージ以外(SharePoint, Google Drive など)にも対応しています。

- | | | | |
|------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| - オンプレミス ONTAP | - Amazon S3, RDS | - SQL server | - PostgreSQL |
| - Amazon FSx for ONTAP | - Azure NetApp Files | - CVS for Google Cloud | - Cloud Volumes ONTAP |
| - SAP | - OneDrive | - Google Drive | - SharePoint |
| - Dell EMC | - Oracle | - Pure Storage | - IBM |
| - Nutanix | - Hewlett Packard | - NFS/SMB サーバ | Etc. |

製品・サービス名称	BlueXP Classification で実現するデータガバナンス		
■ 分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■ 一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（） 大学数（非公開）校：利用大学名（）		
費用	トライアル有り。(30 日間 1TB 利用まで無料) 従量課金、期間ライセンスをご選択可能。ストレージの必要容量、期間ライセンスの長さにより料金変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】マーケットプレイス経由の従量課金となります。 【期間ライセンス】代理店を通じた 12 カ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。【期間ライセンス】代理店との個別契約。		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■ 契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からの申込み）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規（機器設置先に依存）	管轄裁判所	国内・海外（機器設置先に依存）
■ 信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（お客様環境に配置するコネクタインスタンスの稼働率に依存します）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■ 機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■ 保守・運用			
障害対応時間帯	代理店との契約に依存	QA 対応時間帯	代理店との契約に依存
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	販売終了から半年前に通知
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：070-1395-0576 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com	

製品・サービス名称	FlexPod XCS (Cisco Intersight)
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/data-storage/flexpod/

■製品サービスの特長

◆FlexPod XCS : クラウドで統合インフラを実現

FlexPod XCS は、エッジからクラウドまで、あらゆるアプリケーション ニーズに応えるセキュアなプラットフォームです。クラウドネイティブ、エッジ、エンタープライズ アプリケーションのスイートを簡単に管理できます。パフォーマンス、セキュリティ、信頼性、拡張性を損なうことなく、高度なクラウド サービスを統合できます。

◆FlexPod XCS が選ばれる理由

最新のハイブリッド クラウドのニーズに対応する自動化されたプラットフォーム

柔軟性 : 最先端のハイブリッド プラットフォームで、あらゆるワークロードを実行

インテリジェント : 組み込みの自動化機能で導入時間を数日から数時間に短縮

世界中で信頼を獲得 : No.1 のコンバージドインフラプラットフォームで、ハイブリッドクラウドのあらゆるニーズに対応

エッジからクラウドまでデータを保護

自律的な保護とゼロトラストアーキテクチャにより、ランサムウェア攻撃やセキュリティ侵害に対抗します。

自動化を容易に実現

FlexPod XCS は、新たなレベルの可視化と自動化を実現し、ハイブリッド クラウドへの移行を促進します。

実用的な分析情報を提供

エッジからコア、クラウドにわたってインフラの管理を簡易化します。リソースを効果的に割り当てるために必要な分析情報 データを提供する、フルスタックのオブザーバビリティを実現します。

FlexPod で実現する AI インフラ

検証済みのソリューション : 時間やリスクを削減し、既存モデルによる AI 活用を手軽に実現

統合インフラによるシンプル化 : コンピューティング、ネットワーク、ストレージが密に統合

セキュアなデータパイプライン : 様々な AI ユースケースに合わせた柔軟な AI データパイプラインを実現

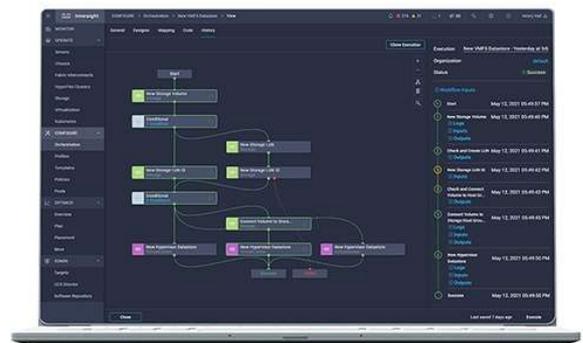
従量課金制

FlexPod の新しい消費モデルが備える柔軟性により、容易に拡張して、リスクを最小限に抑えられます。

◆Cisco Intersight の特長

単一のプラットフォームに可視化と管理の機能をすべて集約

IT 運用を簡素化して、投資からさらなる価値を引き出します。この柔軟な Software as a Service (SaaS) スイートで、単一プラットフォームからあらゆる IT 運用を合理化し、管理できます。



製品・サービス名称	FlexPod XCS (Cisco Intersight)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 () 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 ()		
費用	(Cisco Intersight について) トライアル有り。 対象数、機能オプションの選択により料金変動致します。 詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	(Cisco Intersight について) 最低利用期間は1年です。		
支払方法	弊社または、代理店へお問い合わせください。		
販売代理店	有 (代理店名 : 代理店一覧 https://www.cisco.com/c/ja_jp/partners.html)		
■契約			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (リージョンをご選択)	管轄裁判所	国内・海外 (リージョンをご選択)
■信頼性			
SLA	有・無 ()		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 (非公開)	バックアップ	有・無・その他 (非公開)
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/ 365D	QA 対応時間帯	9:00~17:00 / 5D(月~金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 (Web)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	未定	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO/IEC27001,ISO/IEC27017
問合せ先	企業名 : ネットアップ合同会社 部署名 : FlexPod Sales Desk 担当者 : 吉川、齋藤、脇		電話番号 : 080-4122-4930 FAX 番号 : 06-6453-9731 Mail : mailto:ng-japan-flexpod@netapp.com

製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)
提供企業名	ネットアップ株式会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/services/keystone/

■製品サービスの特長

◆オンプレミスでの柔軟性を備えたサブスクリプションサービス

NetApp Keystone (はパブリッククラウドで提供されているデータストレージサービスをプライベート環境で「サービス」として提供するネットアップのストレージサービスです。

◆NetApp Keystone for STaaS の特長

- ・ご利用用途にあったサービスレベルをご選択いただくだけで、要件を満たすストレージ機材を NetApp が提供します。
- ・サポートメンテナンスはもちろん、煩わしい OS や FW の更新計画も NetApp が提案、更新します。
- ・らデータをオンプレミスで保管することで、コンプライアンス、パフォーマンス、セキュリティの適切な管理が可能になります。
- ・ハイブリッドマルチクラウド環境でのデータ共有の実現も可能です。

1つのサブスクリプションで一元的な管理

BlueXP

オンプレミス ストレージ サービス

Keystone契約にはオンプレ利用が必須

+

クラウド ストレージ サービス

500GiBのCVO容量を無償で提供

IT の運用を簡易化

ハードウェアのライフサイクルを管理する複雑な作業から解放され、使用状況に応じてコストを適正化

柔軟性

要件に応じてサービスの消費、支払い、アクティブ化を柔軟に調整

クラウドのメリットをオンプレミスで管理

単一のコンソールから、複数のクラウド間で簡単にストレージを拡張

パフォーマンスと保護レベルの予測性が向上

クラウドデータサービスをいつ、どこで、どのように使用するかを選択できるため、データ保護に関する不安を解消

契約期間：1年, 2年, 3年, 4年*, 5年*

*クラウドサービスが含まれる場合は不可。

契約の20%までの超過容量を
契約単価と同じレートで、オンデマンドで利用可能

月額支払い：四半期毎にオンプレミスの支出を最大25%クラウドに再配分

1年毎の前払い：一年毎に前年の25%まで契約容量削減可能

<選択プラン> ファイル、ブロック、オブジェクトから選べるストレージ サービス レベル

	ファイルとブロック - NFS、CIFS、iSCSI、FCの各プロトコル					オブジェクト - S3プロトコル	クラウド サービス*
	Extreme	Premium	Performance	Standard	Value		
ワークロード タイプ	分析、データ ベース	VDI、仮想化ア プリケーション、 ソフトウェア開 発	OLTP、OLAP、 VDI、コンテナ、 ソフトウェア 開発	ファイル共有、 Webサーバ	バックアップ	メディア リポジトリ、 データレイク、 アーカイブ	Cloud Volumes ONTAP*** (NFS、CIFS、 iSCSI)
最大IOPS/TiB	12,288	4,096	2,048	512	128	N/A	N/A
最大スループット MBps/TiB	384	128	64	16	4	N/A	N/A
レイテンシ	<1ミリ秒	<2ミリ秒	<4ミリ秒	<4ミリ秒	<17ミリ秒	N/A	N/A
最小容量***	25 TiB	25 TiB	25 TiB	100 TiB	100 TiB	500 TiB	4 TiB
追加可能な容量 の単位	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB	1 TiB

1. IOPS、スループットMBpsのパフォーマンス指標は以下に基づいています(ファイルとブロックサービスのみに適用)。
a. ブロックサイズ32KB
b. 99.99%は読み取りのみ/書き込み30%
2. 実際のIOPS/TiBとMBps/TiBはワークロードの特徴によって変わる可能性があります。
3. レイテンシには、コントローラポートとの間のアプリケーション、ホスト、またはお客様ネットワークのレイテンシは含まれません。

*コンピューティング、ストレージ、ネットワークなどのクラウド側サービスの料金はクラウドプロバイダから課金されます。
**クラウドストレージとクラウドコンピューティングの特徴によって異なります。
***サブスクリプションあたり

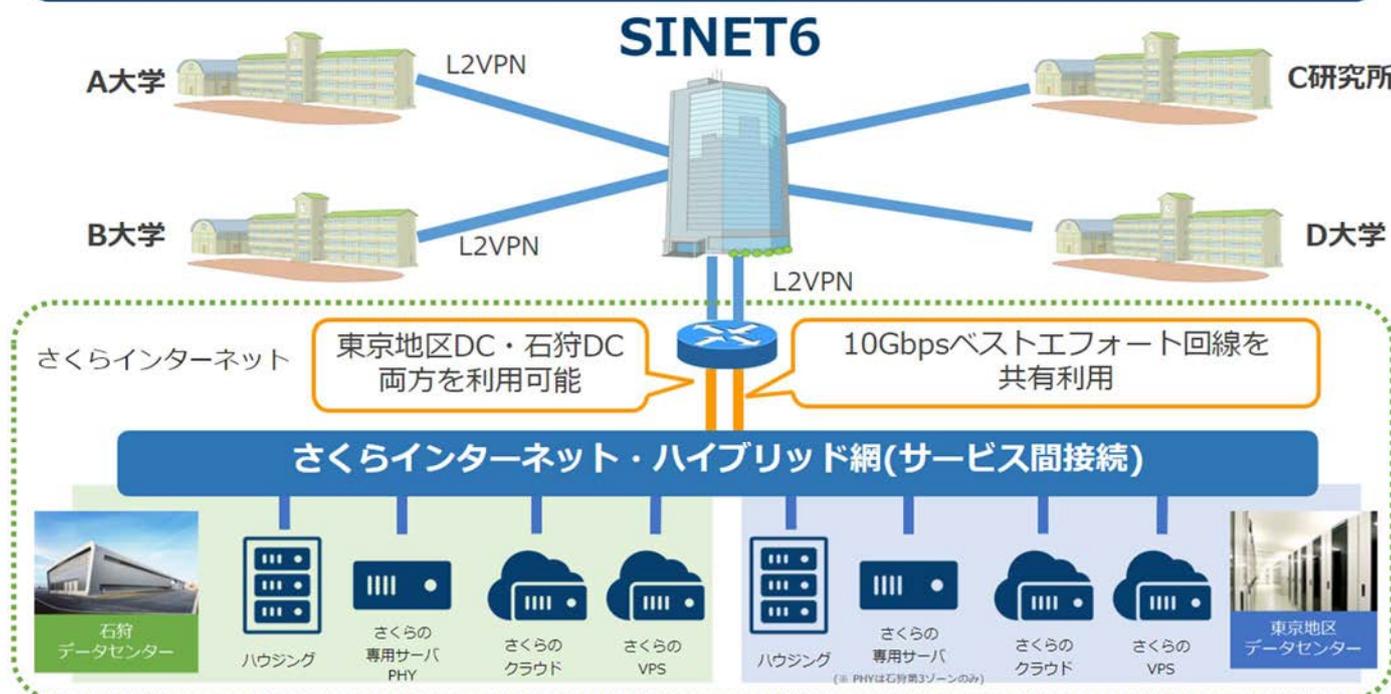
製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)		
■ 分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■ 一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 () 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 ()		
費用	トライアル : 無 / 課金体系 : サービスレベルと契約容量に応じた固定金額 + 超過容量分 (契約容量の 20%) の従量課金 / 容量、契約年数に応じた割引価格設定		
利用条件	【オンプレサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 25TiB (Extreme, Premium, Performance) 【クラウドサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 4 TiB		
支払方法	オンプレサービスの場合 : 月次 / 年次 (前払) 請求 支払方法 : 契約販売店による オンプレ + クラウドサービスの場合 : 月次請求 支払方法 : 契約販売店による		
販売代理店	有 (代理店名 : 代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory)		
■ 契約			
申込み方法	注文書 その他 ()	利用開始までの期間	2 か月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■ 信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■ 機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■ 保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・WEB フォーム	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	オンプレなし クラウド事業者による	サービス停止の通知	オンプレなし クラウド事業者による
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名 : ネットアップ合同会社 部署名 : 戦略アライアンス本部 担当者 : 有地園子	電話番号 : 070-3194-1390 FAX 番号 : Mail : sonoko@netapp.com	

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

■製品サービスの特長

- 学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。
- ネットワークは 10Gbpsベストエフォートで、全域が冗長化されています。
- すでに SINET 接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく設定の投入だけでご利用になれます。
- さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせてご利用可能です。

SINET接続サービスは、さくらインターネットとSINET6間との通信環境を提供するサービスです。



SINET接続サービスから利用可能なサービス



※SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用なし、1 VPN 当たり月額 15,000 円		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	1 ヶ月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（Active & Standby）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

2022.11.28 Ver.0.5

製品・サービス名称	さくらのVPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

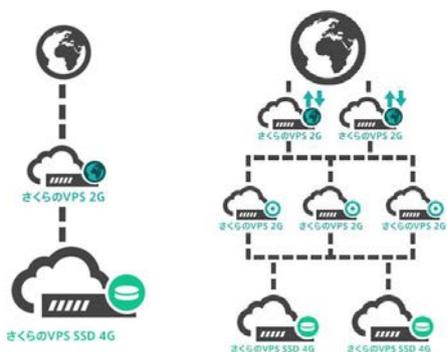
■製品サービスの特長

さくらのVPS が全面リニューアルしました！！

- ◎ 全プランで SSD を標準搭載しスループットが向上！
- ◎ 全プランで初期費用が無料に！
- ◎ 最大 2 倍のストレージ増量や月額料金の最大 50%値下げ！

ローカルネットワーク

台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上

IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

ハイブリッド

全国 3 カ所に VPS の地理的な分散が可能です

さくらの VPS を、石狩(北海道)、東京地区、大阪地区の全国 3 カ所に分散配置し同一の L2 ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。



スタートアップスクリプト

パッケージのインストールや各種設定作業の自動化を実現



開発・制作を役立てる豊富なスタートアップスクリプト



自作スタートアップスクリプトの他ユーザーへの公開もできる



サーバー購入時は、「おすすめ構成」で、使用用途ごとに簡単インストール！

製品・サービス名称	さくらのVPS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	Linux 版：初期費用なし、月額費用 585 円（税抜き）～ Windows 版：初期費用なし、月額費用 1,000 円（税抜き）～		
利用条件	2 週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

高性能

最大 **20 コア**、**224GB** メモリまでの充実のスペック

低価格

初期費用無料、月額 **1,540 円** から始められます
月額 1,540 円～、1 日 77 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！

クラウドと異種サービスを接続できる

さくらのサービスメリットを最大化！



少ない月は **時間割・日割** / 多く使っても **月額固定で安心**

時間割・日割・月額から最も安い料金が自動で適用されます。事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。



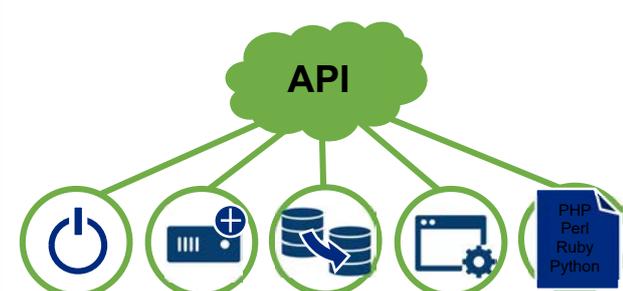
ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

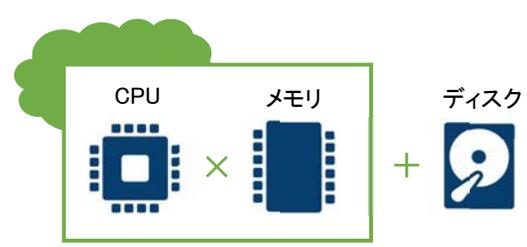
外部プログラムからサーバやインフラを操作！

選べるプラン 95 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供 / 2 段階認証/WAF の提供(一部 OS)/マーケットプレイス

有償オプション

Windows Server / アーカイブ / バックアップ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ(インターネット接続回線の集約・増速)/ 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / Sophos UTM / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、流通経済大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長



自由度の高い物理専有 ホスティングサービス

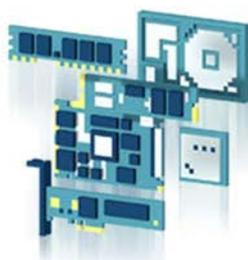
物理サーバをすぐに使えるさくらの専用サーバ PHYなら
お客様のビジネスを支える安心がそろっています

いま、さくらの専用サーバ PHYを選ぶ理由



クラウドサービスとの連携

ハイブリッド接続により、クラウドやハウジングサービスなどとの連携が可能です。



高速なCPUと大量の メモリ、ストレージを専有

最新の高スペックサーバリソースを独占できます。



自由自在にスケール可能

サーバ1台の構成から、台数に上限なしでスケールアウト可能です。



サーバーを欲しいときに

サーバを最速10分で提供可能です。
オプションサービスのオンライン申し込みも可能になりました。



万全の保守体制

自社社員による、24時間365日のオン
サイト保守でハードウェアの障害も安心
です。

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ト ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 (事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数 (非公開) 校		
費用	8core/32GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 27,500 円～ (別途初期費用が必要)		
利用条件	最低利用期間は3ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い。お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (Web)	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : 月間のネットワーク稼働率が 99.95%以上を保証)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化 有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 / 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : さくらインターネット株式会社 部署名 : 営業部 担当者 :	電話番号 : 03-5332-7071 FAX 番号 : 03-5332-7079 Mail : edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	Cisco Duo (学生サポートも強化する認証強化ソリューション)
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/duo/index.html

■製品サービスの特長

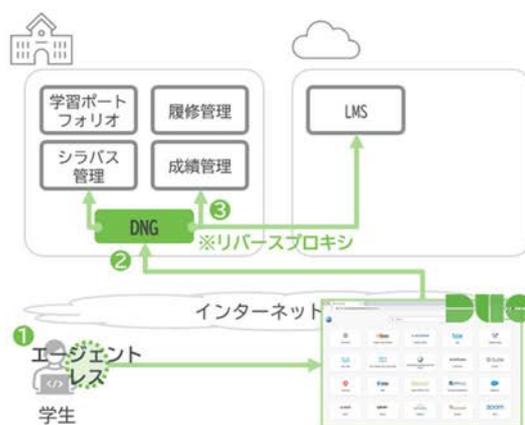
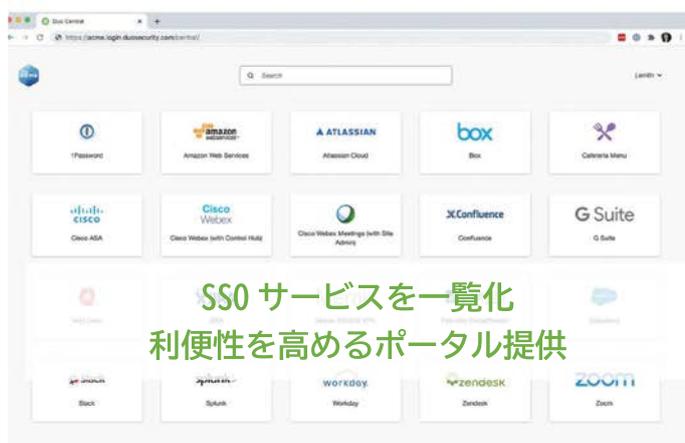
➤ SAML にも対応。SSO から VPN まで一貫した認証強化を実現

- ✓ クラウドからオンプレまで幅広い認証へ、一貫性あるポリシーにて MFA(多要素認証)を適用
- ✓ デバイスの信頼性(パッチ適用有無など)に応じた認証を実現
- ✓ ZTNA により学内サービスへの VPN レス接続を実現
- ✓ ID 管理と認証主体を分離できるため、Duo(クラウド)へのパスワード保管は不要



➤ 教職員・学生向けの利用者ポータルから ZTNA まで幅広くサポート

- ① SSO 対象のサービスを一覧化する利用者ポータルによる利便性の向上(=学生サポートの強化)
- ② ZTNA 化により、VPN の脆弱性リスクから脱却(=学習環境への安全なアクセスの提供)
- ③ ZTNA 化により、ユーザ属性(大学院生?学部生?)に応じた細かなアクセス制御



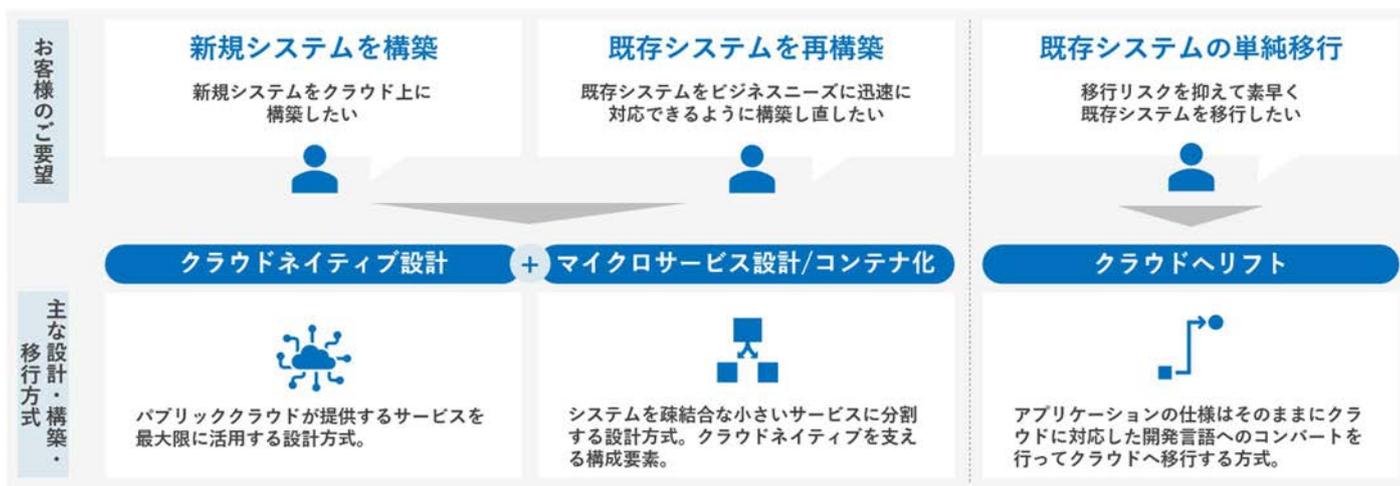
製品・サービス名称	Cisco Duo（学生サポートも強化する認証強化ソリューション）		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（ https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies/customer-success-stories/customer-stories-listing.html?flt2_general-table0=Duo ） 大学数（未公表）校：利用大学名（同志社大学、同志社女子大学、その他多数）		
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザ数に応じた価格設定（1年、3年、5年契約。）		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：1ユーザ、最低利用期間：1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有（代理店名： https://www.cisco.com/c/ja_jp/partners/connect-with-a-partner.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 99.9%内容： 停止時間に応じて規定の契約期間を延長）		
実績稼働率	有・無・その他（100%）	目標稼働率	有・無・その他（99.999%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	SOC2, ISO27001, ISO27017, ISO27018, ISMAP
問合せ先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 公共事業推進本部 担当者・楠 仁志	電話番号：03-6434-6037 Mail： cisco-edu-j@cisco.com	

製品・サービス名称	Cisco Umbrella（あらゆるデバイス/通信を保護する DNS セキュリティ）		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（ https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies-customer-success-stories/customer-stories-listing.html?flt2_general-table0=Umbrella ） 大学数（未公表）校：利用大学名（早稲田大学、同志社大学、その他多数）		
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザ数に応じた価格設定（1年、3年、5年契約。学生分は無償提供）		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：1ユーザ、最低利用期間：1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有（代理店名： https://www.cisco.com/c/ja_jp/partners/connect-with-a-partner.html ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（米国 または ドイツ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（100%）	目標稼働率	有・無・その他（99.999%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	SOC2
問合せ先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 公共事業推進本部 担当者・楠 仁志	電話番号：03-6434-6037 Mail： cisco-edu-j@cisco.com	

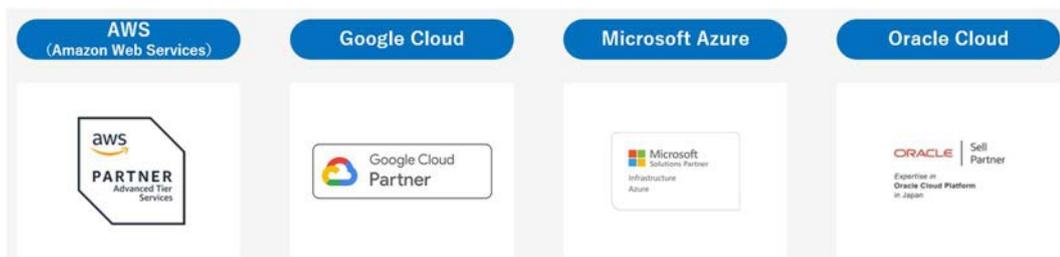
製品・サービス名称	クラウド構築・移行支援サービス
提供企業名	株式会社大和総研
紹介サイト URL	https://itsolution.dir.co.jp/itsolution/s/list/cloud-construction?utm_source=ibd&utm_medium=cloud_ctlg_23&utm_campaign=s07

■製品サービスの特長

これまでのクラウド導入実績で得たノウハウを活かし、
お客様のご要望に合わせた設計・構築・移行方式でクラウド活用をご支援します。

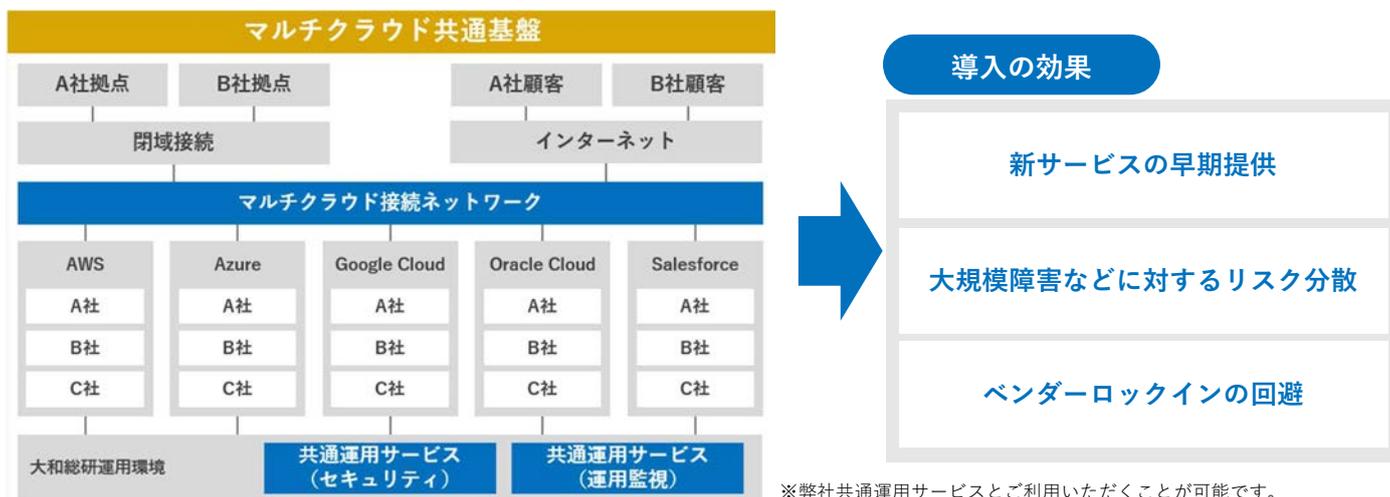


※お取り扱い可能なパブリッククラウド



※Amazon Web Services、AWS は、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
 ※Google Cloud は、Google LLC の商標です。
 ※Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 ※Oracle、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

「マルチクラウド共通基盤」サービスと共に用いることで、
複数のクラウドサービスを組み合わせる利用することが可能です。



製品・サービス名称	クラウド構築・支援サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	要件に応じた個別のお見積りとなります。下記問合せ先にお問い合わせ下さい。		
利用条件	—		
支払方法	一時費用：一括請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（個別契約 ）	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	※（例：24H/365D）	QA 対応時間帯	※（例：平日 9：00-17：00）
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯 ）	サービス停止の通知	※（例：1ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社大和総研 部署名：（東京）事業 IT コンサルティング部 （大阪）大阪事業 IT コンサルティング部 担当者：（東京）吉本 （大阪）溝口	電話番号：（東京）03-6365-6002 （大阪）06-7176-8625 FAX 番号： Mail： acad_ite@dir.co.jp	

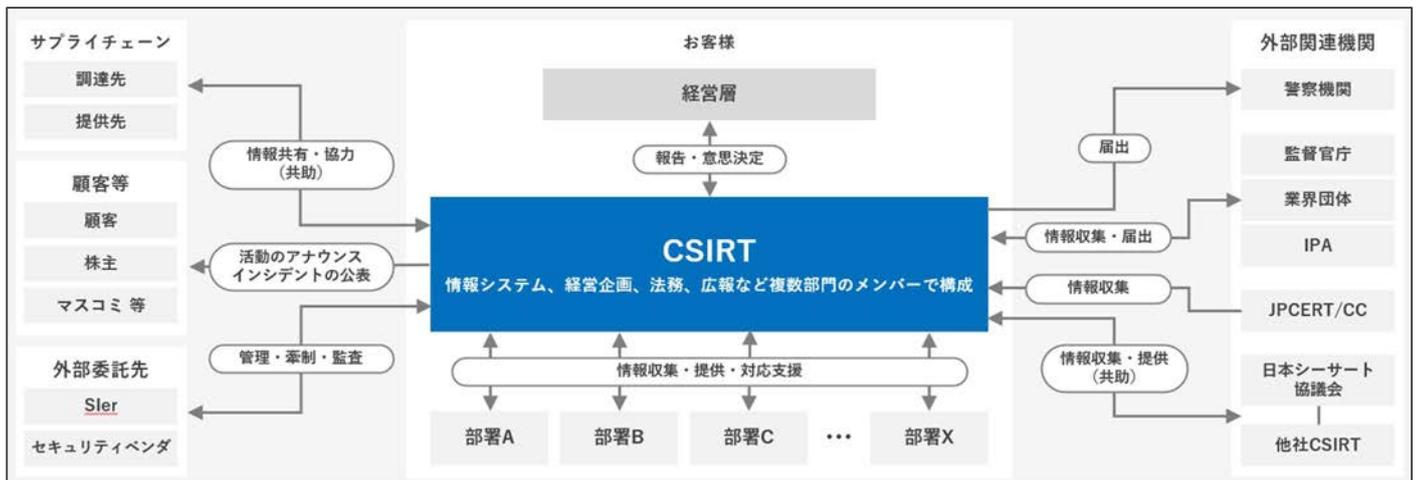
製品・サービス名称	サイバーセキュリティ対策（CSIRT 構築・運用支援）
提供企業名	株式会社大和総研
紹介サイト URL	https://itsolution.dir.co.jp/itsolution/s/list/cyber-security?utm_source=ibd&utm_medium=cloud_ctlg_23&utm_campaign=s06

■製品サービスの特長

国内大手証券会社のサイバーセキュリティ対策支援で培った実績をもとに、お客様がサイバーセキュリティ対策を的確かつタイムリーに行えるよう、体制の構築・運用を支援します。

CSIRT 体制の例

CSIRT（シーサート：Computer Security Incident Response Team）：組織内で発生したコンピュータセキュリティインシデント（脅威になり得る事象）に関する対応を行うだけでなく、セキュリティ品質を向上するための活動も含め、社内外のセキュリティ関連組織と連携して適切な対応を行う「専門チーム」



CSIRT 構築サービス

CSIRT 関連知識・ノウハウの勉強会を実施

CSIRT 構築に関わる各種お問い合わせに対応

CSIRT 構築に必要なハンドブック等の雛型をご提供

CSIRT 運営で使用するマニュアルやフローの作成支援

CSIRT 運営開始に備えた訓練・演習の実施支援

CSIRT 運用サービス

インシデントの状況把握・対応を支援

脆弱性情報による影響調査の取りまとめを実施

脅威情報による遮断情報の取りまとめを実施

CSIRT の監査対応を支援

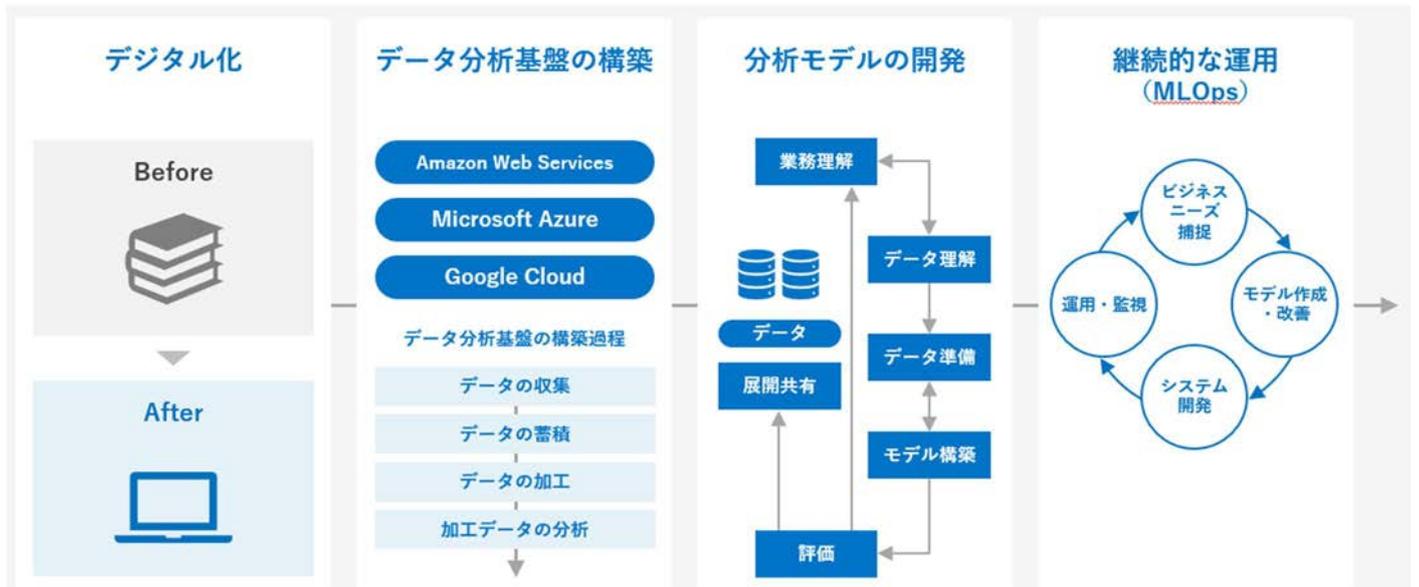
セキュリティ訓練の企画・準備および実行を支援

製品・サービス名称	サイバーセキュリティ対策		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	要件に応じた個別のお見積りとなります。下記問合せ先にお問い合わせ下さい。		
利用条件	—		
支払方法	一時費用：一括請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（個別契約 ）	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	※（例：24H/365D）	QA 対応時間帯	※（例：平日 9：00-17：00）
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯 ）	サービス停止の通知	※（例：1ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社大和総研 部署名：（東京）事業 IT コンサルティング部 （大阪）大阪事業 IT コンサルティング部 担当者：（東京）吉本 （大阪）溝口	電話番号：（東京）03-6365-6002 （大阪）06-7176-8625 FAX 番号： Mail： acad_ite@dir.co.jp	

製品・サービス名称	データ利活用・データ分析基盤構築サービス
提供企業名	株式会社大和総研
紹介サイト URL	https://itsolution.dir.co.jp/itsolution/s/list/data-analysis?utm_source=ibd&utm_medium=cloud_ctlg_23&utm_campaign=s02

■製品サービスの特長

「データマネジメントの企画・戦略策定」から「データ分析基盤の構築」、
「継続的な運用」まで、幅広く一貫したソリューションをご提供。



データの利活用戦略の策定からデータ分析の構築・運用までをトータルサポート
 高度な分析力/AI構築力でお客様のデータ利活用の取り組みをご支援
 データマネジメントの仕組みを整備し、継続的なデータ利活用を実現

さまざまなデータを一元的に収集・管理し利活用することで、
 時代にマッチした意思決定、収益の拡大が可能になります。

<p>見落としていた問題点や可能性を抽出 <small>規則性や異常値、因果関係等を一目で発見</small></p>	<p>スピーディな意思決定をサポート <small>客観的で正確な意見を得られ、判断の根拠に</small></p>
<p>パーソナライズされたマーケティング戦略 <small>顧客等のグルーピングにより、傾向を踏まえた効率的なセールス活動を実現</small></p>	<p>現状分析に加えて、将来予測が可能 <small>AIモデルによって、さまざまな要因を加味して将来を予測</small></p>

製品・サービス名称	データ利活用・データ分析基盤構築サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（東京理科大学様 ）		
費用	要件に応じた個別のお見積りとなります。下記問合せ先にお問い合わせ下さい。		
利用条件	—		
支払方法	一時費用：一括請求、後払、支払方法（振込）、継続費用：年次／月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（個別契約 ）	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	※（例：24H/365D）	QA 対応時間帯	※（例：平日 9：00-17：00）
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯 ）	サービス停止の通知	※（例：1ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社大和総研 部署名：（東京）事業 IT コンサルティング部 （大阪）大阪事業 IT コンサルティング部 担当者：（東京）吉本 （大阪）溝口	電話番号：（東京）03-6365-6002 （大阪）06-7176-8625 FAX 番号： Mail： acad_ite@dir.co.jp	

製品・サービス名称	レガシーマイグレーションサービス (レガシーシステム脱却/メインフレームシェアードサービス)
提供企業名	株式会社大和総研
紹介サイト URL	https://itsolution.dir.co.jp/itsolution/s/list/legacy-migration?utm_source=ibd&utm_medium=cloud_ctlg_23&utm_campaign=s03

■製品サービスの特長

レガシーシステム脱却の対応策には大きく3つのパターンがあり、システム化構想策定時にお客様のレガシーシステムの特性や課題に応じた最適な対応策を選定しご提案します。

	i. パブリッククラウド上で再構築	ii. パブリッククラウドへリフト	iii. メインフレーム上で塩漬け
	アプリケーションの仕様を一から再構築 ビジネスニーズに迅速に対応できるシステムへ	アプリケーションの仕様はそのままに、開発言語のコンパイルを行ってパブリッククラウドへ移行 移行のリスクを抑えて早期にレガシーシステムから脱却	メインフレーム上での稼働を継続 利用終了が想定されているアプリケーション等の受け皿に
ビジネスアジリティ	◎	×	×
サービスの継続性 技術者の確保	◎	○	×
対応の難易度	△	○	◎
移行のリスク	△	○	◎
当社の関連ソリューション	システム化計画策定 ビジネス / 業界分析 クラウドインフラ構築・移行 マルチクラウド共通基盤 (NW、セキュリティ、運用・監視)		メインフレーム シェアードサービス 運用サービス



上流から下流まで、一貫したソリューションを提供
主要クラウドベンダーのパートナー企業としてのナレッジを最大限活用
最適な製品の組み合わせをご提案

※ ご参考：メインフレームシェアードサービス

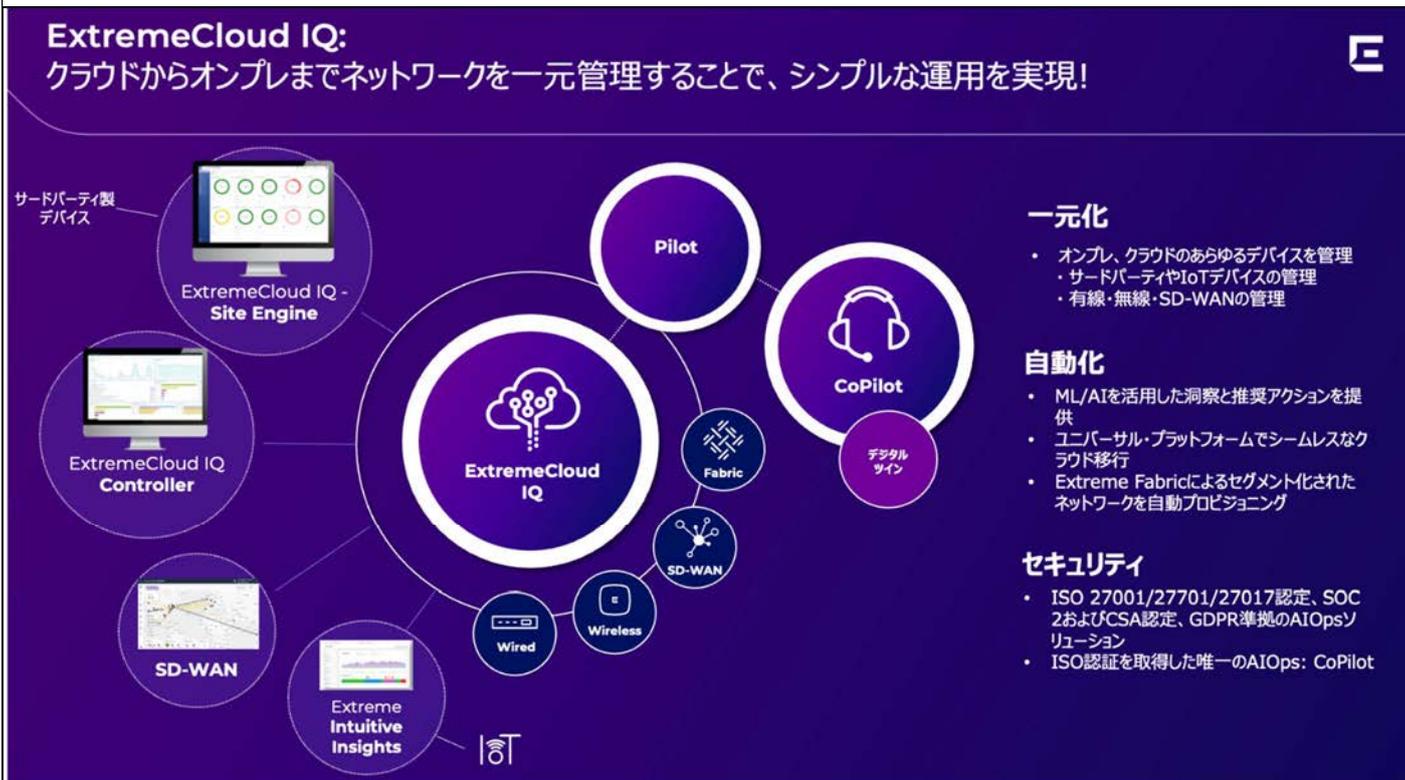
メインフレームを論理的・仮想的に区画分割し、ご利用頂くシェアードサービスです。

イメージ図	導入のメリット
<p>A社環境 B社環境 C社環境</p> <p>↓</p> <p>メインフレームシェアードサービスへの移行</p> <p>大和総研環境</p> <p>A社区画 B社区画 C社区画</p>	<p>共同利用であるため、お客様の TCO 削減に寄与</p> <p>お客様ビジネスの規模に合わせ、柔軟にリソース量を調整可能</p> <p>金融システムに準拠した堅牢なセキュリティ、運用サービス</p>

製品・サービス名称	レガシーマイグレーションサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	要件に応じた個別のお見積りとなります。下記問合せ先にお問い合わせ下さい。		
利用条件	—		
支払方法	一時費用：一括請求、後払、支払方法（振込）、継続費用：年次／月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（個別契約 ）	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日・時間
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	事前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO/IEC20000—1、27001、 27017、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社大和総研 部署名：（東京）事業 IT コンサルティング部 （大阪）大阪事業 IT コンサルティング部 担当者：（東京）吉本 （大阪）溝口	電話番号：（東京）03—6365-6002 （大阪）06—7176-8625 FAX 番号： Mail： acad_its@dir.co.jp	

製品・サービス名称	ExtremeCloud™ IQ
提供企業名	Extreme Networks 株式会社
紹介サイト URL	

■製品サービスの特長



ExtremeCloud™ IQ は、クラウド、オンプレミス、ハイブリッドネットワークを管理する統合プラットフォームです。ExtremeCloud IQ には、オンボーディング、設定、モニタリング、トラブルシューティング、レポート生成の機能が備わっており、ML/AIを活用して実用的な洞察を提供します。

一元化

- オンプレミス用の ExtremeCloud IQ - Site Engine、または ExtremeCloud IQ Controller(ワイヤレスコントローラ)を使用してハイブリッドネットワークをシームレスに構築、ExtremeCloud IQ にリンクして、クラウドから管理できます。
- あらゆるデバイスを管理できます (サードパーティや IoT デバイスの管理、有線・無線・SD-WAN の管理)。

自動化

- Explainable-ML を活用した洞察と推奨アクションの提供により、IT 運用の効率化を実現します。
- ユニバーサル・プラットフォームによるシームレスなクラウド移行を提供します。
- Extreme Fabric でネットワークを自動的にプロビジョニングおよびセグメント化します。

セキュリティ

- 他のクラウドベンダーがクラウド設備のみを認証しているのに対し、Extreme AIOps はソリューション全体が ISO 認証を受けています。
- SOC 2 コンプライアンス、CSA 認証、GDPR コンプライアンスも取得しているため、企業はセキュアなクラウド上にネットワークを構築できます。
- CoPilot は ISO 認証を取得した唯一の AIOps です。

製品・サービス名称	ExtremeCloud™ IQ		
■ 分類			
製品サービス区分	クラウド区分	製品サービス区分	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・サービス ・製品 ・その他 ()	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■ 一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 管理対象デバイス数に応じた年間サブスクリプション、実際の見積については当社販売代理店様にお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間 1 年間、利用対象の制限等 【製品の場合】ライセンス形態（買取、利用契約）、保守（初年度から・2 年目から）等		
支払方法	※月次／年次請求、前払／後払、支払方法（振込／クレジットカード／その他）、支払通貨等		
販売代理店	無、有（代理店名：当社ウェブサイトでご確認ください）		
■ 契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	申込み方法	注文書・その他 ()
約款の有無	有・無 ()	約款の有無	有・無 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ保存場所	国内・海外 ()
準拠法	日本国法・海外法規 (米国)	準拠法	日本国法・海外法規 (米国)
■ 信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容： ExtremeCloud IQ SLA)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.99%)	実績稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	ストレージ	多重化有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	データ暗号化	有・無・その他 ()
■ 機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)
管理ツール	有・無・その他 ()	管理ツール	有・無・その他 ()
■ 保守・運用			
障害対応時間帯	販売代理店による	障害対応時間帯	販売代理店による
コンタクト方法	電話・メール・その他（販売代理店による）	コンタクト方法	電話・メール・その他（販売代理店による）
計画停止の頻度	※なし	計画停止の頻度	※なし
ログの開示	有・無 ※条件管理者のみ	ログの開示	有・無 ※条件管理者のみ
問合せ先	企業名：Extreme Networks 株式会社 部署名：営業部 担当者：時田 雅文	問合せ先	電話番号：070-3791-4447 Email： mtokita@extremenetworks.com

製品・サービス名称	Nutanix GPT-in-a-Box
提供企業名	ニュータニックス・ジャパン合同会社
紹介サイト URL	https://www.nutanix.com/jp/blog/nutanix-simplifies-your-ai-innovation-learning-curve

■製品サービスの特長

あらゆる業種で急増するAIのユースケース

一般的な学習データと学習済みのモデルにおける課題に加えて知財管理/産学連携を行う上での様々な課題・・・

あらゆる業種

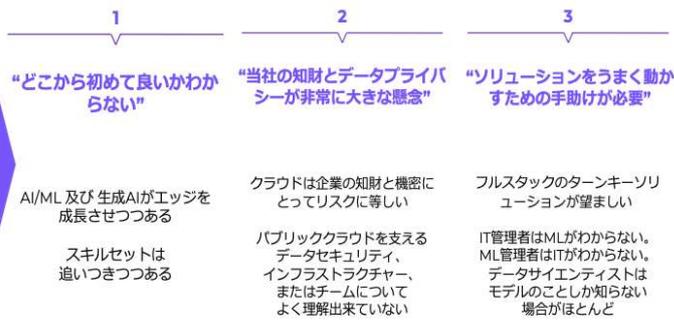
- カスタマーサービスとテクニカルサポートのためのAIポット
- 文書検索と分析例：ローン、契約、研究
- コードのco-pilot(副操縦士)
- 不正や盗難の防止

製薬/ヘルスケア

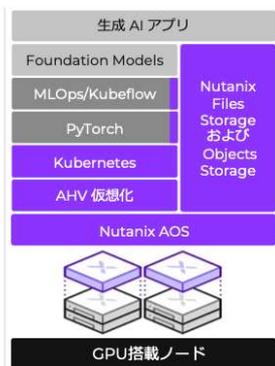
- 生成型抗体設計
薬品探索のためのゲノムデータの処理
- 金融
ポートフォリオ最適化
顧客のアップセル分析

流通/エッジ

- 視覚的品質検査
不正検出
- 政府
作戦におけるCo-pilot
シミュレーション - デジタルツイン、マルチエージェントシステム



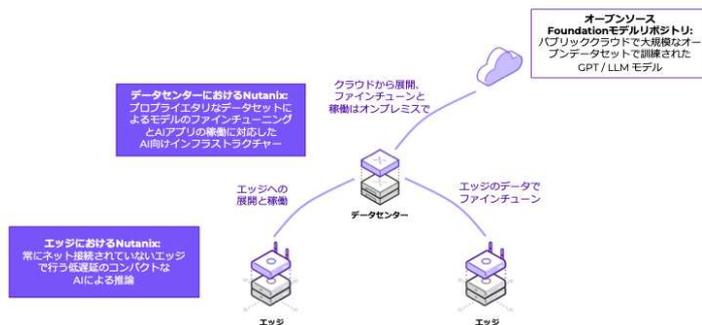
Nutanix GPT-in-a-BOX ソリューション



オープンソースのAIモデルを活用



NVIDIA Enterprise AIモデルを活用



ガバナンス下で学習データと学習済みモデルをクラウド、エッジ、データセンターをまたいで自在に移動、活用

NutanixがAIに提供する付加価値



あらゆるクラウドをサポート



他のAIソリューションとの違い



製品・サービス名称	Nutanix GPT-in-a-Box		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（徳島県庁、札幌市、魚津市教育委員会、帝京大附属病院他） 大学数（非公開）校：利用大学名（慶応義塾大学、関西大学、近畿大学、北見工業大、九州工業大、沖縄大等）		
費用	必要リソース（CPU コア数、SSD 容量）×期間 によるサブスクリプションライセンスの提供となります。ご購入時に契約期間を決めていただければ、従量による課金は発生せず、最新バージョンでのご利用が可能です。※パブリッククラウド利用時は、トライアルライセンス有。		
利用条件	【クラウド利用】Marketplace より、オンデマンドで購入や各プラットフォーム間のライセンスモビリティ可。 【製品購入】サブスクリプションによる利用契約、保守、アップグレード権、サポートは含む。		
支払方法	【クラウド利用】Marketplace より、クラウドの支払いと合わせて購入。 【製品購入】物品調達と同様、契約期間分の費用を一括、もしくは年次更新の形で導入ベンダーへお支払い。		
販売代理店	有（代理店名： Nutanix Japan まで、直接お問い合わせください）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ Marketplace ）	利用開始までの期間	即時利用 ～ 2 か月前後
約款の有無	有 無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無 その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無 その他 ()
準拠法	日本国法 海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（可用性、耐障害性として、99.95%以上を提供）		
実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）
ストレージ	多重化有 無・その他 ()	バックアップ	有 無・その他 ()
データ暗号化	有 無・その他 ()	暗号化通信	有・無 その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有 無・その他 ()	API 公開	有 無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	(24H/365D)	QA 対応時間帯	24H/365D (日本語は 9:00~17:00)
コンタクト方法	電話・メール・その他（サポートフォームより申請）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	無
ログの開示	有	第三者認証取得状況	HIPAA、PCI、NIST、GDPR 等
問合せ先	企業名：ニュータニクス・ジャパン合同会社 部署名：マーケティング統括本部 担当者・	電話番号：03-4588-0520 FAX 番号： Mail：contact-jp@nutanix.com	

製品・サービス名称	EverFlex from Hitachi 仮想化基盤		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）： 大学数（非公開）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。月額固定／従量課金が選択できます。		
利用条件	最低ユーザー数：1、利用期間：5年（60ヶ月） 利用期間は応相談。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3か月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容：)		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24時間週7日	QA 対応時間帯	問合せ受付：24時間週7日 回答時間：営業日9～17時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/vmcaw/

■製品サービスの特長

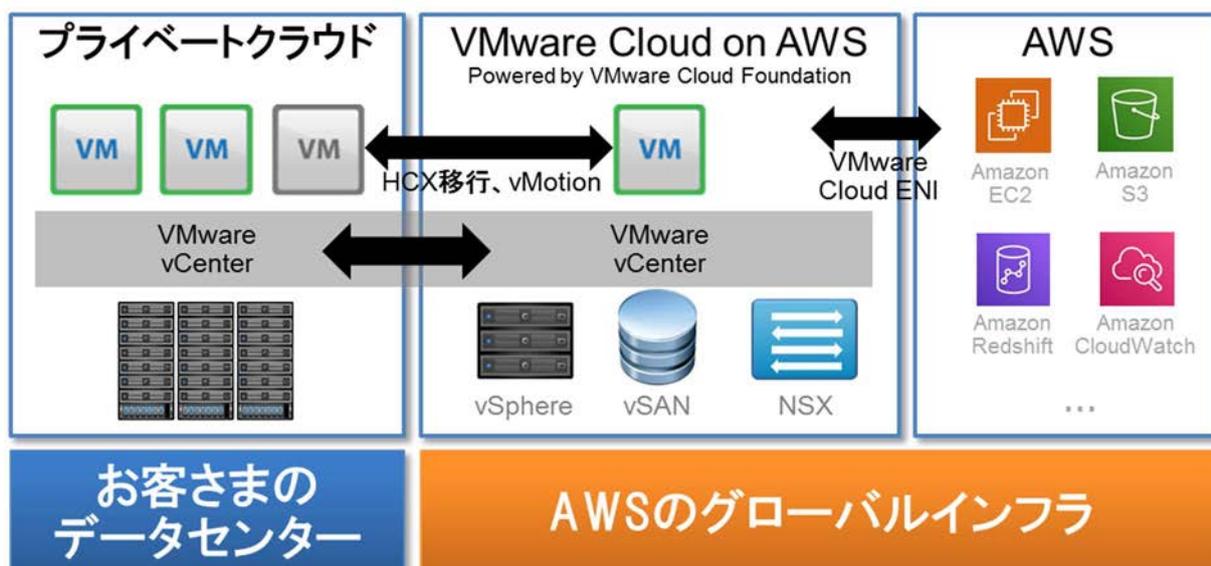
VMware Cloud™ on AWS に高信頼の日立サポート 独自の付加価値を付け加えてお客さまにお届け

お客様のメリット

- ① 今まで慣れ親しんだ VMware 製品用の管理手法やツールを変更せず、クラウドへ移行
- ② 要件（許容ダウンタイム、回線状況等）に応じて柔軟な移行方式を選択し、移行ツールの中で vSphere のバージョンや仮想ハードウェアバージョンの違いを吸収(※1)
- ③ AWS サービスとのシームレスな連携(※2)

※1：移行可能な vSphere バージョンには制限があります。

※2：お客さま AWS アカウント上での設定はお客さまにて実施いただきます。



日立独自の付加価値

- ◆ 稼働レポート提供：リソース使用状況や EDRS(※3)でのホスト数の増減を月次で報告
- ◆ VMC 監視：vCenter のアラートをお客さま指定のメールアドレスに転送
- ◆ SPLA 提供：ゲスト OS に使用可能な Windows Server ライセンスを提供(※4)
- ◆ 運用ガイド提供：VMC を運用するにあたり考慮すべき点をガイドとして提供

※3：Elastic DRS の略。ホストの利用状況に応じて自動的にホストの増減を行います。

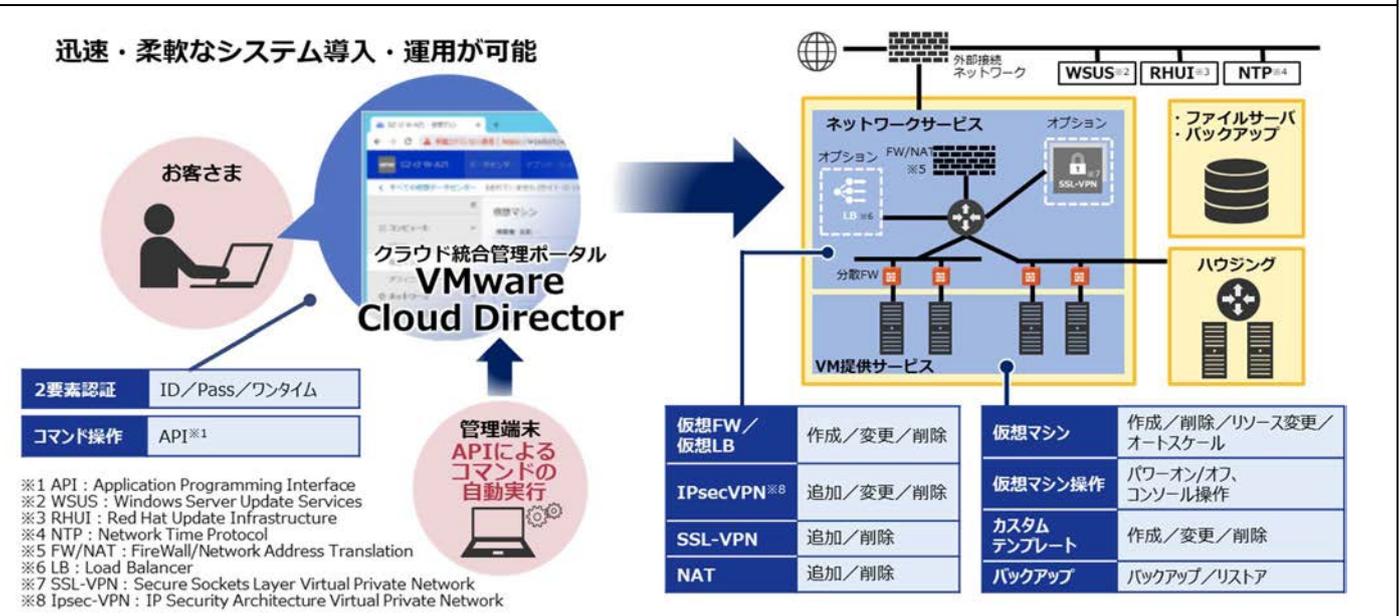
※4：Microsoft Services Provider License Agreement の略。サービスプロバイダ向けのライセンスプログラムです。サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- ・VMware, VMware vSphere, VMware vCenter, VMware NSX, VMware vSAN, VMware Cloud は米国およびその他の地域における VMware Inc. の登録商標または商標です。
- ・Microsoft, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・AWS, Amazon EC2, Amazon S3 は、Amazon Inc. の登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。導入時に初期費用が発生します。 課金単位は月払いと一括払いです。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数：1、最低利用期間：1か月、(解約の1か月前に弊社営業にご連絡頂きます)		
支払方法	月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業 ）	利用開始までの期間	1.5か月～
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ）		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	個別調整
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、SOC 1、SOC 2、SOC 3、HIPAA、GDPR
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/enterprise-g2/

■製品サービスの特長



本サービスは ISMAP クラウドサービスリストに登録されています。
 ※ISMAP : 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度



・従来サービスでは難しかったネットワーク・VMの組み合わせを実現

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータル（VMware Cloud Director）を利用し、従来サービスでは難しかったネットワーク・VMの組み合わせで設計できます。お客さまにて任意のタイミングで切替や一時的なテスト環境構築などの柔軟な運用を実現。日立への問い合わせや作業依頼といった手間と時間を取らせません。

・ポータル機能でのお客さま運用で、導入一時費用低減と導入時間を短縮

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータルで、必要なときにお客さまがリソースを変更できます。また、ご要望に合わせた必要最小限の構成に最適化することで、導入や運用にかかるコストを抑えられます。最新技術の採用により提供基盤を最適化。CPUなどのサーバリソースを低価格にしました。

・従来サービスのお客さまサポートは、問い合わせから導入支援までメニュー化

従来サービスと同様に、エンタープライズクラウドサービス G2 では定期メンテナンスを実施。監視、障害対応によりお客さまのクラウドリソースを安定稼働させます。「どのような構成にしたらいかがわからない」といった疑問にも、日立の技術者がお応えするサポート対応が可能です。

※サービス仕様については、予告なく変更する場合があります。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは導入にかかる一時費用が発生します。 請求は月次従量課金での精算となります。メニューにより時間・日額課金となっております。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1 カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	最短 5 営業日
約款の有無	有・無 (契約書による)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：最低稼働率として 99.5%を保証)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 (99.99%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 (ポータル等)	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	最大 1 回/月	サービス停止の通知	1 ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMAP、P マーク ISO(ISMS、QMS、EMS)
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第 3 グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター
提供企業名	株式会社 日立製作所
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/platform_client/index.html

■製品サービスの特長

Hitachi Cloud

クライアントサービス

HITACHI
Inspire the Next

高信頼・高品質で実績豊富な日立のデータセンタ上で仮想デスクトップ環境を提供！

お客さまの課題 

1. 働き方改革への対応 柔軟な働き方を実現し、生産性や企業の魅力度を向上したい
2. セキュリティ対策 利便性を落とさずにセキュリティ対策をしたい
3. IT部門の負担軽減 構築/運用ノウハウがない、システム運用の負担を軽減したい

クライアントサービスの特徴



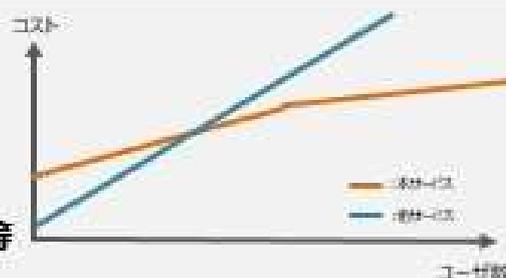
高品質・高信頼

- ・堅牢かつ高セキュリティな日立のデータセンタを活用
- ・高水準のセキュリティ要件に準拠
- ・常駐者による24時間365日監視 等



シンプルな価格体系

- ・ユーザー数に応じた月額課金
- ・シンプルかつ柔軟なメニュー体系
- ・ユーザー数や契約年数に応じた予約割引の適用 等



寄り添い型のサポート

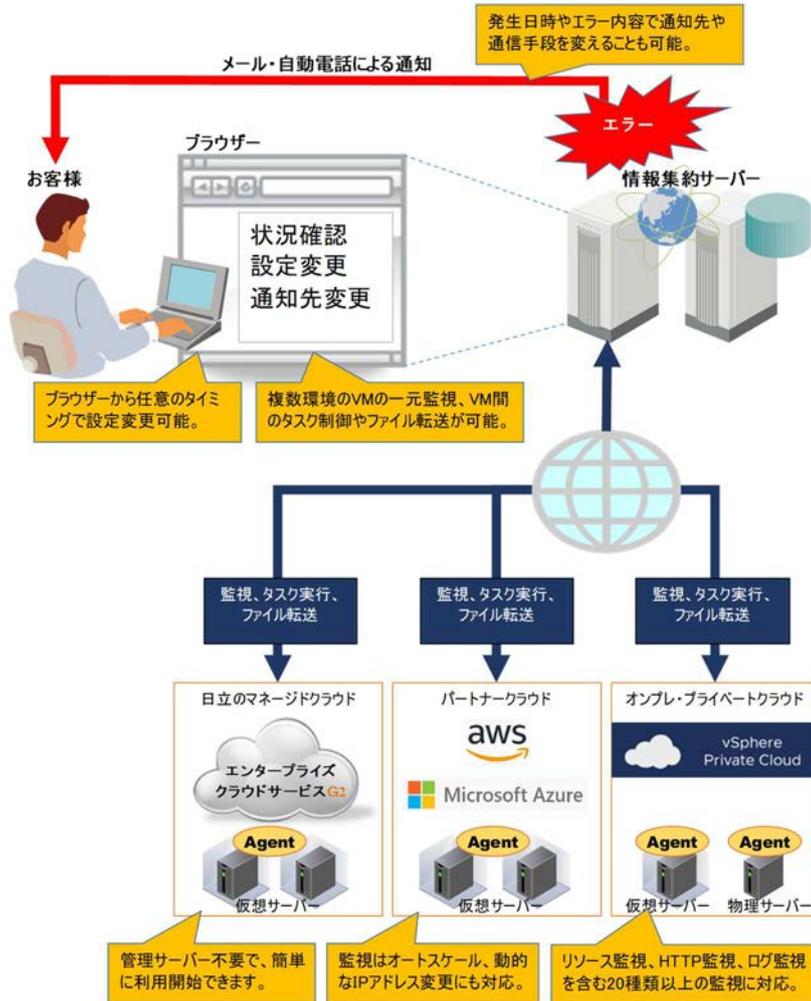
- ・豊富な実績に基づくノウハウ
- ・お客様の個別の事情に寄り添った手厚いサポート
- ・問い合わせ/障害発生時の受付窓口を一本化 等



製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (用途不問)
■一般事項			
契約実績	法人数 (10) 社 : 利用企業名 (S 社、Z 社、J 社、N 社、O 社、M 社、A 社など) 大学数 () 校 : 利用大学名 ()		
費用	※課金は基本料金+仮想デスクトップのスペック別台数単価*台数 ※基本料金は台数レンジごとに定額。 ※スペック別台数単価は、ボリュームディスカウントで台数レンジが高いほど安価。 ※契約年数は、1年、3年、5年。契約年数が長いほど安価。		
利用条件	最低ユーザ数は原則 500 台以上。		
支払方法	※月次請求、月末手配		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	フロント業種 SE 経由で見積依頼	利用開始までの期間	ハードウェア調達期間に依存
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有 (99.99%)・無・その他 ()	目標稼働率	有 (99.8%)・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有 (お客様データはオプション)・無・その他
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	3 回/年	サービス停止の通知	6 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名 : 株式会社 日立製作所 部署名 : プライベートクラウドサービス本部 クラウド基盤サービス第 2 部第 1 グループ 担当者 : 加藤竜児	電話番号 : メールにてご連絡ください FAX 番号 : メールにてご連絡ください Mail : hc_client_service@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html

■製品サービスの特長



監視サービス Monitor

サーバー及びネットワークデバイスの状態を監視し、エラーを検知すると、指定された通知先に通報します。リソース監視、HTTP監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応します。

タスク実行サービス Kicker

各種クラウド、オンプレミスに点在するサーバーに対しタスクを実行します。発生した障害は、指定された通知先に通報します。

ファイル転送 Transporter

サーバーで保有するファイルを、クラウドのストレージ経由で任意のサーバーに転送。ファイルを分割暗号化し並列送信することで、安全かつ高速に転送します。

- 各種クラウド、オンプレミス環境のアラートや稼働統計、タスクの実行結果やファイル転送結果を 1 つの画面で確認可能
複数のクラウドが混在した環境の監視やタスク実行、ファイル転送を同一システムで管理し 1 つの画面で確認できるのでアラートを見逃しにくくなります。
- 監視機能はリソース監視、HTTP 監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応
リソース監視、HTTP 監視、ログ監視など、多種多様な監視に対応します。監視設定サイトからエラー判定条件、通知抑止条件、設定ファイルのダウンロード、メールアドレス登録、外部監視の設定などを行えます。
- オートスケールや動的な IP アドレス変更に対応した監視を簡単・迅速に開始可能
ネットワークもインターネット経由での管理のため、お客さま側でのマネージャーの準備や、専用線敷設は必要ありません。また、フェデレーテッドクラウド情報集約サーバーと対象サーバー間で発生する通信は HTTPS 通信のため、やり取りする管理情報は暗号化されています。

※サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- vSphere は、米国およびその他の地域における VMware Inc. の登録商標または商標です。
- AWS は、Amazon Inc. の登録商標または商標です。
- Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他(パブリックとプライベートを管理)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）：		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額/時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	最短 5 営業日
約款の有無	有・無（契約書による ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	有・無・その他（99.95%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS、CLS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	リモートアクセスシステム DoMobile
提供企業名	株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
紹介サイト URL	https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/index.html

■製品サービスの特長



リモートアクセスシステム DoMobile とは

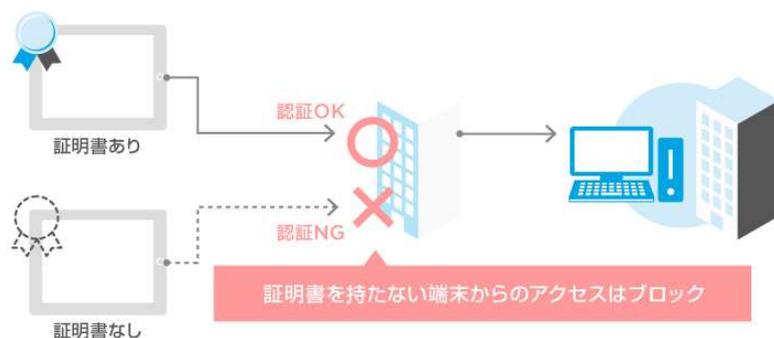
DoMobile は、オフィス内にある自席パソコンを社外から遠隔操作できる、リモートアクセスサービスです。パソコンからの接続はもちろん、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスからも接続可能。場所を選ばずに利用できるため、外出時の空き時間の有効活用、在宅勤務実施によるワークライフバランスの実現や BCP 対策まで幅広く活用できます。

強固なセキュリティ

デジタル証明書認証による認証

デジタル証明書を持たない端末からのアクセスはブロックします。

さらに、3つの認証情報（コンピュータ名、ログインID、パスワード）を組み合わせた認証機能により第三者による利用を防ぎます。



DoMobile 専用の通信経路を利用

専用クライアントで画面のみを転送。万が一リモート端末がウイルスに感染していても、自席パソコンにウイルスが感染することはありません。



製品・サービス名称	リモートアクセスシステム DoMobile		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	導入実績 3,800 社以上 (2021 年 4 月現在)		
費用	初期費用：企業登録料 10,000 円/企業、ユーザ登録料 1,000 円/アカウント 年額利用額：18,000 円/アカウント。詳細は弊社までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：1 年 (更新の 1 か月前までに弊社にご連絡いただきます。)		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名：ダイワボウ情報システム、大塚商会等)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	5 営業日～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 (非公開)
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：基本的に 365 日、24 時間稼働とします。(但し、メンテナンス時は除きます。))		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	非公開
ストレージ	多重化有・無・その他 (非公開)	バックアップ	午前 2:00～2:30 の時間帯にバックアップ処理を行います。(1 日 1 回)
データ暗号化	有・無・その他 (非公開)	暗号化通信	SSL (最大 256bit)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (ただし、SSL-VPN による暗号化通信に対応)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	有
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	非公開
計画停止の頻度	非公開	サービス停止の通知	最短 2 週間前までに、管理者宛てにメール通知およびサービスポータル画面で告知
ログの開示	有・無 (※条件：アクセス履歴のみオプショナルで参照可能)	第三者認証取得状況	ISO27001、ISO14001、ISO9001、プライバシーマーク
問合せ先	企業名：株式会社日立ソリューションズ・クリエイト 部署名：営業統括本部 DX 営業推進本部 インサイドセールス部 担当者：武富、松尾、宍戸 ----- 企業名：株式会社日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部第四営業本部 学術情報営業第一部第 3 グループ	TEL: (03) 5780-6111 (代表) WEB 問合せ： https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html Mail： hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com ----- Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

■製品サービスの特長

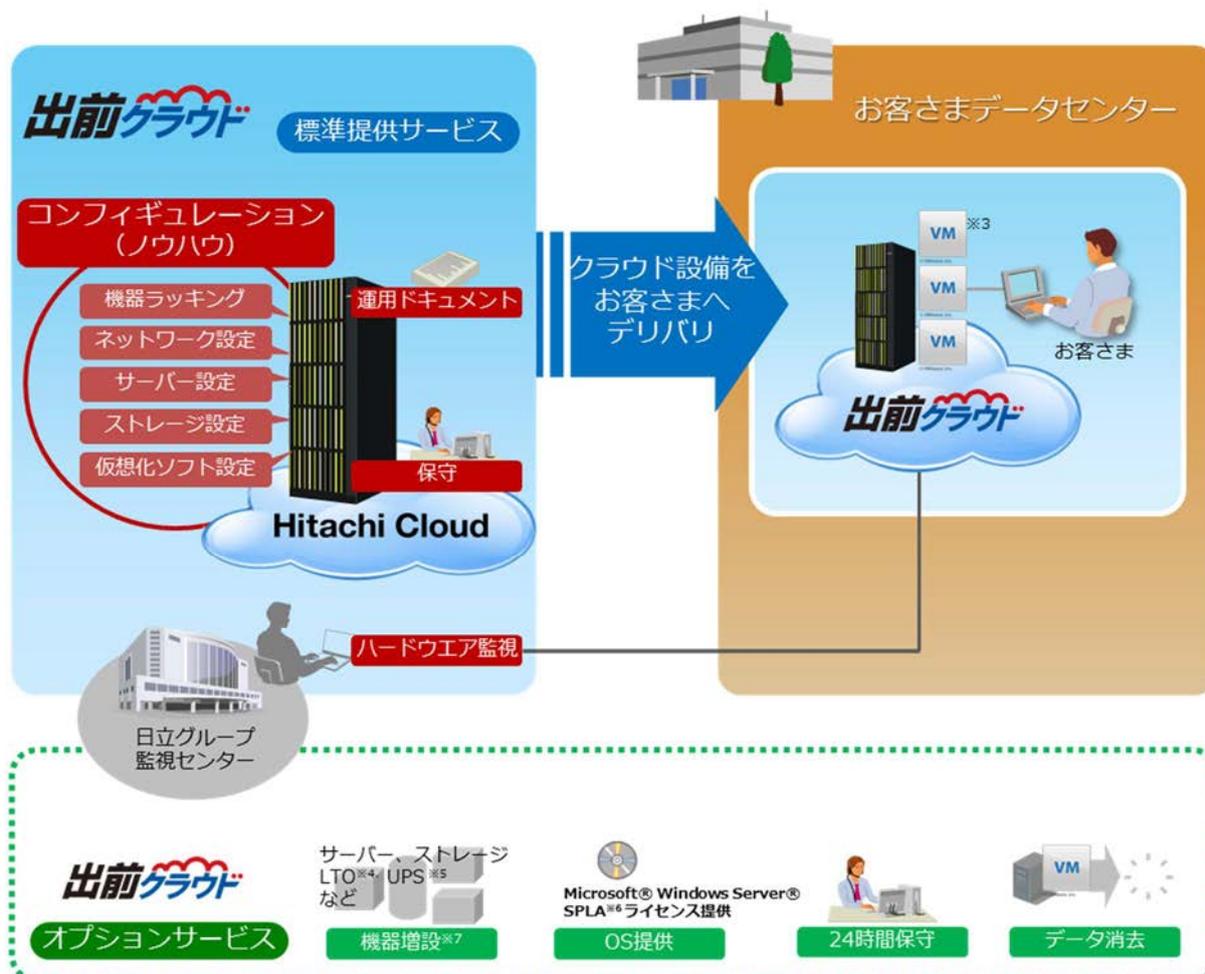
“クラウド設備”をお客さまにお届け 月額払いでプライベートクラウドを利用可能

お客さまのメリット

- 1 プライベートクラウドを初期費無し※1の月額料金で、早期に提供します
- 2 お客さまデータセンターに設置でき、データ流出の心配がありません
- 3 必要な時期に機器増設可能※2 柔軟な構成を提供します

※1：運送設置費のみ別途必要となります。

※2：サーバーまたはストレージの新モデルの発売による規格変更・在庫完売の場合は、提供できないことがあります。



※3 Virtual Machineの略。

※4 Linear Tape-Openの略。テープ型の記憶媒体。

※5 Uninterruptible Power Supplyの略。無停電電源装置。

※6 Microsoft Services Provider License Agreementの略。サービスプロバイダ向けライセンスプログラム。

※7 LTO、UPSは初期導入時にもみ提供可能です。

・VMware、VMware vSphere、VMware vCenter、ESX、ESXi は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	出前クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）：利用企業名（金融業などを中心に数十社の実績あり） 大学数（非公開）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数：1、最低利用期間：半年（解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。）		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3か月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容：)		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	当社営業日 9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	年間 5 件まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS、CLS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/base.html

■製品サービスの特長

「横浜センタ」「岡山センタ」をはじめ、日本各地にデータセンターを展開。

堅牢な設備でお客様の IT 資産をお守りします。



特長 1 日立のデータセンターでは、地震、水害や火事などの災害、故障などのトラブルに対してさまざまな対策をしています。

特長 2 日立のデータセンターでは、お客様のIT資産を守るため充実したセキュリティ対策をしています。

特長 3 日立の各種クラウドサービスや、パブリッククラウドとの接続サービスもご利用いただけます。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハウジング)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	ご利用条件はサービスによって異なります。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS、ITSMS、P マーク、 QMS、EMS、BCMS
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 第3グループ 担当者: 江盛、荒木	電話番号: 03-5471-4507 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

5. その他

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ ASSETBASE の概要 ～リモートワークの基本セキュリティ対策として～

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面で IT 資産の管理の重要性がますます高まっていますが、特に昨今ではリモートワークにおける端末のセキュリティ対策としてセキュリティアップデートが注目されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC（特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (IT 資産管理)
■一般事項			
契約実績	大学実績 (約 70) 校：利用大学名 (国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学 等) 民間実績 (約 50) 社：利用企業名 (非公開) 他、自治体、教育委員会 (小中高等学校)、私立学校等		
費用	・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス+サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル (評価版) ご利用可能		
利用条件	・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能 ・最低利用期間：1 年間 (年間利用料制)		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として前払、原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	無、有 (代理店名：内田洋行各販売代理店)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	5 営業日 (SaaS 型の場合)
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (ご利用約款に基づく)		
実績稼働率	有・無・その他 (2022 年実績：99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 2 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者：舘野 康彦	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： abinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/download-station/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

ソフトウェア配布提供システム



Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



POINT

1 ソフトウェア配布を安全・簡単に

利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロード・インストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。

POINT

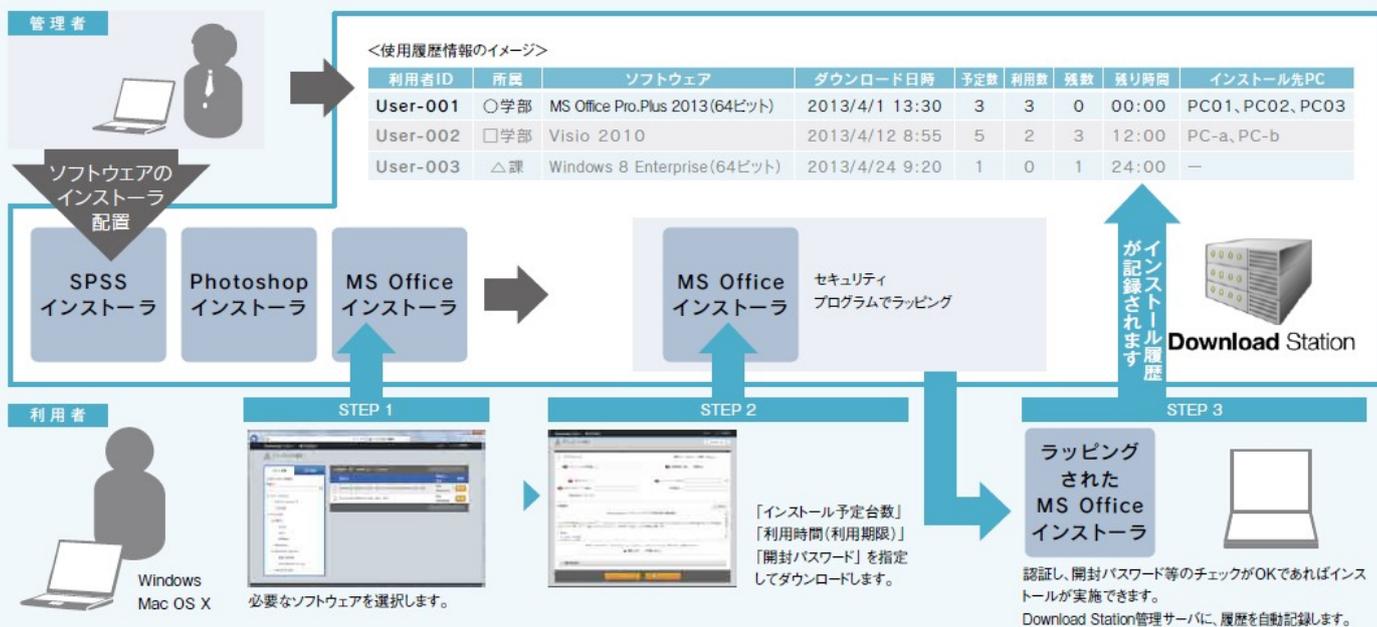
2 トレーサビリティの確保

ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。

POINT

3 利用者・管理者の負担軽減

利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理者はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。



■Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決 1】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
- 【こんな課題を解決 2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい
- 【こんな課題を解決 3】 キャンパスや拠点多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい
- 【こんな課題を解決 4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決 5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(ソフトウェアの配布管理)
■一般事項			
契約実績	民間実績（非公開）社：利用企業名（非公開） 大学実績（非公開）校：利用大学名（筑波大、香川大、早稲田大、法政大、中央大、立命館大、近畿大 等）		
費用	・初期費用：導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用：年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態：システム単位（買取） ・保守条件等：保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として振込支払（応相談）		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
■契約			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日（標準システム構築期間） ※別途環境構築が必要
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
■信頼性			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく （事例：99.9%以上 計画停止を除く）	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有
データ暗号化	無	暗号化通信	有
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	無
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者：館野 康彦	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： ml-DS_Support@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス 学生向け Microsoft Office 学割

うれしい特典がいっぱい！

パソコンだけでなく、タブレットやスマホでも使える Office! それぞれ5台ずつインストール可能。 ※1

OneDriveを始め、TeamsやOneNoteなど様々なクラウドサービスが利用可能! ※2

アプリは自動・無料でアップデート。いつでも最新版が使えます。

在学中なら、買い替えた新しいPCへ再インストールが可能!

AXIES 正会員大学の学生向けには
通常の学割価格よりさらにオトクになります！

AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください (<https://axies.jp/ja/privilege/xv7esk>)

■ウチダの Office 学割 U365 の概要

学生の必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。

様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります！

1. フルスペックのOffice (Microsoft 365 Apps) OneDriveやTeamsも付いています
2. PC (Windows・macOS)・タブレット・スマホ各々5台 (最大15台) インストールOK
3. 大学の費用負担無し！ 大学専用のECサイトを開設しクラウドで無償提供します

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 (ソフトウェア販売)	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (学生サービス)
■一般事項			
契約実績	大学実績 (約 200 超) 校: 利用大学名 (日本全国多数) 民間実績 (無: 教育機関のみ) 社: 利用企業名 他、専門学校 (約 100 校超) 等		
費用	・初期費用: 無し ・ランニング費用: 無し		
利用条件	・最低ユーザ数: ゼロ ・最低利用期間: 1 年間		
支払方法	請求サイクル: 無し (希望する学生が Office を購入)		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無 (学生向けの利用約款あり)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (24h365D)		
実績稼働率	有・無・その他 (2022 年実績: 99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00~16:00	QA 対応時間帯	10:00~16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 1 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名: 株式会社内田洋行 部署名: システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者: 舘野 康彦	電話番号: 03-5634-6646 FAX 番号: 03-3645-2337 Mail: u365support@esco.co.jp	

製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/ecservice/

■製品サービスの特長

BYOD による学生一人 1 台 PC 環境の実現を支援いたします

あなたの学校と一緒に
選びました。

ウチダの パソコン学割



1 Windows PCは、Windows 10 Pro という法人向けOSを搭載。内蔵ストレージ (SSD) はもちろん、USBメモリやSDカードの暗号化が可能です。

※Windows 10 Home搭載PCは、ストレージ暗号化機能 (BitLocker) がありません。

2 ご購入前もご購入後も、同じお問合せ窓口でご対応いたします。

一環したヘルプデスクサービスで安心です。

3 物損や盗難の保証に対応。落として破損しまったりしても、修理対応いたします。

※オプション対応となります。

4 修理の際は、ご指定の場所にてお引き取りとお届けの対応をいたします。

※オプション対応となります。



あなたの学校専用に設定済みすぐに使えます！

「ウチダのパソコン学割」は、あなたの学校に合わせて選んだパソコンやタブレットPCを通販で購入できるサービスです。



※購入できるパソコンやタブレットPC・設定内容は、学校ごと異なります。詳細は学校からの案内チラシや、ECサイトをご確認ください。



在学中ずっとあしんな保証サービス

ウチダのパソコン学割では、在学中ずっと安心な保証サービスをご用意しています。通常のメーカー保証 (購入から1年以内の自然故障) ではカバーできない、物損や盗難にも対応した保証サービスです。

※購入できるパソコンやタブレットPC・設定内容は、学校ごと異なります。詳細は学校からの案内チラシや、ECサイトをご確認ください。



破損



火災



水濡れ



落下



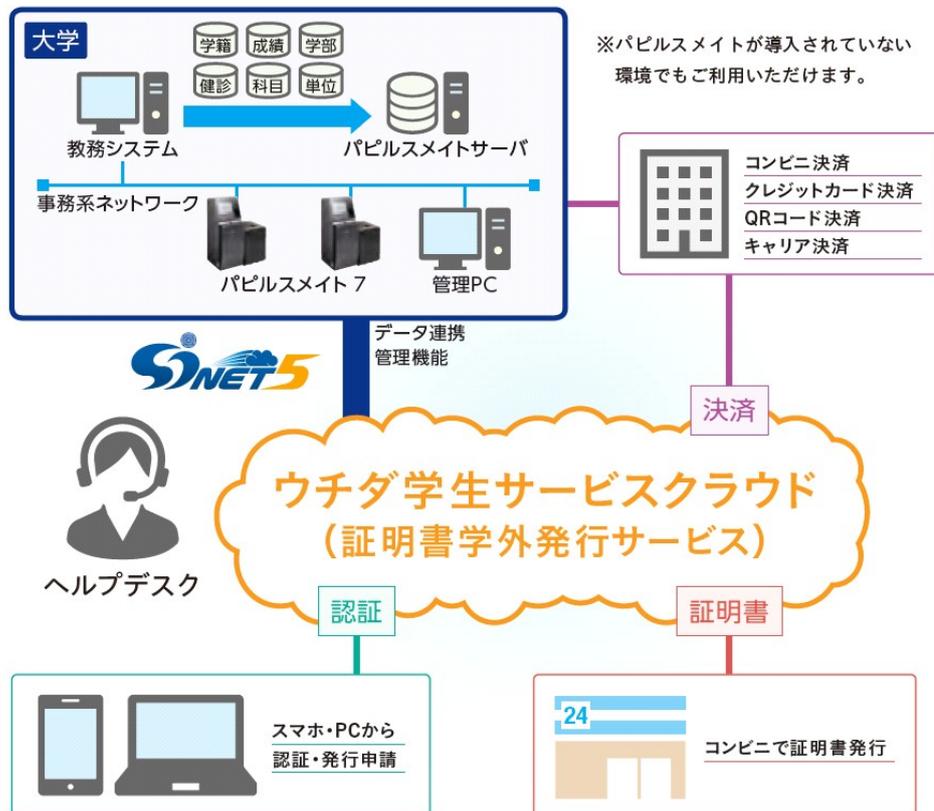
盗難

製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他(ハードウェア販売)	・パブリック・プライベート ・その他()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(学生サービス)
■一般事項			
契約実績	大学実績(約200超)校:利用大学名(日本全国多数) 民間実績(無:教育機関のみ)社:利用企業名 他、専門学校(約100校超)等		
費用	・初期費用:無し ・ランニング費用:無し		
利用条件	・最低ユーザ数:ゼロ ・最低利用期間:1年間		
支払方法	請求サイクル:無し(希望する学生がPC、オプション品を購入)		
販売代理店	無、有()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他(当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	10営業日程度
約款の有無	有・無(学生向けの利用約款あり)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他()
データ保存場所	国内・海外()	データ削除規定の有無	有・無・その他()
準拠法	日本国法・海外法規()	管轄裁判所	国内・海外()
■信頼性			
SLA	有・無(24h365D)		
実績稼働率	有・無・その他(2022年実績:99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他(99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率(計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他()	バックアップ	有・無・その他()
データ暗号化	有・無・その他()	暗号化通信	有・無・その他()
■機能			
SINET接続	無	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他()	API公開	有・無・その他()
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00~16:00	QA対応時間帯	10:00~16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有(年に1回程度)	サービス停止の通知	2週間前
ログの開示	有・無(※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク
問合せ先	企業名:株式会社内田洋行 部署名:システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者:舘野 康彦	電話番号:03-5634-6646 FAX番号:03-3645-2337 Mail: u365support@esco.co.jp	

製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	

■製品サービスの特長

証明書発行の新しいステージへ



◎概要

証明書発行に必要なデータをウチダ学生サービスクラウドに登録・管理することで 365 日全国のコンビニエンスストアで証明書の発行が可能となるサービスです。

スマホから単に申込み	証明書をコンビニで受取り	多彩な決済方法から選択
スマホ・PC から簡単に申込・手数料決済を行うことができます。大学の担当窓口への申請書類提出が不要となります。	全国のセブン-イレブン・ファミリーマート・ローソンのマルチコピー機で、証明書の発行・受け取りが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカード決済 コンビニ決済 QRコード決済 キャリア決済

◎運用を一層便利にする機能を拡充中

<p>デジタル証明書（電子署名付きの PDF データ版証明書）の発行</p> <p>電子署名で真正性、タイムスタンプで非改ざん性を証明。紙の証明書の発行や郵送等の手間を削減でき学生サービスが向上。</p>
<p>申請書類の送付機能</p> <p>利用者が証明書を申請する際に必要な書類を添付ファイルとして大学に送信。学生の手間、大学職員様の事務作業軽減を実現。</p>

製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	法人数（ ）社：利用企業名（ ） 大学数（ 11 ）校：利用大学名（非開示）（ ）		
費用	・初期費用：個別見積 ・ランニング費用：個別見積		
利用条件	・最低ユーザ数：設定なし ・最低利用期間：1年間		
支払方法	請求サイクル：応談		
販売代理店	無、有（お問い合わせください）（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（利用申込書）	利用開始までの期間	ご契約後 4～6 ヶ月程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり）（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:30	QA 対応時間帯	9:00～23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1～2 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前まで
ログの開示	有・無（※条件）（ ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT リサーチ&デベロップメント ディビジョン ICT プロダクト企画部 担当者：河野・松永・安部	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： papyrus@uchida.co.jp	

6. 大学向けクラウドソリューション 比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.22 から P.124 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの1部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	1. 教育支援系		2. 研究支援系		
	項番	1. (1)	1. (2)	2. (1)	2. (2)	2. (3)
	掲載ページ					
製品・サービス名		ATR CALL BRIX Cloud Secure	画面モニタリングシ ステム RealCAST (リアルキャスト)	さくらの セキュアモバイル コネクト	さくらのレンタル サーバ リセール 向けサービス	codemariクラウド サービス
提供企業名		内田洋行	内田洋行	さくらインターネット	さくらインターネット	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	○	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	○	—	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	○	—	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	—	—	○	○	○
	事務支援	—	—	○	○	○
	情報インフラ	—	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	40万件以上	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	申込書	申込書	その他	注文書	注文書
	利用開始までの時間	最短1週間	1~2か月程度	即時	数分	2か月程度
	約款の有無	×	○	○	○	○
	契約修正の可能性	—	○	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	無	無	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	×
	実績稼働率	有	×	非公開	○ (99.99%以上)	その他
	目標稼働率	—	×	非公開	非公開	その他
	ストレージ多重化	○	×	×	○	○
	バックアップ	○	×	×	○	○
	データ暗号化	○	×	×	×	○
	暗号化通信	○	×	×	○	○
機能	SINET接続	—	×	○	×	×
	VPN接続	—	×	○	×	×
	学認対応	○	×	×	×	×
	LDAP連携	○	×	×	×	×
	管理ツール	○	無	○	○	○
	API公開	—	無	○	×	無
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	規定なし	無制限	無制限	制限なし
	計画停止の頻度	年1回	必要に応じて実施	必要に応じて実施	不定期	必要に応じて実施
	サービス停止の通知	1か月前	適宜通知	1週間以上前	1週間以上前	1週間以上前
	ログの開示	無	無	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表2

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系				
	項番	3. (1)	3. (2)	3. (3)	3. (4)	3. (5)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Cisco Webex Calling	Cisco Secure Access	TWX-21 MRO 集中購買サービス	Gluegent Flow (グルー ジェントフロー)	RoomSense クラウドサービス
提供企業名		シスコシステムズ	シスコシステムズ	日立製作所	サイオステクノロジー	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	—	○	○	○
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	○	○	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	—	—	—	—
	研究支援	○	—	—	—	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	—	—	—	○
	その他	—	—	—	○	—
契約実績	民間	非公開	非公開	700社	300社	非公開
	大学	非公開	非公開	北海道大学	数校	非公開
契約	申込方法	販売パートナーへ発注	販売パートナーへ発注	営業問合せ	注文書	注文書
	利用開始までの時間	数日	数日	2ヶ月～	5営業日	2か月程度
	約款の有無	販売パートナーへ依存	販売パートナーへ依存	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	×	○	○
	データ保管場所	国内	海外	国内	海外	国内
	データ削除規程	○	○	×	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	○	×
	実績稼働率	非公開	○ (100%)	○ (99.5%以上)	○	非公開
	目標稼働率	非公開	100.00%	非公開	○	非公開
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	その他	○
	データ暗号化	×	○	×	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	×	×	×
	VPN接続	×	○	×	×	×
	学認対応	×	×	×	その他	×
	LDAP連携	×	対応予定	×	その他	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	○	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	メール	電話・メール	メール・その他	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	別途個別見積	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	月1回	無制限	必要に応じて実施
	サービス停止の通知	緊急時数日前	緊急時数日前	事前通知有	1か月前	1週間前
	ログの開示	○	○	○ (コンテンツ)	無	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表3

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (1)	4. (2)	4. (3)	4. (4)	4. (5)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Cloud Volumes ONTAP	Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Securityによる多層防御	BlueXP Classificationで 実現するデータガバナ ンス	FlexPod XCS (Cisco Intersight)	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)
提供企業名		ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ
製品・サー ビス区分	サービス	○	—	○	—	○
	製品	—	○	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	—	○	—	○
	プライベート	—	○	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	—	—	○	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	○	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	—	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	—	—	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	○
契約実績	民間	広島県	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	芝浦工業大学	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書・WEB	注文書	注文書・WEB	注文書	注文書
	利用開始までの時間	数時間	3か月	数時間	数日	2か月程度
	約款の有無	×	×	×	—	○
	契約修正の可能性	○	○	○	—	○
	データ保管場所	リージョン内	国内・海外	国内・海外	非公開	国内・海外
	データ削除規程	ホワイトペーパー開示	—	—	ホワイトペーパー開示	—
	準拠法	日本国法・海外法規	設置場所に依存	設置場所に依存	選択リージョンに依存	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	設置場所に依存	設置場所に依存	選択リージョンに依存	国内
信頼性	SLA	○	×	×	—	×
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	—	×
	目標稼働率	非公開	非公開	その他	—	○
	ストレージ多重化	○	○	×	非公開	○
	バックアップ	○	○	×	非公開	○
	データ暗号化	○	○	×	—	○
	暗号化通信	○	○	○	—	○
機能	SINET接続	○	○	○	—	○
	VPN接続	○	○	○	—	○
	学認対応	×	×	×	—	×
	LDAP連携	○	—	○	—	○
	管理ツール	○	—	○	—	○
	API公開	○	—	○	—	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	代理店との契約に依存	代理店との契約に依存	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	24H/5D	代理店との契約に依存	代理店との契約に依存	9:00~17:00/5D	24H×365D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	Web	電話・メール・Web
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	無	クラウド事業者に依存	未定	無/クラウド事業者に依存
	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存	販売終了から半年前	販売終了から半年前	有	無/クラウド事業者に依存
	ログの開示	○	○	○	—	○
	第三者認証取得状況	○	○	—	○	○

比較表 4

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (6)	4. (7)	4. (8)	4. (9)	4. (10)
	掲載ページ					
製品・サービス名		SINET接続サービス	さくらのVPS	さくらのクラウド	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)	Cisco Duo
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	—
	プライベート	—	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	○	○	○	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	—	—	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	—
	研究支援	○	○	○	○	—
	事務支援	○	○	○	○	—
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	多数
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	申込書	WEB	WEB	WEB	販売パートナーへ発注
	利用開始までの時間	1か月程度	即時	即時	即時~数営業日	数日
	約款の有無	○	○	○	○	販売パートナーに依存
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	○	○	無
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	○ (99.95%)	○ (99.95%)	99.9%
	実績稼働率	その他	非公開	非公開	非公開	100%
	目標稼働率	その他	非公開	非公開	非公開	99.999%
	ストレージ多重化	—	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	×	○
	データ暗号化	×	×	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	×
	VPN接続	○	×	○	○	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	○
	管理ツール	×	○	○	○	○
	API公開	×	×	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	1週間前	1週間前	緊急時数日前
	ログの開示	×	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 5

カタログ		4. 情報インフラ系				
掲載情報		4. (11)	4. (12)	4. (13)	4. (14)	4. (15)
+AX3:BD52						
掲載区分						
項番						
掲載ページ						
製品・サービス名		Cisco Umbrella	クラウド構築・移行 支援サービス	サイバーセキュリティ 対策	データ利活用・デー タ分析基盤構築サー ビス	レガシーマイグレー ションサービス
提供企業名		シスコシステムズ	大和総研	大和総研	大和総研	大和総研
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	—	○	○
	プライベート	○	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	○	—	○	○
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	—	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	—	○	○	○	○
	研究支援	—	○	○	○	○
	事務支援	—	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	多数	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	販売パートナーへ発注	個別契約	個別契約	個別契約	個別契約
	利用開始までの時間	数日	別途調整	別途調整	別途調整	別途調整
	約款の有無	販売パートナーに依存	×	×	×	×
	契約修正の可能性	○	—	—	—	—
	データ保管場所	海外	—	—	—	—
	データ削除規程	○	—	—	—	—
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	—	—	—	—
	実績稼働率	100%	—	—	—	—
	目標稼働率	99.999%	—	—	—	—
	ストレージ多重化	○	—	—	—	—
	バックアップ	○	—	—	—	—
	データ暗号化	○	—	—	—	—
	暗号化通信	○	—	—	—	—
機能	SINET接続	×	—	—	—	—
	VPN接続	×	—	—	—	—
	学認対応	×	—	—	—	—
	LDAP連携	×	—	—	—	—
	管理ツール	○	—	—	—	—
	API公開	○	—	—	—	—
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	—	—	—	24H/365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	—	—	—	平日営業時間帯
	コンタクト方法	メール	—	—	—	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	—	—	—	無制限
	計画停止の頻度	不定期	—	—	—	不定期
	サービス停止の通知	緊急時数日前	—	—	—	事前通知
	ログの開示	○	—	—	—	×
	第三者認証取得状況	○	—	—	—	○

比較表6

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (16)	4. (17)	4. (18)	4. (19)	4. (20)
	掲載ページ					
製品・サービス名		ExtremeCloud™ IQ	Nutanix GPT-in-a- Box	EverFlex from Hitachi 仮想化基 盤	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS	エンタープライズク ラウドサービス G2
提供企業名		Extreme Networks	ニュータニックス	日立製作所	日立製作所	日立製作所
製品・サー ビス区分	サービス	—	—	○	○	○
	製品	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	—	○	○
	プライベート	○	○	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	○	○	○	○
	PaaS	—	○	—	—	—
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書/その他	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	—	即時~2か月	3か月~	1.5か月~	最長5営業日
	約款の有無	○	○	無	×	×
	契約修正の可能性	—	×	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	—	×	—	—	×
	準拠法	海外	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	—	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	×	—	×	99.5%
	実績稼働率	—	非公開	ご相談	ご相談	—
	目標稼働率	99.99%	非公開	ご相談	ご相談	99.99%
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	—	○	ご相談	ご相談	○
	データ暗号化	○	○	○	○	×
	暗号化通信	—	○	×	ご相談	×
機能	SINET接続	×	○	×	×	×
	VPN接続	—	○	○	○	○
	学認対応	×	○	×	×	×
	LDAP連携	—	○	ご相談	ご相談	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	—	○	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	代理店に依存	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	—	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	代理店に依存	電話・フォーム	メール	メール	その他
	対応インシデント数	—	無制限	無制限	ご相談	無制限
	計画停止の頻度	無	無	原則無	原則無	月1回
	サービス停止の通知	—	無	個別調整	個別調整	1ヶ月前
	ログの開示	○	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	—	○	○	○	○

比較表7

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (21)	4. (22)	4. (23)	4. (24)	4. (25)
	掲載ページ					
製品・サービス名		クライアントサービス 日立のデータセンター	フェデレーテッド クラウド	リモートアクセスシ ステムDoMobile	出前クラウド サービス	日立 データセン ターサービス
提供企業名		日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	—	○	—	—
	プライベート	○	—	—	○	—
	その他	—	○	—	—	○
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	○	—
	PaaS	○	○	—	—	—
	SaaS	—	—	○	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	10社	非公開	3,800社以上	数十社	非公開
	大学	—	非公開	—	非公開	非公開
契約	申込方法	フロント業者に依頼	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	HW調達期間に依存	最短5営業日	5営業日～	3ヶ月～	ご相談
	約款の有無	○	×	×	×	○
	契約修正の可能性	○	その他	その他	その他	○
	データ保管場所	国内	非公開	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	×	その他	—	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	ご相談	○	×	×
	実績稼働率	99.99%	ご相談	非公開	ご相談	その他
	目標稼働率	99.8%	○(99.95%)	非公開	ご相談	○
	ストレージ多重化	○	○	非公開	○	×
	バックアップ	オプション	ご相談	○	ご相談	×
	データ暗号化	○	○	非公開	○	×
	暗号化通信	○	○	○	ご相談	×
機能	SINET接続	×	×	×	×	個別接続可能
	VPN接続	○	○	×	○	個別接続可能
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	×	○	ご相談	×
	管理ツール	○	○	○	○	×
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール・その他	メール	メール	メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	ご相談	非公開	年間5件	無制限
	計画停止の頻度	3回/年	月1回	非公開	原則無	不定期
	サービス停止の通知	6か月前	1ヶ月前	2週間前	個別調整	1ヶ月前
	ログの開示	×	×	○	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 8

カタログ 掲載情報	掲載区分	5. その他				
	項番	5. (1)	5. (2)	5. (3)	5. (4)	5. (5)
	掲載ページ					
製品・サービス名		IT資産管理/ セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア 配布提供システム Download Station	ウチダのOffice学割 U365	ウチダのパソコン学 割 U365	ウチダ証明書学外発 行サービス
提供企業名		内田洋行	内田洋行	内田洋行	内田洋行	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	—	—	—	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	○	○	—
クラウド 区分	パブリック	○	—	○	○	○
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	—	○	○	—
利用用途 分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	—	—	—	—	—
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	約70社	非公開	—	—	—
	大学	約50校	非公開	約200校超	約200校超	11校
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	利用申込書
	利用開始までの時間	5営業日(SaaS)	5営業日	10営業日	10営業日	4~6か月
	約款の有無	○	○	×	×	○
	契約修正の可能性	○	○	×	×	○
	データ保管場所	国内	導入環境に依存	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	ご相談	○	○	○
	準拠法	日本国法	導入環境に依存	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(約款による)	導入環境に依存	○	24H/365D	24H/365D
	実績稼働率	○(99.99%以上)	導入環境に依存	○(99.99%以上)	○(99.99%以上)	非公開
	目標稼働率	○(99.9%)	導入環境に依存	○(99.9%)	○(99.9%)	非公開
	ストレージ多重化	○	導入環境に依存	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	×	×	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	ご相談	ご相談	×	×	○
	VPN接続	○	○	×	×	○
	学認対応	ご相談	ご相談	×	×	×
	LDAP連携	○	○	×	×	○
	管理ツール	○	○	×	×	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	10:00~16:00	10:00~16:00	9:00~17:30
	Q&A対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	10:00~16:00	10:00~16:00	9:00~23:00
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年2回程度	導入環境に依存	年1回程度	年1回程度	年1~2回程度
	サービス停止の通知	2週間前	運用規定に依存	2週間前	2週間前	2週間前
	ログの開示	○	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

7. 大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいます。各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載します。

大和総研のデータサイエンティストが伴走し、 学生に個別最適な学修アドバイスを実現するデータ分析基盤を構築

東京理科大学では、新型コロナウイルス感染拡大への対応としていち早くオンライン授業を開始するなど、ICTを活用した教育環境の整備を進めるとともに、デジタルを活用した新しい教育手法の開発にも取り組んでいます。本案件では、学生が複眼的で柔軟な思考力と多様性を育めるよう、学生の能力を一つの物差しで測るのではなく、学生一人ひとりの個性や適性を見いだすことを目的として、学生の成績や出席状況、将来の進路希望などさまざまな教学データを集め、総合的に検証してフィードバックすることを目指しています。

大和総研はこの取り組みにおいて、学内に散在する教学データを集約するデータ分析基盤を構築するとともに、データサイエンティストが分析モデルの開発を全面的にサポート。東京理科大学の担当者や先生と共に伴走型でプロジェクトを推進し、初期バージョンの分析モデルをリリースしました。今後も分析対象とする教学データや分析観点の追加を継続的にサポートし、個別最適な学修アドバイスの拡充による学生のパフォーマンス向上に貢献します。



学校法人東京理科大学

<https://www.tus.ac.jp/>

前身である「東京物理学講習所」が創設された1881年から数え、2023年時点で開校142年目を迎えた。現在も、7学部、33学科、7研究科、30専攻を有する、日本国内における屈指の理工系総合大学。

「データを学生に還元する」という今までになかったゴールを目指して



東京理科大学
教育担当副学長、
教育支援機構長
井手本 康様

井手本様：本学では、社会的な課題が複雑化しているこの時代においても、社会を牽引し、様々な問題解決に果敢に挑戦し、未来を拓いていく人材を輩出していくポリシーがございます。そこで中期的に注力したい施策は主に3つ——（1）イノベーション力を高めるために新実力主義教育プログラムを確立すること、（2）学びの質的転換を達成するための教育DXの推進をすること、（3）データサイエンスの応用展開を牽引するような人材を育成すること——です。

特にDX化推進については、具体的に、AIを活用した個別最適化による自律学修システム、最先端のデジタル技術を活用した効果的な教授法の確立、学修到達度測定Webテストの整備などに、取り組んでおります。

渡辺様：これまででも、保有するデータを授業改善や大学の評価に活用することはありました。一方、このプロジェクトでは、データを活用した恩恵を、どうすれば学生自身に還元できるか、と考えているのが大きな違いです。

保有するデータの個別最適化を目指しつつ、教育支援に活用するためには、クリアすべき課題は2点ありました。1つは、データを一元管理しつつ、適切なクリーニングを行えるシステムを構築すること。もう1つは、どうやって学生一人一人へ還元できるようにするか、ということでした。



東京理科大学
教育支援機構
教職教育センター 教授
渡辺 雄貴様

パブリッククラウド活用による早期立ち上げとデータサイエンティストの伴走による分析目的の達成をご提案

今回のデータ分析基盤は、先進的なデータ分析サービスを備えるGoogle Cloudを活用して短期間で構築しています。生データを収集して格納するデータレイクに「Cloud Storage」、データウェアハウスに「BigQuery」、機械学習に「Vertex AI」を利用。自動的にデータ種別をカテゴリ化したり、欠損値を検知したりすることができる「AutoML」機能を活用しながら、素早くデータ分析を行う仕組みを構築しまし

た。また、学生に対するフィードバックを継続的にアップグレードすることを想定し、学内各所から収集されるデータの品質を確保するためのクリーニング機能や、学内 DX 推進に伴い今後も増加が見込まれる新しいデータソースを追加で取り込むための機能、運用フェーズでの再学習を自動化するための MLOps 機能などにも重点を置きました。

分析モデルの構築においては、進化し続けるフィードバックシステムとするため、いきなり最終的に目標とする分析モデル開発を目指すのではなく、初期段階は入念なデータ分析を繰り返し、基礎的な知見を獲得することに注力しました。その中で、定型的な分析は Google Cloud の Vertex AI に任せ、大和総研のデータサイエンティストは有識者からの聞き取りや、聞き取り内容の分析への織り込み、分析結果の考察に注力することで、短時間で複数回の分析サイクルを回すことを実現しました。

データサイエンティストと共により実用性の高いシステムへ

渡辺様：一般的な「学修支援」は、「できない子をどうしよう」という方向に向きがちです。しかし、新実力主義を謳う本学としては、「できる子をどう伸ばそう」と考えます。“優れた学生”はこうやって卒業していった、というデータがあるわけです。仮に「優れた学生」を、GPA (Grade Point Average) で上位 10%以内に入っている学生と定義して、その“優れた学生”像に対して、個々の学生を照らし合わせることで、伸ばすべきポイントを探っていきたい。たとえば、年次ごとに適切な支援を行えるはずだ、と思っています。

DX 化というのは、単にデジタル化ではないと認識しています。デジタルな手法を活用することで、質的な転換を図っていくことだと思います。教育活動の効果を担保しながら、効率を上げていく。あるいは、教員の教育能力や研究能力を最大限引き出すといった視点で、どのような支援ができるか、を考えていかななくてはなりません。

松田様：本学の IT 活用において、一番大事に考えているのは、“変化に対応できるスピード感”を持つことです。そういった意味では、そういった環境づくりに必要な Google Cloud のツール群を頼りにしていますし、大和総研にも引き続き、システム構築やデータ分析に関する知見をいただきたい。また、今後もデータサイエンティストの方々と協力して、より実用性の高い良いシステムへと進化させていけることを期待しています。そのうえで、時代や環境の変化に追従できるような、IT に強い東京理科大の姿を目指していきたいと思います。



東京理科大学
経営企画部 広報課 課長
(前学術情報システム部
情報システム課 課長)
松田 大様

※部署名・役職名などはインタビュー当時のものです。

※Cloud Storage、BigQuery、Vertex AI および、AutoML は Google LLC の商標です。

今後、教学データをはじめとした、学内に散在するデータのマネジメント・利活用がより一層重要になります。大和総研は、学内のデータ収集、統合DB・分析基盤の構築からデータ分析機能の提供まで、データサイエンスの観点から、貴学の「研究」と「教育」の相互活動によるシナジーの創出をご支援します。

<お問い合わせ>

大和総研

Daiwa Institute of Research

お問い合わせは、下記メールアドレスへ、
もしくは右記 QR コードからアクセスしてください。
acad_itc@dir.co.jp





CASE STUDY: CITY, UNIVERSITY OF LONDON

ロンドン大学シティ校がワイヤレスネットワークを近代化し、優れたキャンパス体験を実現

ニーズ

- 簡素化されたネットワークインフラストラクチャによる、エラーとダウンタイムの最小化
- 将来のネットワーク要件に対応する拡張可能な容量と拡張性
- ITサービスに対するユーザー満足度の向上と学生の経験価値の向上

Extreme Networksのソリューション

- ExtremeCloud™ IQ – Site Engine
- Extreme Fabric Connect
- ExtremeSwitching™



1894年創立のロンドン大学シティ校は、学生満足度の高さで知られる国際的な教育機関です。大学キャンパスは、ロンドン中心部の複数のローケーションにある24の建物で構成され、18,000人の学生と2,000人の職員が在籍しています。

多数のユーザーと24時間365日稼働する要求の厳しいサービスやアプリケーションが複雑に混在しているため、大学ネットワークの管理は並大抵の仕事ではありませんでした。ロンドン大学シティ校では、ストリーミング・コンテンツや個人所有のデバイスを活用する学生の増加に対応するため、スケーラブルな容量を持つネットワークが必要でした。さらに、大学のネットワークは複雑化し、効率的な運用ができなくなっており、リスクやエラーの影響を受けやすくなっていました。

そこで同校ではExtreme Networks と Charterhouse Groupとパートナーシップを組み Extreme Fabric Connectを軸とした新しいネットワークインフラを導入しました。これにより、ダウンタイムがなくなり、これまでにない柔軟なネットワーク構成を実現し、ユーザーの満足度を高めることができました。また、ExtremeCloud IQ-Site Engineを利用することで、新しいネットワークインフラストラクチャの管理が簡素化され、パフォーマンス、利用状況、セキュリティに関する完全な可視性と高度な分析機能が大学のITチームに提供されました。その結果、学生体験と運用効率が大幅に向上しました。



「私たちにとって、学生の経験価値は非常に重要であり、私たちが提供する技術設備でそれを支えています。エクストリームネットワークスとともに当初から目指していたのは、学生や職員が教室でもキャンパス全体でもシームレスに接続できるネットワークインフラを導入することでした。エクストリームネットワークスは、学生のエクスペリエンスを向上するという私たちの野望をサポートしてくれました。新しいアーキテクチャの導入により、学生は優れた教育体験を享受し、スタッフは他の業務に専念できるようになりました。」

ロンドン大学シティ校 ネットワークマネージャー Paulo Leal 氏

成果

📖 学習経験の向上

- 教育プラットフォームへのシームレスなアクセスと遅延のないストリーミング
- 新しいプログラムやカリキュラムが統合可能な将来性のある能力
- メディア・リッチなコンテンツとユーザー・デバイスの増加に対応

🔧 ネットワーク管理の簡素化

- すべてのネットワーク機能の自動操作と管理により、ネットワーク管理が容易に
- 重要なタスクやプロジェクトに集中できる時間をスタッフに還元
- ネットワークの柔軟性に自信が持てるため、スタッフは迷うことなく意思決定や変更が可能

📶 ネットワークへの信頼性の向上

- キャンパス全域の高密度環境におけるシームレスな接続性
- 複数のデバイスを使用するユーザーのために、高速化と低遅延を実現



©2023 Extreme Networks, Inc. All rights reserved. 48771-0223-14

Extreme Networks 株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル11F

info.jp@extremenetworks.com

jp.extremenetworks.com

北見工業大学、 Nutanixを採用して 三大学の経営を統合

距離を超えた大学組織、教育、研究の連携とサービス最適化による
業務効率の向上を実現する大学DXをNutanix Cloud Platformで推進

導入によるビジネスのメリット

- 三大学の経営統合に必要なネットワークおよびICTシステム基盤統合の実現
- 教職員や研究者など利用者のニーズに合わせたサービス提供が可能
- 柔軟に拡張できる基盤整備による経営統合後の将来構想の強力



「三大学のITを連携した経営は着実に成果を上げています。重要なのはネットワークやICTシステム基盤が有機的に統合されたクラウド基盤であることです。利用者側からのさまざまな要求に対して複数のクラウドサービスを組み合わせることで、最適化された環境整備につながると考えています」

- 国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学
情報処理センター長 教授 升井 洋志氏

課題

工学系の単科大学として1966年に開学、「自然と調和するテクノロジーの発展」をコンセプトに、北海道での知の拠点として高度な技術者を数多く輩出している国立大学法人北見工業大学。2022年の小樽商科大学および帯広畜産大学との三大学の経営統合に向け、「経営改革」「連携教育」「オープンイノベーション」「遠隔教育」の4つの取り組みを進めています。

ネットワークやICTシステム基盤、業務システム、VDI環境などを全て同一のプラットフォームで構築するという基盤の標準化を目指しました。大学機構統合前の準備期間に認証ゲートウェイや運用管理システムと、北見・小樽・帯広の三大学向けの仮想化システムの環境整備を実施し、統合後は三大学連携遠隔教育やオープンイノベーションセンターを開設する計画です。2027年には全学生が新システムを利用開始できるよう新たな基盤づくりが急務でした。

「堅牢性や拡張性など全ての環境が満たされているのが理想ですが、これまでは調達方法の関係でシステムの導入時期が異なり、部分最適化されているもののバラバラな環境で運用してきました。利用者のニーズに柔軟に応えることができる新たな環境整備が課題でした」と北見工業大学 情報処理センター長 教授の升井洋志氏は説明します。

NUTANIX™

業界

学校・教育業界

課題

- 三大学のIT管理に最適化な環境に統合
- イノベーション創出や遠隔教育環境整備
- 将来的な構想に向けて柔軟に拡張できる基盤づくり

ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャー

- AOS Storage
- Nutanix クラウドマネージャー

- Intelligent Operations
- Self Service

Nutanix ユニファイドストレージ

- Files Storage

アプリケーション

- RADIUSサーバー
- ログサーバー
- 運用管理サーバー

ソリューション

新たなシステム基盤の選定では、拡張性に課題のあった3層構成ではなく、堅牢性や拡張性、柔軟性の高いハイパーコンバインドインフラストラクチャー(HCI)をベースにしたプライベートクラウド基盤を前提に検討を進めました。升井氏は、「大学実行面では、パブリッククラウドを基盤システムに導入した経験がなく、手順なども整備されていません。また、学内にある研究データが保管されたストレージとの連携が可能で、学内で設定されたセキュリティポリシーとの整合性を満たすプライベートクラウド基盤が最適だと考えました」と述べています。

三大学統合に向けた環境整備の方針とこれらのシステム要件を満たし、拡張性の課題解消につながる基盤として Nutanix Cloud Platform の採用を決定しました。現時点ではまだハイパーバイザーに VMware を選択していますが、将来的に Nutanix AHV へ切り替えてクラウド基盤との親和性を高めながらコスト削減を図る予定です。また、経営統合を進める三大学の統合ネットワークやICTシステム基盤には数多くの仮想サーバーが稼働します。Nutanix Cloud Managerのインテリジェントな運用により、利用状況に応じた柔軟なリソース割り当てや仮想サーバー間でのリソースの最適化、無停止でのリソースの拡張が可能な点も高く評価されました。

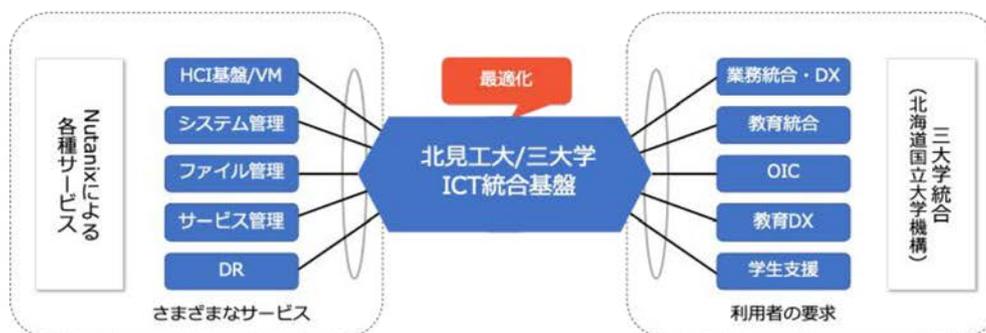
統合前の準備期間に6台の仮想サーバーにNutanixを導入し、認証ゲートウェイを含むネットワーク環境の整備を行いました。北見用に180台、小樽用に30台、帯広用に30台、合計240台の仮想サーバーを稼働する共通ICTシステム基盤として Nutanix で環境を整備し、サーバー仮想化と集約、運用効率化と自動化、将来に向けたサーバー環境の統合が実現できました。

導入効果

NutanixをICTシステム基盤とすることで、3つの分野に秀でた三大学の学術連携とオープンイノベーション活動の重要な基盤ができあがりしました。IoT、ロボティクス、データサイエンス技術を有する北見工業大学、データ解析やマーケティングを得意とする小樽商科大学、農業ニーズ、気象データ、地形データを持つ帯広畜産大学です。

「アプリケーション環境を安全に移行ができたのは、システム基盤がシームレスに統合されているからだといっても過言ではありません。Nutanixクラウドマネージャーをもっと活用できれば、三大学が円滑に利用できるICT基盤になるはずです」と升井氏は語ってくださいました。

さらに升井氏は次のように付け加えます。「重要なのはネットワークやICTシステム基盤が有機的に統合されたクラウド基盤であることです。利用者側からのさまざまな要求に対して複数のクラウドサービスを組み合わせることで、最適化された環境整備につながると考えています。Nutanixを共通基盤として、Nutanixが提供するファイルストレージやセルフサービスなどを利用することで、これらの要件に対応することができるのです」。



今後の展開

今後、2025年ごろから構想をスタートさせる計画となっている第2期大学機構統合に向けて、ファイル管理や分散配置といった基盤として求められる環境を整備し、サーバー基盤の統合やデータ統合、そしてDR対策などに Nutanix が活用される見込みです。

「北見工業大学をデータセンター化していくことを目指しています。2022年4月に行う学術情報ネットワーク (SINET6: Science Information NETwork 6) への移行に伴って、200Gbpsというネットワークの大幅な増速を進めており、北海道にあるSINETのデータセンターと距離が近いという北見の地の利を生かし、全国の大学が検討する分散拠点やDR拠点として活用してもらえるようにしたいと考えています」と、升井氏は今後の展望について述べています。

NUTANIX
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

11/2021



京都産業大学、 NutanixでIT基盤を 刷新しDRの課題を解決

Nutanix Cloud Platform で、IT 管理負担軽減、バックアップ
パフォーマンス向上、DR 環境の強化を一挙に実現

導入によるビジネスのメリット

- バックアップの安定化によるDR環境の向上
- 管理の効率化によるIT部門の負担軽減
- 無停止運用可能な信頼性の高い稼働環境の実現

「Nutanix Cloud Platform は、従来の環境で直面していたスナップショットの
パフォーマンスの課題を解決でき、IT 部門の作業効率も向上し、学内にサービス
を提供する IT 環境の信頼性を向上できました」

- 京都産業大学 情報センター 課長補佐 杉村 智樹 氏

「Nutanix は、ノードを追加するだけで簡単に基盤の更新や拡張ができ、魅力的で
す。ファームウェアの更新や部品交換等も無停止で実施でき、高可用性が実現で
きています」

- 京都産業大学 情報センター 大隅 光一 明氏

取り組み

京都産業大学は1965年に開学し、学祖である荒木俊馬氏が掲げた「建学の精神」を根本
理念として、国際社会で活躍できる人材の育成に注力し、現在まで極めて順調な発展を
遂げてきました。創立時は、経済学部と理学部の2学部収容定員1,120名からスタートし、
2022年には神山キャンパスに10学部10研究科を擁し、約15,000名の学生が集う一拠点
総合大学となっています。

総合大学では、人文化科学、社会科学、自然科学、それぞれの分野で異なるICTのニーズが
あり、多様なニーズを満たすため、同大学では兼ねてよりWindowsとLinuxを活用して
きました。そして、学内外問わず利用できるeラーニング環境の構築やWeb履修登録シス
テムの導入、キャンパスネットワークKINGの整備など、教育の情報化に取り組んできました。

同大学は、創立50周年を迎えた2015年に、15年後となる2030年においても日本を代表
する私立大学の一角を担う存在であり続けるため、中長期事業計画「神山STYLE2030」と
してまとめました。2030年までの15年間に5年ごとに「改革期」「発展期」「充実期」の3期
に分けて、2021年度からは第2期となる「発展期」が開始しています。発展期のアクション
プランの一環として、デジタルを活用する先進的な教育を実現すべく、大学DX推進や統合
データベースの整備に着手することになりました。



業界

学校・教育業界

課題

- DR環境の安定化による持続性の確保
- バックアップパフォーマンスの向上
- IT部門の管理性の向上

ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャ
(NCI)

- AOS Storage
- AHV Hypervisor

アプリケーション

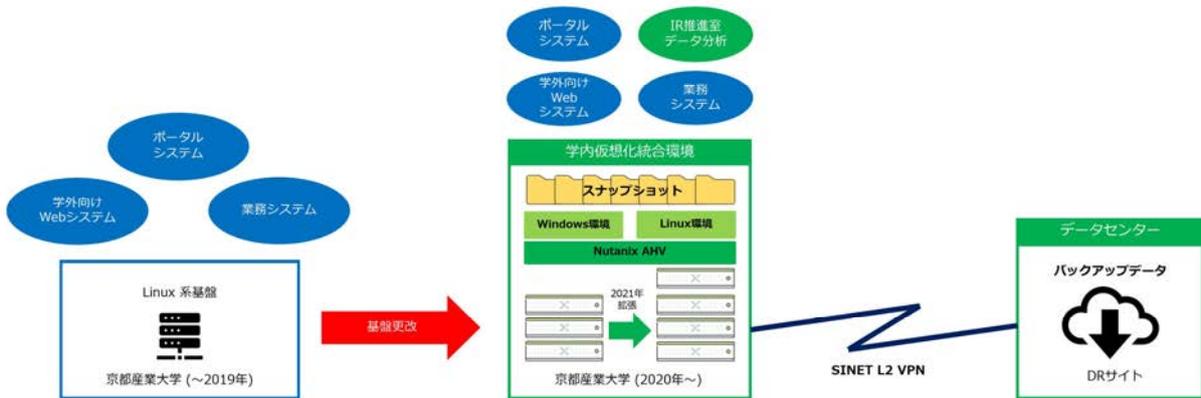
- ポータルシステム POST
- 学内業務システム
- 学外向け Web システム
- IR推進室データ分析システム
- Arcserve UDP バックアップ

ソリューション

京都産業大学では、オンプレミスの Windows と Linux の事務系サーバーを仮想化することでシステム業務の効率化を進めてきました。2017年度に Windows 系基盤の更新を行い、ファイルサーバーのディスク I/O 負荷とバックアップ時間の課題解決に取り組みました。しかし、スナップショット削除時に発生するデータ統合処理によるディスク I/O 処理に耐えきれず、ファイルサーバー利用者に快適に利用してもらおうと大きな影響を及ぼしていました。また、Linux 系基盤のバックアップを従来のテープ方式からディスク方式へ変更する必要がありました。

これらの課題を解決すべく、2019年度のLinux系基盤の更改のタイミングで、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー(HCI)の採用を検討しました。その結果、2020年、Nutanix Elevate パートナーの三谷商事の提案する3ノードからなるNutanix Cloud Platformを導入し、統合環境を構築しました。同環境では、学内に7日間のバックアップを保持するとともに、遠距離バックアップも実現していますが、WindowsとLinuxのバックアップ環境も統合でき運用の効率化も図ることができました。

さらに、2021年、IR推進室が取り組むデータ駆動型教育の実現と意思決定のための統合データベース基盤を構築する必要が生じました。予測困難なデータ分析量や頻度に備えて、既存環境に影響を与えないよう、ディスク容量拡張と計算能力強化のため、新たに1ノード追加してNutanix環境を拡張しました。



導入効果

Nutanixは、大学の教職員や学生向けの業務には必須かつ高い稼働性が必要となるポータルシステム POST、学外向けの Web システム、業務システム、IR 推進室のデータ分析用 DWH や BI 環境などで使用されています。「Nutanix Cloud Platform は、従来の環境で直面していたスナップショットのパフォーマンスの課題を解決でき、IT 部門の作業効率もアップし、学内にサービスを提供する IT 環境の信頼性を向上できました」と情報センター 課長補佐の杉村智樹氏は語ります。

運用面では、無停止で容易に Nutanix 環境を拡張でき、導入してから一度もサービス停止しておらず可用性も高いです。サポート体制が充実しており、クリティカルな対応が必要になった場合も、技術レベルの高いスタッフが迅速に対応してくれます。情報センターの大隅光一朗氏は次のように述べています。「Nutanix は、ノードを追加するだけで簡単に基盤の更新や拡張できる点が魅力的です。ファームウェアの更新や部品交換等も無停止で実施でき、高可用性が実現できています。Nutanix の教育をしっかり受けている三谷商事は、Nutanix と一体となり迅速にサポートしてくれるので安心です。」

DR を目的としたシステム基盤上のファイルのバックアップには、他に AWS 等のパブリッククラウドもバックアップ先として検討しましたが、速度面で課題がありました。学術情報ネットワーク (SINET: Science Information Network) に直収できる、三谷商事運営のデータセンターを活用することで、広帯域でセキュアな SINET L2 VPN によりパフォーマンスが向上し、回線速度の問題点を解決して、高速なバックアップが可能になりました。

今後の展開

「次期計画として、2023 年度に Windows 系基盤を更新する予定で、Nutanix 基盤に統合することも検討しています。特にファイルサーバーとして利用している Windows 系のサーバーが多いため、Nutanix ユニファイドストレージ (NUS) の Files Storage にも期待しており、採用に向けて調査しています」と杉村氏は今後の展望を述べています。

NUTANIX
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

4/2022

九州工業大学、 BYOD学習プラットフォームに Nutanixを活用

Nutanix上に Learning Platform as a Service を構築し、eラーニングや他部局システムを集約。コロナ禍で遠隔講義向けのシステム増強に迅速に対応

導入によるビジネスのメリット

- 学生所有のPCから教育システムを利用できるBYOD環境の実現
- 学習支援サービスと他部局のシステムを集約
- 遠隔講義に軸足を置いたCOVIDへの迅速な対応
- ソフトウェア定義システムにより特殊な専用機材の削減と容易なリソース追加の実現
- 各部局への環境の払出と容易な管理権限委譲で教育センターの負荷を軽減



「Nutanixはソフトウェアなので、サービスとしての学習プラットフォームを簡単に構成することができ、専用機器の必要性を減らすこともできます。以前はデータベースの保存領域をストレージ専用機に載せていましたが、I/O性能が足りなかったため内蔵ストレージに切り替えました。性能が向上し、快適に利用できるようになりました」

- 国立大学法人九州工業大学 情報基盤センター 准教授 林 豊洋 氏

課題

九州工業大学は、100年以上の歴史を持つ伝統ある国立大学です。1909年に私立明治専門学校として開学して以来、建学の精神「技術に堪能なる士君子」の養成の実践により、これまで7万人近くの工学系人材を世に送り出すとともに、学術の進展につながる知の創造、産業界の競争力強化並びに地域の発展に貢献してきました。現在では、北九州市戸畑区、同市若松区及び飯塚市に2学部・3大学院(2学府・1研究科)を構え、約5,600名の学生を有する工学系大学として、最先端の教育と研究を行っています。

九州工業大学のシステムは、事務組織が人給やグループウェア、入試、履修申告といったシステムを管理しており、授業で使うシステムについては教育高度化推進機構の学習教育センターが、Moodle学習支援システムによりeラーニングサービスを運用管理しています。

業界

学校・教育業界

課題

- 大学が提供する教室端末からしか教育システムを利用できない
- 旧仮想化システムの更改とBYOD化を同時に実施しなければいけない
- 情報基盤機構、学習教育センター、各部局のシステムの個別調達と独自運用管理
- メンテナンス、アップグレード時のサービスの100%アップタイムの確保

ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャー (NCI)

- Nutanix AOS
- Nutanix AHV ハイパーバイザー
- Nutanix Prism

アプリケーション

- Moodle 学習支援システム (LMS)
- 学習教育センター(LTC)データベース
- 学習履歴データベース
- アプリケーション配信サービス
Numecent Cloudpaging
- 情報基盤センター(ISC) 認証、DNS、Webサーバー

また、全学のネットワークおよびセキュリティ基盤、統合ID管理やメール、教育システムと呼ばれる情報工学教育研究用コンピュータシステムについては、情報基盤機構が管理しています。

「学部や学科、大学院、複数の研究センター、図書館など、それぞれが別々にシステムを持っており、教育研究組織が管理しています。各学部や各学科が独自にシステムを持っていないと授業が成り立たないという、工学系ならではの特徴です」と九州工業大学 情報基盤センター 准教授の林 豊洋氏は話します。九州工業大学には多くのシステムが存在しますが、このうち情報基盤機構が管理する教育システムを刷新することになりました。

ソリューション

2018年まで、戸畑センター講義室と飯塚センター講義室に約400台の端末を用意し、そこで学生が授業を受けたり、プログラミングなどの演習を行ったりしていました。演習用の端末はLinuxとWindowsをディスクレスで起動し、それらの管理をする端末サーバー、学生のホームディレクトリー用のファイルサーバー、仮想基盤、Moodle基盤を運用していました。端末管理サーバーや仮想基盤、Moodle基盤にはCisco UCSを、ファイルサーバーにはNetAppを採用し、3層構成のアーキテクチャーで運用していました。

「これらを統合する方向で検討を進めていましたが、2019年度の機種更新に向けて、大きな方針転換が起きました。教室システムの役割が『教室端末提供』から『BYODの支援』を主体としたシステムへと変わることになりました」と林氏は当時を振り返ります。

林氏は、「これまで、授業で使う端末は大学側が提供していましたが、システム刷新を機に、学生が自ら調達した端末を授業や演習で活用する方針になりました。さらに、eラーニングのシステムや他部局のシステムも統合して動作できるようにする必要が出てきました。それに伴い、これまでの仮想基盤とファイルサーバー、ストレージをどうするかが課題になりました」と話します。

「エンジニアとしての視点から、3層構造よりも良い構造や、DASを活用する技術、ソフトウェアベースで専用機に迫る機材がないかと次期システムの検討を進めました。調査の結果、Nutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャー(HCI)が候補に上がり、さっそく機能検証を実施しました」と林氏は述べています。

導入効果

「Nutanixの導入当時はアップデートが頻繁に行われ、1-クリックでの無停止で更新の度、機能が増えたり、性能が向上したりと、非常に興味深い技術であると感じていました。Nutanixはソフトウェアなので、サービスとしての学習プラットフォームを簡単に構成することができ、専用機器の必要性を減らすこともできます」と林氏は語ります。さまざまな製品と比較検討した結果、Nutanix Cloud Platformを導入することになりました。

「2019年にNutanixでシステムを刷新して以来、BYOD基盤やMoodleの大規模プラットフォームとして安定して稼働しています。他部局のサービスも容易に統合することができるので、スムーズなシステム調達が達成できました」と林氏は評価します。

2020年に新型コロナウイルスの大流行により、九州工業大学では全講義を遠隔で実施する必要性がありました。「すべてのコンテンツをMoodleに移行することになりました。当初は不安でしたが、直感的に操作できるNutanix Prismの管理画面からリソース量を調整するだけで、サーバー稼働基盤のリソース中90%をMoodleへすぐに割り当てることができました。以前はデータベースの保存領域を専用機に置いていましたが、I/O性能が不十分だったため内蔵ストレージに切り替えました。性能が向上し、快適にサービスを利用できるようになりました」と林氏は言います。

今後の展開

九州工業大学では、2020年度末にNutanixを1ノード増設し、2021年度末にはさらに2ノード増設し、他部署から調達した残りのリソースを計画的に統合・集約する予定です。

「Nutanixは、ネットワーク仮想化、データベースの1-クリックでの払い出し(DBaaS)等といった新しいテクノロジー・サービスを提供していると聞いています。今後、そうした新しい技術も活かしながら、当校では、情報基盤の強化やサービスの集約化に取り組んで行く計画であり、これらの目標にマッチするNutanixをこれからも使用していきたいと考えています」と林氏は期待を寄せています。



info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

11/2021

九州産業大学、Nutanixでプライベートクラウドを構築し学内サービス品質を向上

Nutanix Cloud Platformで、IT管理負担軽減、ラック削減、クラウドの柔軟な拡張性、パフォーマンス向上、学内サービスの強化を一挙に実現

業界

学校・教育業界

課題

- 遠隔授業など新たなニーズに対応したインフラ強化
- 学習管理システム(LMS)を利用する学生の利便性向上
- 工学系の教職員への多目的仮想マシン払い出し等のITサービス向上

ソリューション

Nutanix クラウドインフラストラクチャー (NCI)

- Nutanix AOS Storage
- Nutanix Prism

アプリケーション

- 学習管理システム (LMS)
- 工学系教職員用仮想化環境

導入によるビジネスのメリット

- 学内サービスの質の向上
- IT運用担当者の管理負担を軽減
- 安定的かつ継続的なインフラ運用と柔軟な拡張性



「今回導入したプライベートクラウド基盤の性能が高く、SEの作業負担が大幅に軽減されました。大学のシステムは時期により負荷が高くなりますが、Nutanixのおかげで状況に応じてパフォーマンスを最適化することができます。DX推進でシステムの負荷が高まる中、柔軟に対応できるNutanixのアーキテクチャーに大きな期待を寄せています」

- 九州産業大学 総合情報基盤センター 事務部長 石岡正次 氏



「複雑さを増す18ノードのブレードサーバー、ネットワーク、SANストレージを少数のチームで管理することは、ここ数年、情報基盤センターにとってますます困難な課題となっていました。煩雑なオンプレミス運用や計画停電に対応する必要があり、さらには専門的なITスキルセットも必要でした」

- 九州産業大学 総合情報基盤センター 事務室長 福田仁志 氏

取り組み

産業と大学は車の両輪のように一体となって時々のニーズを満たすべきであるという「産学一如」を建学の理想に掲げる九州産業大学。同校は2020年度に創立60周年を迎え、今後10年間で取り組むべき事項をまとめた「中期計画」を策定しています。その最終目標を「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定め、「教育」「研究」「国際化」「産学連携」「社会・地域貢献」「ダイバーシティ」「ブランディング」「経営基盤」という8つの分野で、2030年までに、多様な資質を有する学生の獲得、文理芸が融合した多様な教育プログラムの構築、「学び」の質保証の構築、学生支援の充実、リカレント教育の拡充を目指します。



©2022 Nutanix, Inc. All Rights Reserved

中期計画の8つの分野に必要なICT基盤は、2年後に事務システム、更にその1年後にはネットワークを入れ替え、デジタルトランスフォーメーション(DX)に向けた検討を行なっています。遠隔授業におけるネットワークやインフラの課題解決、大学の根幹をなす事務システムの性能強化や使い勝手の改善、学生や教職員が利用する学習管理システム(LMS)の改善などが急務でした。

九州産業大学 総合情報基盤センター 事務部長の石岡正次氏は「中期計画の重要な要素の一つがDXです。経営層のITへの期待は高く、理解があり、DXの推進力になっています。総合情報基盤センターは、Nutanixを活用し、ICTによる教育の質の向上と業務の効率化を図ることで、DXをリードし推進します」と語ってくださいました。

ソリューション

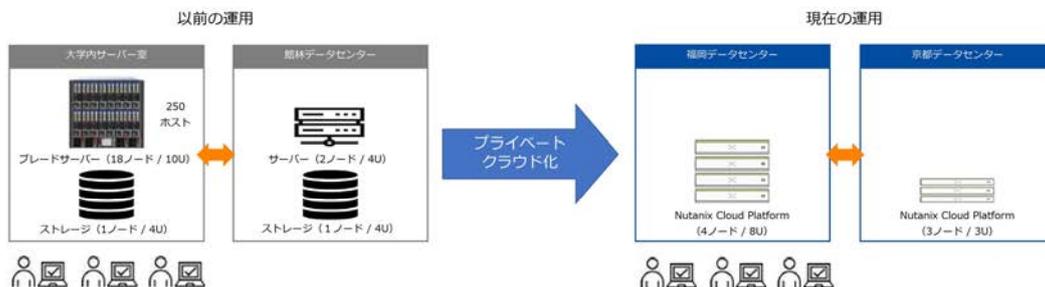
「複雑さを増す18ノードのブレードサーバー、ネットワーク、SANストレージを少人数のチームで管理することは、ここ数年、当センターにとってますます困難な課題となっていました。煩雑なオンプレミス運用や計画停電に対応する必要があり、さらには専門的なITスキルセットも必要でした」と九州産業大学 総合情報基盤センター 事務室長 福田仁志氏は話します。

Nutanix ElevateパートナーのSCSK株式会社は、効率的な運用および職員負担の軽減のため、データセンターへの移行とNutanix Cloud Platformを利用した基盤構築を提案しました。総合情報基盤センターでは、導入事例の研究やVMware vSANとの比較、Nutanix Prismによる運用評価など、詳細な検証を実施しました。その結果、運用効率と拡張性が飛躍的に向上することが見込めることから、Nutanix Cloud Platformの導入を決定しました。

パブリッククラウドも検討しましたが、コストパフォーマンスに課題があり、従量制の消費形態は大学の予算運用に合いませんでした。パブリッククラウドは、コストの予測や予算化が困難です。それに比べて、Nutanix Cloud Platformは、柔軟で運用しやすく、拡張性の高いクラウドで、予算化しやすい消費形態という大学のニーズを満たしていました。したがって、学園経営陣の支援を得ながら、サーバーを大学の建屋から堅牢性の高いデータセンターに移すプライベートクラウドへの移行を円滑に進めることができました。

導入効果

データセンター移行時に、NutanixのSizerツールで仮想マシン情報をサイジングしてリソースの最適化を行い、データセンターのラック数や電力消費を削減し、全体的なTCOの向上に繋がりました。また、教職員が利用する仮想サーバー群もデータセンターに集約し、Nutanix Prismで効率的に運用することができ、教職員サービスが大幅に向上されました。



福田氏は「旧来システムと比較して、Nutanix Cloud Platformによるホスティングサービスは、Prismにより設定自体が簡素化され、仮想マシンの設定が非常に容易になったため、常駐SEの工数が削減されました。追加検討していた理工学部のサーバーリプレースも、性能・容量上問題ないことが確認できたため、同システムに集約できる予定です。Nutanixの柔軟性もプラスに働いています」と評価します。

一方、学生向けのLMSは、授業に数千人が同時にアクセスするため、大きなパフォーマンスが必要です。導入前は不安の声もありましたが、Nutanix搭載のHPE Proliant DXを採用したプライベートクラウドにより、高い要求にも難く対応できる安定したパフォーマンスを発揮し、学内からも高い評価を得ています。

今後の展開

「年2回、非常に集中的な作業負荷に直面する履修システムの課題を改善するために、事務系システムの更新を計画しています。1万人規模の同時アクセスに耐えられるデータベースの性能を重視して、慎重に検討しながらシステムの拡張を検討していきます。さらに、ホスティングサービスを拡充して他学部へも展開し、既存の学部内サーバの統合も計画しています」と、石岡氏は今後の展望を述べています。

NUTANIX
YOUR ENTERPRISE CLOUD

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

3/2022

学校法人桜美林学園

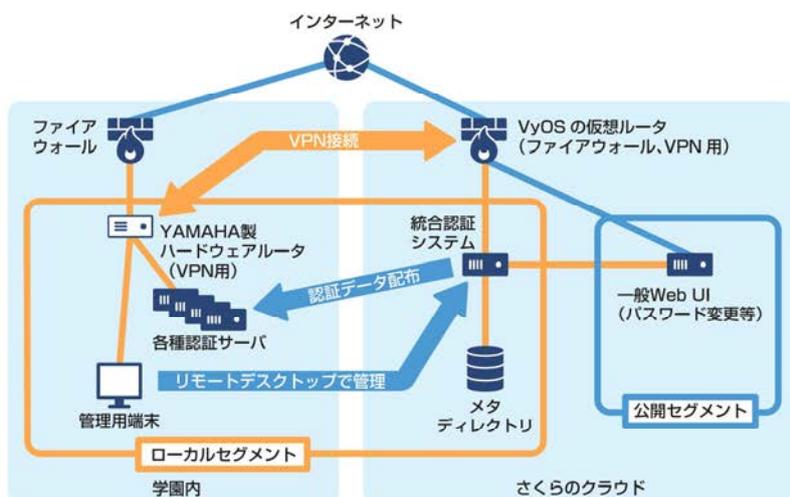
クラウド上の仮想ルータを活用して、見通し良く確実に統合認証システムを運用開始

多数のユーザーを抱える学校現場では、認証システムをどのように運用していくかは難しい課題です。

限られたリソースの中で確実にサービスレベルを向上していくため、

学校法人桜美林学園では、クラウド上の仮想ルータでVPNを整備することで、

統合認証システムからシームレスな運用を実現できています。



根幹の統合認証システムからクラウドへ移行

メールをキーとして統合認証システムを運用

学校法人桜美林学園では、学園内の各種サービスの認証のために統合認証システムを利用しています。メール、履修登録や課題提出、図書館システム、Eラー

ニング、無線LANサービス、就職情報サービス、PCへのログイン等、さまざまなサービスが複数の認証サーバによって運用され、統合認証システムが認証サーバ間の整合性を管理する構成です。「すべての認証サーバを集約すると可用性を格段にあげなければなりません、口で言

うほど簡単ではありません。考え方としては割り切っていて、同じような属性のアプリケーションに関する認証サーバはある程度まとめるにしても、そうでないものは個別で良いとしています。」(桜美林学園 品川氏)。

統合認証システムは、以前は学園内に設置した仮想環境上で運用してきましたが、将来を見据えて「さくらのクラウド」へ移行し、運用を開始しました。「もちろん認証サーバも外に出したいのですが、アプリと密接していて迂闊なことはできません。まずは大元の統合認証システムがクラウド上で安定して動作し、信頼して利用できる状態だと確認できることから始めたいと考えました。」(品川氏)。

一度ではなかった計画停電によるサービス中断と管理コストの増加

桜美林学園内のITインフラは東京の町田キャンパスに集中しており、平常時も法定停電やメンテナンスなどで年に2日ほどシステムが止まってしまう状態でした。

導入前の課題

- 根幹となるシステムの連続運用
- 災害に強いインフラ
- ベンダーロックを避けたい

導入後の効果

- 停電時などの管理コスト軽減
- 最新バージョンの統合認証システムが利用できるようになった
- 以前と変わらない運用

システム移行のきっかけは東日本大震災です。「当日は停電しましたし、その後も計画停電が4回もありました。その度に4、5時間システム停止が発生し、ユーザーに迷惑をかけましたし、管理側も混乱しました。」(桜美林学園 荒井氏)。「震災で不安になっているときに教員や学生の連絡手段の確保は大きな課題でした。しかし、学園内にメールの認証連携があったためにメールが使えないということも発生しました。」(桜美林学園 劉氏)。

桜美林学園ではメールシステムとして数年前からGmailを導入し、Gmail自体は停電の影響を受けませんでしたが、町田キャンパス内に認証連携システムがあったために、町田キャンパスがダウンしているとメールが利用できない状況が生まれました。震災直後はメールによる連絡手段を確保するために、一時的に認証連携システムをバイパスするなどの対処にも追われました。

専門のデータセンターのほうがセキュリティを強化できる

認証用データを物理的に学外に置くことを懸念する声はありますが、現実的にセキュリティを考えていくと、管理性の高いデータセンターに置くほうが現実解と判断できるケースは多いです。「認証系を外に出すことに違和感がなくなったように思います。」(桜美林学園 井坂氏)。「学内は安全ではありません。データセンターのほうがより安全であるといえます。セキュリティには3つ面がありまして、まず物理的な安全性です。自分たちで火災対策などが十分なデータセンターを用意するのは非常にコストがかかります。次に人的な不正アクセス対策です。学校というのはオープンであり知らない人がうろうろしています。そこを制御するのは非常に難しいです。3つ目がシステムの技術面です。これはどこにあってやることは同じです。」(品川氏)。

データセンターは石狩データセンターを選択しました。コスト面と関東で大規模災害が起きても影響を受けにくいこと

ご担当者の声>>>

桜美林学園

学校法人 桜美林学園
http://www.obirin.jp/

住所
東京都町田市常盤町3758
学生・生徒・園児数
10666人 (2015年5月)
事業内容
大学、大学院、高等学校、中学校、幼稚園

写真左から
情報システム部 課長 劉宇
情報システム部 テクノジグループ 担当係長 井坂しのぶ
情報システム部 荒井 啓太
情報システム部 部長 品川 昭



本件はクラウド環境の構築や運用サポートなど、単なるインフラ提供に加えた作業が必要なものです。さくらインターネットはWebサイトでのセルフサービスで申し込みイメージが強く、法人対応がどの程度できるのか疑問を持っておりました。しかし、いただいた提案はRFPを満たすコンパクトな内容で優れていると評価でき、人員体制を明示して運用サポートの提供が可能というのも想定外でした。また、不安や疑問を解消するための提案説明会で直接の担当技術者が来校したのも意外な対応でした。費用面でも競争力があつたため、本件はさくらインターネットにお願いした次第です。契約から構築完了まで非常に迅速だと感じました。

からです。

仮想ルータと汎用ハードによる見通しのよいVPN

統合認証システムをクラウド上で運用するにあたり、VPNを構築して学内のオンプレミスのシステムとデータセンターのネットワークを同一セグメントとしました。VPNは専用のハードウェアで構築するのではなく、クラウド上で仮想ルータ向けOS「VyOS」を導入したサーバを立ち上げ、このサーバと学園内に設置した汎用のハードウェアルータとを接続したシンプルな構成です。「本件ではVPN接続部での通信量が少ないことと、災害等に対して強いインフラを求めていたことから、本学用に新規回線を引き込まない提案を評価しました。」(荒井氏)

町田キャンパスと石狩データセンター間のVPN構成となり、ローカルネットワークと比較すると通信遅延は避けられませんが、統合認証システムの管理・運用はWindowsのリモートデスクトップで行えています。「遠隔地のため通信遅延が心配でしたが、許容範囲内でした。想定通りの動きをしてくれています。悪化したところがないということが良かった点でしょうか。」(荒井氏)

今後は外部から参照される認証サーバの更新や、新たに認証サーバを構築するタイミングで、認証サーバを学園外に出すことを検討しています。

ご紹介したサービス

▶ さくらのクラウド

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F
【東京支社】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル33F
【福岡オフィス】〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigyo@sakura.ad.jp ▶ 0120-380397 【受付時間】平日10:00~18:00
(土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2016年2月時点の情報です

流通経済大学

業務パッケージをSINET経由で、クラウド化。 接続に「さくらのクラウド」を採用

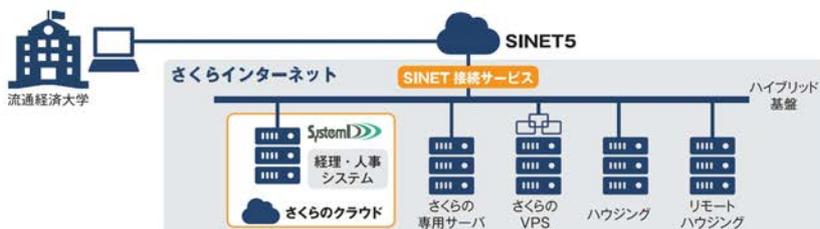
流通経済大学は、経理・人事システムが稼働しているサーバの更新に伴い、「さくらのクラウド」の月額定額サーバに移行しました。同大学ではICTを活用した効率的かつ継続的な業務遂行の観点から、早い段階で少しずつクラウド化を進めており、経理・人事システム移設を経て、キャンパス内に設置されたシステム用サーバがなくなり、クラウド化のロードマップが完了しました。同大学が「さくらのクラウド」を採用した大きな理由は、大学や研究機関のネットワークでありセキュアに接続できるSINETと接続できるからです。

「学生ファースト」な流通経済大学

流通経済大学は、戦後の日本経済発展と国際化に対応できる高度な物流の研究と人材育成を目的として1965年に設立されました。当初は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、現在では5学部9学科を擁する中規模の総合大学に発展しました。

「2006年にはスポーツ健康科学部を開設し、開学以来スポーツにも力を入れています。私も硬式野球部に所属していました」と同大学出身の若山昌弘氏（経理課）は部活の日々を思い返します。特にサッカー部とラグビー部が強く、江坂任さんや中島イシレリさんなどプロ選手を多数輩出していることで知られています。

同大学の特徴として、1年生は入学式の次の日からゼミに所属することが挙げられます。これは学生に有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうための配慮で、教員からの手厚いサポートと学友との親密な関係を早期に構築することがねらいです。またキャンパスは茨城県龍ヶ崎市と千葉県松戸市にあり、学部によっては、2つのキャンパスから好きな方を選んで通学できる「キャンパス選択制」を導入し



ています。この制度により、教員はキャンパスを行き来して、同じ内容の授業を行うこととなりますが、学生の成長と個々の事情を優先する「学生ファースト」な大学と言ってよいでしょう。

SINET経由でさくらのクラウドに接続し、経理・人事システムを利用

流通経済大学は、株式会社システムディが提供する学園向けの業務パッケージをさくらのクラウドに導入して利用しています。また、さくらインターネットへは、日本全国の大学や研究機関を結ぶSINET経由で接続しています。

「SaaSがあれば採用したのですが、残念ながら学園向けの経理・人事システムでは見当たりません。そこでさくらのクラウドをPaaSとして利用し、システムディ

のパッケージをそちらに導入しました」と同大学のシステム導入リーダーである青砥光一氏は説明します。

クラウド化で停電、災害などの不安から解放

学生の個人情報や研究内容の漏えいを不安視して、クラウド化に難色を示す大学も多い中、流通経済大学では5年あまりの年月をかけて、徐々にオンプレミスのサーバを撤去してきました。

「少ない人数でシステム運用を行っていますので、5年に1回のサーバ更新は大きな負担です。またキャンパスが2カ所あるので、龍ヶ崎キャンパス側で停電があったときには新松戸キャンパス側も影響を受けることになります。そこでサーバを更新するたびにクラウドまたはハウジングサービスにシ

導入前の課題

- サーバの更新の労力とコストが大きな負担
- システムの安定稼働について不安
- SINET接続に対応している業者が少ない

導入後の効果

- サーバの更新の必要がなくなった
- システムの継続的な運用に関する安心感
- SINET接続により安心して利用

システムを移行してきました」と情報部門事務部長の鈴木武氏は説明します。2011年の東日本大震災でサーバ室に影響があったり、別な年には雷による停電でシステムが停止したこともあって、BCP（事業継続計画）に真摯に取り組むことになりました。

クラウド化は世の中の流れであり、セキュリティに関しても必要とするレベルには既に達しているという判断でした。それよりも短いスパンでのシステム更新にかかる労力とコストが不要なこと、業務の継続という観点から安心感が強いこと、定額料金のサービスを選択すればコストの見通しが容易なことなど、クラウド化のメリットの方がはるかに大きいと同大学では評価しています。

なお、クラウド化はシステムディの経理・人事パッケージの導入を経て、その他システムも徐々に進めた結果、すべて外部に設置することにより完了し、現在はバックアップ用のサーバを残すだけになりました。

さくらのクラウドを選んだ理由

経理・人事パッケージの導入先としてさくらのクラウドを選んだ理由は、大きく3つありました。

1つめは、L2閉域網に対応していたことです。これはインターネットから直接アクセスを受けない安全な接続をするための方式で、SINET経由で外部サービスを利用する場合には必須条件ですが、対応しているサービスはそれほど多くありません。

2つめは、他社と比較して低価格なことです。

3つめは、システムディの経理・人事パッケージが要求するスペックのサーバを用意できることでした。

「さくらのクラウドが3つの条件をクリアしていた上に、以前からさくらのレンタルサーバを利用していたこともあり、信頼感もありました」と青砥氏は採用理由を説明します。

日本の会社だからこそきめ細かい対応で労力なく導入が完了

クラウドサーバおよびパッケージの導

ご担当者の声>>>



学校法人日通学園
流通経済大学
<https://www.rku.ac.jp/>

住所 龍ヶ崎キャンパス
茨城県龍ヶ崎市120
新松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸3-2-1
設立 1965年
学部 経済学部/社会学部/流通情報学部/法学部/スポーツ健康科学部



流通経済大学
図書館情報グループ事務部長
兼情報システム課長
鈴木武氏



流通経済大学
図書館情報グループ
情報システム課係長
青砥光一氏



流通経済大学 経理部 経理課
石山昌弘氏

入はスムーズに完了し、何一つ問題は起こりませんでした。

「さくらのクラウドはボタン1つで完了するぐらい簡単に導入できますが、クラウド導入も含めてシステムディに全ての作業をお願いしました。その際にさくらインターネットがシステムディに対する直接の窓口を設けてくれ、両方でコミュニケーションをとりながら導入を進めてくれました。おかげで本学の負担はありませんでした」（青砥氏）。

AWSやAzureなど海外のクラウドベンダーの場合は、ユーザ責任で導入し、彼らは一切関与しません。「日本の会社だからこそきめ細かい対応です」と流通経済大学では評価しています。

クラウド対応しないベンダーに対して積極的に働きかけて欲しい

経理・人事システムに加え2020年には、学生や教員が利用するプリント管理システムも「さくらのクラウド」に移設し、他

のシステムを含めてクラウド化がほぼ完了したため、今後も新システムの導入を企画する際は、プラットフォームとして、さくらのクラウドを候補の一つに入れて検討したいとのことです。

「それよりも、パッケージシステムベンダーの中には、クラウドへの導入を渋る会社はまだあります。どこまで動作保証するかという問題があるからです。そこでさくらインターネットにはパッケージシステムベンダーと協業して、パッケージのクラウド化を進めていただきたい。『Aというシステムなら、さくらのクラウド』ということになれば、さくらのクラウドを採用する人も増えるはずですよ」と、さくらインターネットへの期待を青砥氏は語ってくれました。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigy@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380397【受付時間】 平日10:00~18:00（土日・祝祭日を除く）

※本取材内容は2020年9月時点の情報です

国立大学法人九州大学

パブリッククラウドをベースにホスティングサービスを構築。さくらとビットスターが細かなニーズに応える

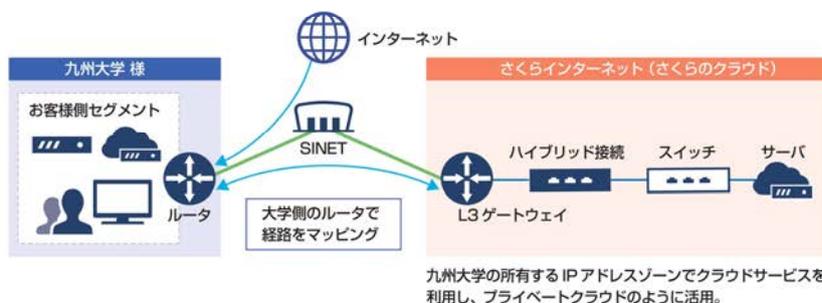
九州大学では、部局等にメール、WebおよびDNSについてサーバリソースを貸し出す学内ホスティングサービスを運営しています。従来のオンプレミス基盤の課題であった運用負荷や属人化を解消すべく、パブリッククラウド化を図りました。教育機関特有のニーズを満たすべく、インフラとサポートを一元的に提供するさくらインターネットとビットスターのサービスを採用。拡張性にも運用性にもすぐれ、運用負荷も小さな新しいホスティングサービスを開始しました。

九州大学のすべてのステークホルダーへ最良の情報環境を提供

九州大学は、1911年に創設された九州帝国大学を母体とし、1949年に旧制九州大学・福岡高等学校・久留米工業専門学校を包括して新制されました。学生約1万8,000人（2019年5月現在）に対し、2,000人超の教員を揃え、手厚い教育・研究環境を整えています。多くの海外留学生を迎えており、国立大学の中でもトップクラスです。大学院にも力を入れており、法学・理学・医学等の18学部が設置されています。

最近までキャンパスは福岡市の各地に点在していましたが、2018年に10年をかけて行われた伊都キャンパスへの統合・移転が完了し、産官学の連携で整備される学術研究都市として稼働を開始しています。単一キャンパスとして日本最大、校地面積も国内第3位を誇ります（2018年時）。

多数の学部・研究院を設置して幅広い教育と研究を提供する中、2018年には新しい学部として「共創学部」を設立して



います。グローバル化が急激に進展する現代において、環境・食料・人種・経済といった地球的・人類的な課題へ能動的に取り組むことのできる人材を育成していく多分野の学問とされています。徹底した語学教育や課題解決型のカリキュラム、実践的な協働学習および積極的な留学支援が特徴です。

「積極的なグローバル化の推進において、情報統括本部では世界的な ICT 拠点となるべく情報基盤・情報システムの整備・運用に取り組んでいます。特に注力しているのが情報セキュリティ対策です。サイバー攻撃等の脅威から機密性・完全性・可用性の観点で情報資産を守るため ISMS を導入し、2012年3月に認証を取

得しました。また、2014年からはサイバーセキュリティセンターと連携を図りながら、情報資産の適切な保護とセキュリティの向上に努めています」と、九州大学 情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の亀岡謙一氏は説明します。

学内ホスティングサービスのパブリッククラウド化

現代における大学・大学院の教育・研究には、IT 基盤が欠かせません。高度なシステムを研究に活用する例もあれば、情報発信やコミュニケーションのために Web やファイルサーバを運営するケースもあります。古くは研究室ごとにサーバを構築して運営していた時代もありまし

導入前の課題

- ホスティングサービス基盤の更改
- オンプレミスからクラウドへの移行
- 運用の負荷増大と属人化の解消

導入後の効果

- パブリッククラウド上にサービスを構築
- クラウドでも従来と同様のサービスを提供
- 一元的なサポートで大幅な負荷軽減

たが、リソースのムダやセキュリティ対策の不備などから、九州大学では2009年から学内ホスティングサービスを運営してきました。

「各研究室は、独立した組織のように運営されていますので、ITニーズも千差万別です。そこで私たちは、学内のITベンダーのように活動し、サービスとしてITを提供する役割を担う必要があります。ホスティングサービスもその一環として、利便性と効率性を両立すべく運営しています」と、情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の平野広幸氏は述べています。

サービス開始からまもなく10年、数世代を経たオンプレミスシステムは要となるサーバ管理ソフトウェアのサービス終了を控えて、他のシステムへの更改が求められました。従来のシステムは、基盤がブラックボックス化しており、運用の属人化も進んでいました。そうした運用負荷を解消し、情報基盤課の人的リソースをより高度な戦略・企画等へ集中させたいという思いや、そして昨今のクラウド活用への取り組みもあって、パブリッククラウドをホスティングサービス基盤として利用する方法が検討されました。

「大学機関のインフラということもあって、ネットワーク構成や認証基盤の制限や契約形態など厳しい条件があったのは事実です。SINETを介したL2 VPN接続を受けつけられる環境であることも技術的な要件の1つでした。もちろん、既存のパブリッククラウドサービスをそのまま活用することは困難です。複数のサービスを検討しましたが、すべてのニーズを受け入れてくれるのは、さくらインターネットとビットスターの連合だけでした」（平野氏）

平野氏によれば、グループ会社であるビットスターと協力し、新しい管理ツールのカスタマイズやシボレス認証連携などの細かなニーズに応え、運用保守を含めて一元的なサービスとして提供されることで、最大の目標である属人化の解消やリソースの最適化を図ることが重要な選定ポイントになったとのこと。

ご担当者の声



国立大学法人九州大学
http://www.kyushu-u.ac.jp/

住所 福岡県福岡市西区元岡744
事業内容 1949年(昭和24年)に旧制九州大学を包括して設置された国立大学



情報統括本部
情報システム部 情報基盤課
平野広幸氏



情報統括本部
情報システム部 情報基盤課
亀岡謙一氏

さくらインターネットとビットスターは強固に連携し、私たちのニーズへ細やかに応えてくれました。さまざまな課題もすばやく的確に解決してくれたおかげで、新しいサービス基盤の運営を開始できました。今後も安定的なサービスを提供すると共に、より高度なIT戦略をサポートするパートナーとして活躍してほしいと願っています

インフラからサポートまで統合運用負荷が大幅軽減

九州大学の新しいホスティングサービス基盤は、さくらのクラウド上に構成され、九州から離れた災害にも強い堅牢なデータセンターで運営されています。管理ツールはWebベースの「cPanel」を選び、ビットスターによって、使いやすくカスタマイズされています。

両社の提案がありサービス基盤をオンプレミスからクラウドへ移行したことにより、リソースの増減が容易になり、ソフトウェアアップデートなどのメンテナンスに時間を取られることもなくなりました。バックアップ環境も整備しやすく、数年ごとのシステム更改の負荷もありません。亀岡氏は「管理負荷の大幅な低減は大きな効果」と高く評価しています。

利用者である研究室では、従来と同じようにサーバリソースをレンタルできるように構成されています。cPanelは軽快に動作するため、旧システムと比べても使い勝手が向上しているとのこと。

九州大学では、2019年から2020年に

かけて急ピッチで移行を進めて、500ドメイン弱をさくらのクラウド上で運用する計画です。学内・学外組織と連携しながら、情報セキュリティ対策を進めたいとしています。

「学内ホスティングサービス、業務用のクラウドサービス、セキュリティインシデントなど、さまざまな要素の可視化を強化したいと考えています。運用負荷の軽減によってIT戦略に取り組む時間が確保でき、より強固なセキュリティ施策を検討するためには情報が欠かせません」と亀岡氏は述べ、さくらインターネット／さくらのクラウドの活用で培ったノウハウ／ベストプラクティスが広がり、九州地域の教育機関や企業が大きく成長していくことを期待しています。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigyo@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380-397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2019年11月時点の情報です

8. クラウドプロバイダ紹介

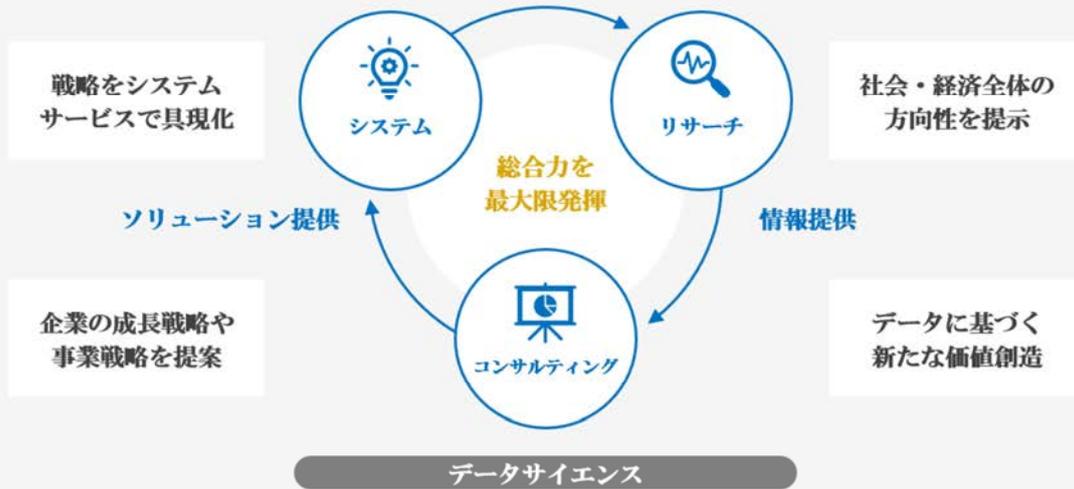
株式会社大和総研 会社紹介

会社名		株式会社大和総研
本社		東京都江東区冬木15番6号 Tel：03-5620-5100 Fax：03-5620-5603（代表）
代表者		代表取締役社長 望月 篤
事業内容		システムコンサルティング、システムインテグレーション、データセンターサービス、アウトソーシングサービス、AI・データサイエンス、経済・社会に関する調査研究・提言、およびコンサルティング
大株主及び持ち株比率		株式会社大和証券グループ本社100%
資格		電気通信事業者（総務省） プライバシーマーク付与事業者（一般財団法人日本情報経済社会推進協会） システム監査企業台帳登録企業（経済産業省）
認証取得		ISO14001 環境マネジメントシステム ISO/IEC20000 ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017 情報セキュリティマネジメントシステム（クラウドサービスセキュリティ） ISO9001 品質マネジメントシステム
グループ会社一覧		



大和総研の強み

大和総研は、リサーチ/コンサルティング/システムの3つの分野のノウハウ・知見を結集し、お客様の抱える課題解決に向けて総合力を最大限発揮します。



長年蓄積してきたノウハウ、技術力をベースに、お客様視点に立ったコンサルティングや最適なソリューションを提供いたします。



スペシャリストの相互連携

「リサーチ」、「コンサルティング」、「システム」が相互連携し、お客様の価値向上に貢献



データサイエンスに基づく新たな価値の創出

約100名のデータサイエンティストを擁し、先端技術の研究開発・検証を実施
高度なデータ分析力・AI構築力を活かした、革新的なサービスをご提供



ソリューション提案力

事業や業務のコンサルティングから、システム開発～運用に至るまで、システムライフサイクルを網羅したトータルソリューションをご提供
プライマリーベンダーとして、各業界の企業や大和証券グループ向けシステムのノウハウを活かし、堅牢なセキュリティ基盤の構築が可能

ソリューションに関するご相談など、お気軽にお問合せ下さい。



1 Network, 1 Cloud, 1 Extreme

私たちエクストリームが、クラウド上のネットワークをひとつにします

エクストリームネットワークスは、ネットワークの設計、運用を極限まで簡素化しながら、柔軟な変更、追加に対応できるソリューションを提供します。

M&Aやグループ企業統合において、異なるネットワークポリシーを統合する手間と時間をかける必要がなくなります。

行き先を指定する“カーナビゲーション”に似ており、エッジデバイスのみで最適経路パスが自動的に確立され、設定の人的ミスを防ぐと同時に、シンプルなプロトコルのため障害切り分けも容易です。

日本全国に拠点のある企業や、多店舗展開を推進する企業において、拠点側にエンジニアを配置する必要がありません。

事業継続性とセキュリティを高めると同時に優秀なエンジニアを煩雑なネットワーク運用から解放し、企業競争力を高めるデジタル化推進にリソース注力することが可能となります。



ネットワークを戦略的資産へ

ネットワークを再定義する



WANエッジに安全なクラウドドリブンの接続性を提供し、異なるデバイスやサービスが自律的につながります。リモートワーク、遠隔学習、遠隔医療、小売業のデジタル化を可能にします。

新たなインサイトを引き出す



位置情報、アプリケーションの使用状況、ワークフローのパターンといったネットワークデータからのビジネスインサイトを引き出します。ユーザーに、よりパーソナルな体験を提供し、業務効率を改善します。

ネットワーク投資を利益に変える



AI/MLを活用しながら、これまでのネットワーク投資を無駄にせず、アプリケーション投資を最適化し、スタッフの工数削減に寄与する。コストと考えられていたものを利益に変えていきます。

エクストリームネットワークスのソリューションは、ネットワークの信頼性を常に確保するアジリティとスケーラビリティを提供します。ネットワーク管理を自動化することでネットワーク運用部分の負荷を減らし、他社製品もサポートすることで既存資産を活かし、アナリティクスやセキュリティソリューションとともに100%インハウスのサービスとサポートを提供することで、ネットワークを戦略的資産へと変えていくことを目的としています。

お客様の声

エクストリームのネットワークソリューションは、皆様の身近で導入されています。以下に記すのは、そのほんの一部のお客様です。ここから連想される誰もが知るあの大学、あの空港、あのホテル… 多くの場所でExtreme Networksが皆様を支えています。



「観測や研究、スーパーコンピュータを使うシミュレーションなど、大きなデータを扱うネットワークは100GbEになっていますが、職員の業務に関する部分までその速度を求めるとインフラのコストが上がってしまいます。今回は、PCを使ってやりとりする業務に関わる部分にフォーカスして、利用者のアクセス制御をしながら速く確実に、かつコストパフォーマンス高くデータをやり取りできるように、エンタープライズ製品とWi-Fiのアクセス制御が得意なExtreme Networksを導入しました」天文データセンター 助教 ネットワーク運用責任者 大江 将史 氏



「MLBはExtreme Networksを使った大幅なアップグレードを、従来のベンダーと比較して半分の時間で完了しました。デジタルサイネージによるパーク内のナビゲーションや、モバイルでの売店注文など、新たなゲスト機能の展開が可能となり、また、アナリティクスによって今後のアップグレードやパートナーシップの計画をより賢明に進めることができ、ファンがシアトルでお気に入りのチームの試合を見に来るたびに、より良い体験を提供し続けることができるようになりました。」シアトル・マリナーズ インフォメーション・テクノロジー シニアバイスプレジデント Kari Escobedo 氏



「オールド・トラッフォードにエクストリームWi-Fi 6アクセスポイントを導入することで、高速で信頼性の高いWi-Fi接続によるファン体験の変革と、高性能で遅延の少ない、そしてセキュリティの高いデジタルサービスを提供するクラブ機能の向上が期待できます。さらにエクストリームは、マンチェスター・ユナイテッドがリアルタイムのネットワーク分析にアクセスすることで、ファン体験と会場全体の運営に関する、よりパーソナライズされ情報に基づく意思決定を支援します。」マンチェスターユナイテッドホームページより

第三者機関からの位置づけ

エクストリームネットワークスは過去5年連続でGartner®エンタープライズワイヤード/ワイヤレスLANインフラストラクチャ部門のマジック・クアドラントにてリーダーの一社に位置づけられています。また、お客様の声をランキングで表したガートナーピアインサイトで#1にランクされています。



Gartner
Peer Insights™

#1 Ranked
Enterprise Wired and Wireless LAN
Infrastructure

Extreme Networks株式会社

〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル11F
<お問い合わせ>
<https://jp.extremenetworks.com/contact-sales/>
または info.jp@extremenetworks.com 宛に
メールにてお問い合わせください。



さくらインターネット株式会社のご紹介

すべては日本のインターネットと、 新しいビジネスに挑むお客様のために

どこより低価格で、
どこよりも高品質なサービスを実現したい



代表取締役社長
田中 邦裕

日本にインターネットが本格的に普及し始めた1996年から、私たちさくらインターネットは、このシンプルな理念のもとでデータセンターサービスを提供して来ました。その間、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。これまで日本経済を支えてきた製造業はより厳しい国際競争にさらされる中で、インターネットビジネスをはじめとするITサービスの分野では日本から世界へ事業を広げようとする企業がいくつも生まれています。

この先の日本経済を支える産業はITサービスやソフトウェアになっていくと考えています。まさに産業構造の転換期にある日本において、これから世界とたたかおうとする日本企業を、ベストサービス・ベストプロダクトで応援していく。それが私たちのミッションです。

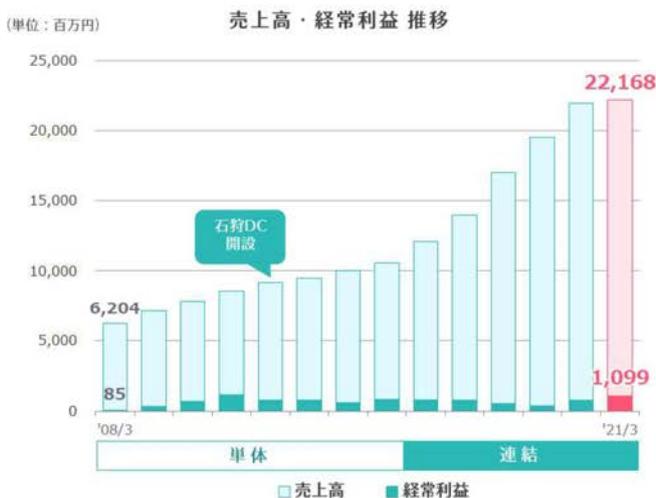
そして、私たちの生活する社会にとっても、インターネットは不可欠な存在となりました。日本を代表するデータセンター事業者として、インターネット社会を支え、さらなる発展に貢献していくことが、私たちに課せられたもう一つの使命です。それらを実現するのが、高品質を実現する技術力と低価格を実現する事業スケールです。

「すべては日本のインターネットのために」

私たちはこれからも、スケールメリットと柔軟性を兼ね備えたコスト競争力の高いITインフラで、海外のインフラ事業者とも肩を並べるサービスを、開発・提供していきます。

日本のインターネットの発展に貢献します これまでも、これからも

業績推移



会社概要

商 号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪市北区梅田1丁目12番12号
創業年月日	1996年12月23日 (会社設立:1999年8月17日)
上場年月日	2005年10月12日 (マザーズ) 2015年11月27日 (東証一部へ市場変更)
資 本 金	22億5,692万円
従 業 員 数	755名 (連結)

※2021年6月現在

さくらインターネット株式会社のTOPIC

TOPIC1 GPUクラウドサービス

引き合い増で
78.5億円の追加投資決定

来期リリースに向けた**機材調達**は計画通り実施

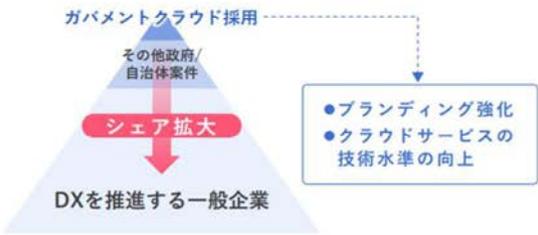


石狩データセンターを視察する、西村康徳経済産業大臣（写真右）、
弊社代表取締役社長田中 邦裕（写真左）

TOPIC2 ガバメントクラウド

今年度の
ガバメントクラウドに応募

将来的にブランディング強化とサービスの技術水準の向上を図り、国内パブリッククラウド市場におけるシェアを拡大

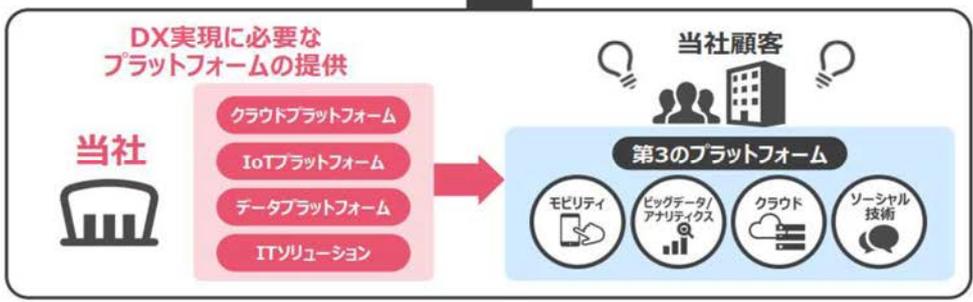


さくらインターネット株式会社の目指すもの

当社はDX（デジタルトランスフォーメーション）を支える
プラットフォームになる



デジタルトランスフォーメーション



■ コーポレートビジョン corporate vision

情報の価値化と知の協創をデザインする

■ 企業理念 corporate philosophy

人間の創造性発揮のための環境づくりを通じて、より豊かな人間社会実現のために貢献し、企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

経営方針

「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の実現にむけて

当社グループは、1910年(明治43年)に創業、2021年に111周年を迎えました。

その歴史の中で、民間・公共の多様なお客様とお取引関係を培ってまいりました。また、売上の構成比率はおおよそ60%となるICT関連ビジネスを基盤としつつ、その他40%を環境構築関連ビジネスが占めるユニークな事業構成をもちます。

この多様なお客様とのお取引関係とユニークな事業構成をリソースとしまして、社会・産業構造変化のSociety5.0実現に向けて、お客様の新たな課題を解決すべく「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の事業創造に取り組んでまいります。

働き方変革

— 知的生産性向上 —

1989年より「知的生産性研究所」にて、オフィスワーカーの知的生産性向上に関する調査・研究に取り組み、大手企業や官公庁・自治体のお客様向けに、生産性が向上するオフィスづくりや、それを支援するITシステム構築に取り組んでいます。



学び方変革

— 主体的学び —

1998年より「内田洋行 教育総合研究所」にて、省庁から学校現場まで幅広く協同で教育研究を進め、小中高大を中心にアクティブ・ラーニングを実現するこれからの新しい教育環境づくりに取り組んでいます。

場と街づくり変革

— 地方創生・都市活性化 —

地域の企業、自治体・大学・図書館等の公共施設による、人が集まる場の空間の設計・デザイン、そして、それをバックエンドで支えるICT環境を整備し、地域活性化を支援していきます。



学び方変革の実現に向けて

～内田洋行グループ教育ICTビジネスのご紹介～

大学 ICT

大学・専門学校向けに、進化した学びの場をつくる

- アクティブ・ラーニング環境、学内ネットワーク・PC教室・CALL教室等の情報インフラ構築と運用管理業務支援サービスの提供。
- 学生サービス向上に寄与する証明書発行システム「PAPYRUSMATE（パピルスメイト）」、ソフトウェアライセンス「U365」の学割提供。



小樽商科大学



法政大学 市ヶ谷田町校舎 スタジオHAL

大学コンサルティング



大阪工業大学

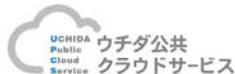
大学の施設や学部学科設置の申請支援

- 大学の学部設置・改組転換の認可申請における支援と情報提供。
- 最適な学修空間を構築するために校具備品教具、ICT関連品のトータルプランニングと提供。

公共クラウドサービス

学校・自治体・地域をシームレスにつなぐクラウドサービス

- 教育、自治体のIT業務を高いセキュリティで運用するクラウドマネージドサービス。
- お客様のニーズに合ったクラウド基盤（Amazon Web Services, Microsoft Azure, NIFCLOUD, LGWAN）サービスを提供。
- 深い業務知識と先進技術を持ったウチダのシステムエンジニアが、企画・設計・導入から保守までワンストップでサービス提供。



教育 ICT（小学校～高等学校）

アクティブ・ラーニング環境の構築、ICT授業支援、校務支援システムの提供

- 電子黒板や1人1台タブレットPC等のICTを活用するための学習環境構築。
- クラウド型の教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」。
- 先生の働き方改革につながる統合型校務支援システムの提供。
- 学校ヘルプデスクの運用、保守サービス、ICT支援員の派遣や授業設計。
- 高等学校を中心とした語学支援システム。



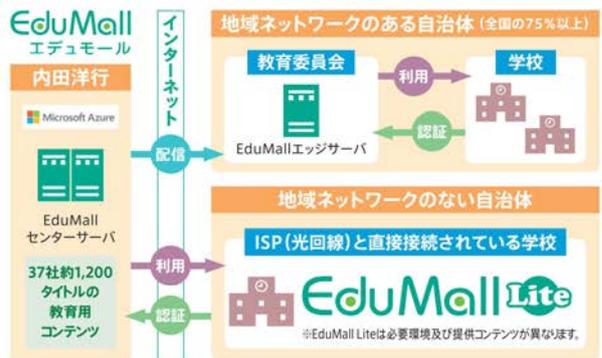
群馬県前橋市立城南小学校



横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校

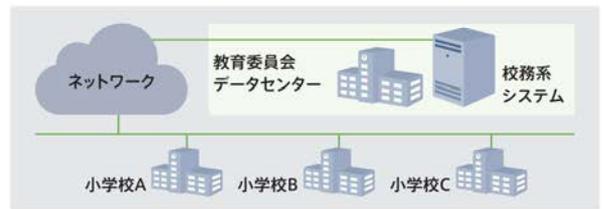
教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」

- デジタル教科書や動画、ドリル・アニメーション、プリント教材等、コンテンツメーカー各社が提供する豊富なコンテンツを年間契約で利用できるクラウド型配信サービス。
- 導入実績：427自治体7,254校（2021年6月現在）



教育委員会ネットワーク・サーバ構築

- 統合型校務支援システムの構築。
- 教育系イントラネットの設計・構築。
- 校務系と教育系のデータ連携。



ICTシステムを活用した図書館ソリューション



図書館システムと読書通帳機で利用者の充実を図る

- 全国の公共・大学図書館に、ICタグを活用した自動貸出機や蔵書点検等のICTソリューション「ULIUS（ユリウス）」を提供。
- 図書館システムと連携して読書履歴データを通帳に印字する「読書通帳機」の導入。

読書通帳機

企業別索引（五十音順）

〈ウ〉

株式会社内田洋行

ATR CALL BRIX クラウドサービス 17
画面モニタリングシステム RealCAST（リアルキャスト）19
codemari クラウドサービス 27
RoomSense クラウドサービス 39
ASSETBASE 95
ソフトウェア配布提供システム Download Station 97
ウチダの Office 学割 U365 99
ウチダのパソコン学割 U365 101
証明書学外発行サービス 111
[プロバイダ紹介] 143

〈エ〉

Extreme Networks 株式会社

ExtremeCloudTM IQ 73
[プロバイダ紹介] 139

〈サ〉

サイオステクノロジー株式会社

ワークフローシステム「Gluegent Flow」37

さくらインターネット株式会社

さくらのセキュアモバイルコネクト 23
さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス 25
SINET 接続サービス 53
さくらの VPS 55
さくらのクラウド 57
さくらの専用サーバ 59
[プロバイダ紹介] 141

〈シ〉

シスコシステムズ合同会社

Cisco Webex Calling 31
Cisco Secure Access 33
Cisco Duo 61
Cisco Umbrella 63

〈タ〉

株式会社大和総研

クラウド構築・移行支援サービス 65
サイバーセキュリティ対策 67
データ利活用・データ分析基盤構築サービス 69
レガシーマイグレーションサービス 71
[プロバイダ紹介] 137

〈ニ〉

ニュータニクスジャパン合同会社

Nutanix GPT-in-a-Box 75

〈ネ〉

ネットアップ合同会社

Cloud Volumes ONTAP 43
Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage
Workload Security による多層防御 45
BlueXP Classification で実現するデータガバナンス 47
NetApp FlexPod XCS 49
NetApp Keystone for Storage as a Service 51

〈ヒ〉

株式会社日立製作所

TWX-21 MRO 集中購買サービス 35
EverFlex from Hitachi 仮想化基盤 77
Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS 79
エンタープライズクラウドサービス G2 81
クライアントサービス 日立のデータセンター 83
フェデレーテッドクラウド 85
出前クラウドサービス 89
日立 データセンターサービス 91

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

リモートアクセスシステム DoMobile 87

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

- 主 査 渡邊英伸 (広島大学)
 副 査 梶田将司 (京都大学)
 副 査 吉田浩 (国立情報学研究所)
 副 査 脇昌弘 (ネットアップ合同会社)
 副 査 須藤憲一 (プラナスソリューションズ株式会社)

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■ 大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ1」 「大学向けクラウドソリューションカタログ2」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（1）」 「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布
2020年度年次大会	「大学における働き方・教え方改革とクラウド活用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2020発行・配布
2021年度年次大会	「クラウド活用で加速する大学DXのベストプラクティスの検討と展望」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2021発行・配布
2022年度年次大会	「クラウドファースト戦略からクラウドネイティブ戦略を見据えた人材育成の展望」 「クラウドネイティブ戦略を見据えたクラウド最適化ソリューション」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2022発行・配布

2023年度年次大会	「大学アーキテクチャの参照モデルとDX」 「今後のAI開発・活用におけるハイブリッドクラウドのあり方について」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2023発行・配布
------------	---

■分科会会合の開催

回	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER（アエル）	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会
第27回会合	2020年6月9日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第28回会合	2020年9月10日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2020
第29回会合	2020年12月7日	大阪大学(オンライン開催)	AXIES2020年度年次大会
第30回会合	2021年3月5日	広島大学(オンライン)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2021
第31回会合	2021年7月7日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第32回会合	2021年9月2日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2021
第33回会合	2021年12月15日	幕張メッセ(ハイブリッド開催)	AXIES2021年度年次大会
第34回会合	2022年3月25日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2022
第35回会合	2022年6月1日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2022
第36回会合	2022年9月7日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2022
第37回会合	2022年12月13日	仙台国際センター(ハイブリッド開催)	AXIES2022年度年次大会
第38回会合	2023年3月10日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2023
第39回会合	2023年5月31日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2023

第40回会合	2023年8月30日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2023
第41回会合	2023年12月13日	名古屋国際会議場	AXIES2023年度年次大会

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探することができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

主 査 渡邊英伸（広島大学）
副 査 梶田将司（京都大学）
副 査 吉田浩（国立情報学研究所）
副 査 脇昌弘（ネットアップ合同会社）
副 査 須藤憲一（プラナスソリューションズ株式会社）
ご連絡先：sig-cloud-core@axies.jp

クラウドカタログ2023

発行：クラウド部会

編集：プラナスソリューションズ株式会社 中田尚宏